

会 議 録

会議の名称		令和4年度第1回つくば市図書館協議会		
開催日時		令和4年(2022年)9月1日(木) 開会 15:00 閉会 17:00		
開催場所		つくば市立中央図書館2階 集会室		
事務局(担当課)		教育局中央図書館		
出席者	委員	坏文雄委員(会長)、齋藤てる委員、鈴木もえみ委員、小林忍委員、宇川百合江委員、清水智子委員、村上久美子委員、分領信一委員、立川英昭委員、近藤恒重委員		
	その他			
	事務局	吉沼教育局長、柴原中央図書館長、沼尻中央図書館副館長、玉木係長、川田係長、大塚主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
議題		令和4年度重点事業等について 令和4年度事業計画について 令和3年度図書館運営上の指標に対する実績評価について 令和3年度蔵書点検報告について 令和3年度利用者満足度調査について 令和4年度図書館情報システムの更新について その他		
会議録署名人		確定年月日	令和	年 月 日

	1	開会
会	2	委嘱状の交付
議	3	教育局長挨拶
次	4	委員及び職員の紹介
第	5	会長挨拶
	6	議題
	7	閉会

## 1 開会

事務局：皆さん、お疲れ様でございます。ただいまから令和4年度第1回つくば市図書館協議会を開催いたします。会議時間は約2時間を予定しております。私は本日の進行を務めさせていただきます中央図書館副館長の沼尻と申します。どうぞよろしく願いいたします。すみませんが、着座にて失礼いたします。

本日の会議ですが、10名の委員の方にご出席いただいておりますので、過半数に達しております。つくば市図書館協議会運営規則第3条第2項の規定により、会議が成立しますことをご報告いたします。

## 2 委嘱状の交付

事務局：続きまして、委嘱状の交付に移ります。委員の任期満了による改選に伴い、11名の方を委員に任命いたします。任期は、つくば市図書館条例第3条第4項の規定により、令和4年7月1日から令和6年6月30日までの2年間となります。これから皆様のお名前を読み上げますので、着席のままお返事をお願いいたします。

[委員点呼]

事務局：それでは吉沼教育局長から委嘱状を交付いたします。時間の関係上、恐縮ですが、委員11名の皆様を代表いたしまして、坪文雄様に委嘱状を交付させていただきます。坪様よろしくお祈いします。

[委嘱状交付]

事務局：ありがとうございました。どうぞ席にお戻りください。なお、皆様の委嘱状につきましては、あらかじめ机上に配付させていただきました。ご確認をお願いいたします。

## 3 教育局長挨拶

事務局：続きまして、教育局長の吉沼からご挨拶申し上げます。

〔教育局長挨拶〕

事務局：ありがとうございました。

#### 4 委員及び職員の紹介

事務局：続きまして、委員及び事務局職員の紹介に移ります。まず、本日までご出席をいただきました委員の皆様から、恐れ入りますが、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。その場で結構ですので、坏様からお席の順番にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔委員紹介〕

事務局：ありがとうございました。続きまして、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。

〔職員紹介〕

事務局：以上、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで、次第にはございませんが、当協議会の会長を選出したいと思います。選出につきましては、つくば市図書館協議会運営規則第2条第2項の規定により、「会長は、委員の互選により定める。」とありますので、委員の皆様からご選出いただきます。会長の選出等につきましては、皆様にお諮りと思いますが、いかがいたしましょうか。

〔委員より「事務局一任」の発声あり〕

事務局：ありがとうございます。ただいま、事務局一任のご発声がございましたが、皆さんいかがでしょうか。

〔委員一同賛同〕

事務局：ありがとうございます。それでは事務局案を申し上げます。事務局としましては、坏文雄委員に会長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

〔委員一同拍手〕

事務局：ありがとうございます。ただいま、会長に坏文雄委員が選出されました。

坏会長、前の席にご移動をお願いいたします。

## 5 会長挨拶

事務局：それでは、坏会長からご挨拶を頂戴したいと思います。会長、よろしくお願い申し上げます。

会長：図書館はやはり研究学園都市の目玉ですので、非常に良い発展を遂げてきていると嬉しく思っています。住民の図書館への関心も非常に高いです。各交流センター図書室とオンラインで繋がっておりますが、非常にユニークな取り組みを前向きにやっておられて頼もしく思っています。委員の方々にもたくさん意見出してもらって、さらに資料を叩いて励んでもらいましょう。今年1年間よろしくお願い申し上げます。

事務局：ありがとうございました。

## 6 議題

事務局：それでは、つくば市図書館協議会運営規則第2条第3項の規定により、「会長は、協議会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。」とありますので、議事進行につきましては坏会長をお願いいたします。それではよろしくお願い申し上げます。

### (1) 令和4年度重点事業等について

会長：それでは、議題1、令和4年度重点事業等について、事務局からお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

会長：はい、重点事業が5つ示されました。もう少し聞いてみたいというところや、こういうことも合わせてやっていただきたいということもあると思うので、委員さんからありましたら挙手してください。

委員：3番の自動車図書館サービスの拡大についてなんですけれども、実は夏休

み中に、いつも小野川交流センター図書室を利用している親子から、私が委員をやっていることを知っていたので、子供が自動車図書館で借りることに憧れているのだけど、何時にどこに行ったら自動車図書館で本が借りられるのか、と聞かれました。いつも交流センター図書室等で借りる子でも、自動車図書館で借りたいという憧れがあるみたいです。自動車図書館のステーションを新しく設定するとありますが、どこに何時くらいに来るというのを、いろいろなところで分かるようにしていただけたらと思います。自動車図書館の日程についてはどのように広報されていますか。

会長：はい、事務局お願いします。

事務局：まず自動車図書館のステーションについては、先ほど下半期に向けて少し増やすということで申し上げましたが、その下半期10月からの運行日程表につきましては、広報つくばの10月号に、半年分のスケジュールを載せさせていただきます。また、図書館のホームページへ掲示したり、4交流センター図書室でもスケジュールを配布しております。そういったところでご案内はさせていただきます。

委員：そのスケジュールをもう少し見やすいように、子供たちでも見えるように、何か少し掲示の仕方などを変えていただけたら、子供が自動車図書館から借りるという体験もできるようになるかなと思います。広報つくばだと子供も見なかったり捨ててしまったりするので、何か他に目に留まる方法で周知していただき、もっと利用してもらえたらと思います。お願いいたします。

事務局：さらに工夫を加えてPRを進めてまいりたいと思います。

委員：1番と4番と5番に関係するところです。まず1番は、次期図書館情報システムについて、以前、確かバーコードとか、館外に持ち出す場合には反応するようなシステムができたというようなお話がありましたが、防犯上の観点から何か追加があるかどうかということ。4番については、この『ふれあいライブラリーパーク』ということで、すごく楽しみにしております。以前、水戸にある県立図書館がリニューアルしたのでご覧になってくださいというご案内

もあったので、この夏休みに行って参りましたが、子供も感動していました。そういったところも含めまして、やはり図書館はその自治体の顔ですので、どのような観点で考えていらっしゃるか。5番の安全・安心な図書館サービスについては、具体的にどんなことをしているのか、もう少し詳しく聞きたいです。

会長：はい、お願いします。

事務局：ご質問ありがとうございました。1番目のシステム更新につきまして、委員さんがおっしゃられたのはいわゆる盗難防止のシステムということですね。新しい図書館については、例えば近隣では土浦市さんにも盗難防止システムが付いているのですが、残念ながら当館ができました30数年前にそういったシステムもなく、当館も導入していませんでした。導入に当たりましては、本1冊ずつに、いわゆる盗難防止の磁気テープというものを埋め込みます。貸出データを処理したと同時に、外に持ち出し可能な状態にします。そうすると入口にゲートが必要になります。ただ、今の当館のレイアウトですと、中央カウンターと、ゲートを設ける入口の距離がかなりあるものですから、仮に入口でブザーが鳴った場合、カウンターから職員が走っていったお客さんを呼び止めるということが難しいという施設的な課題があります。また、既存の本30数万冊に、数か月かけて磁気テープを入れるのかという課題もあります。そういった導入に要する期間や費用面を考えると、早急に取り入れるというのはちょっと厳しい状況ではありますが、引き続きいろいろ研究していきたいと思っております。

また、施設改修についてですが、具体的な改修計画というのはまだありません。実はこの『ふれあいライブラリーパーク』という理念を具体的に描いていただいたのは、2年ほど前にやっていた図書館懇話会という会議です。1年半ぐらいかけていろいろ議論をしていただいて、今つくば市で持っている資源を活用して、これからどういう図書館サービスができるかという観点で、大学の専門の先生方にも入っていただき、1年半ぐらいかけていろいろ議論をしていただきました。そちらで提言書に取りまとめでいただいた中に『ふれあい

ライブラリーパーク』という理念を出していただきました。今まで既存の建物の中で完結していた図書館サービスについて、例えば当館ですと、隣にある中央公園のような周辺のロケーションや環境などもうまく融合しながら、新しい図書館サービスをできませんかという内容になります。それに近づけるような中央図書館の改修を考えております。具体的な課題としては、学習室が足りないとか、ソファが少ないといったことがございます、一度に解消はできないと思いますが、そういった観点からの改修という提言が、懇話会のおきに出ていたということになります。

最後の安全・安心のコロナ対策について、2年ほど前から、入口でのアルコール消毒やマスクの着用を、館内の掲示や館内放送等でお願ひしております。また、今年に入り、トイレから菌を持ち込んでしまうのではないかとご指摘もいただきまして、1階2階のトイレの出入口に、踏んでいただくと靴底に付いた菌が死滅する液体を染み込ませた除菌マットを置かせていただいております。以上でございます。

委員：3番の自動車図書館のことなんですけれども、来る時間を知っていたにも関わらず、自分の不注意で時間を間違えてしまい、自動車図書館に行くことができないことがありました。なので、自動車図書館が来たことが住民に分かるような、何か合図を、他の方のご迷惑にならない程度に入れていただけるととてもありがたいと思っています。以上です。

事務局：実は自動車図書館には放送設備があるので、十数年前までは、ステーションに近づいたらつくば市の「ふるさとつくば」という曲を流してアナウンスしていた時代もありました。ただ、それは自動車図書館がまだ市民の皆様には知れ渡っていない、今でも知れ渡っているかどうかちょっと疑問はありますが、あまり馴染みのない時代に、PRも兼ねてやらせていただいたことございました。最近ですと、そういう地域ばかりではないと思うんですけど、もしかするとアナウンスに対する苦情などあるかもしれないので、別的手段を考えていきたいと思っています。



事務局：最近つくば市では、「つくスマアプリ」というアプリを、皆さんにダウンロードしてもらうように推奨しております。これを入れていただくと、つくば市からの情報がダウンロードした方に一方的に届くというものなので、このアプリを利用できないかと今思いました。要は朝、その日に巡回するコースをつくば市で入れると、皆さんの手元にそれが届きます。ただ、その時間ちょうどというのはなかなか難しいでしょうけど、一度そこで気づき生まれるので、それでも少し違うかなと思います。まだできてはいませんが、アプリ自体はあるので、そのアプリをうまく使えるような方法を考えていきたいと今少し思いました。

会長：分かりました。りんご売りなんか来るとトラックで流したりしますが、つくばの場合は騒音の問題もあるでしょうから、いちいちうるさいという苦情は出てくるかもしれない。上手に何かできると面白いですね。

## (2) 令和4年度事業計画について

会長：はい、では次の議題に行きます。令和4年度事業計画について、お願いいたします。

### 〔配布資料に基づき事務局説明〕

会長：それでは委員さんからお願いします。

委員：今の事務局のお話の中で、8月に学校訪問ブックトークの希望校募集とあると思うんですけども、どのぐらい希望があったのか。また、インターンシップは2名ということでしたけれども、中学生の職場体験等は今年度はあったのかどうか、お聞かせいただいてよろしいですか。

事務局：まず、学校訪問ブックトークの希望校募集についてですが、先月で締め切りまして、今集計を取っているところです。希望日時について第1希望から第3希望まで出してもらっているのですが、かなり多くの学校からお申し込みいただいております。10月から12月にかけて、職員が2名体制で交代で行く予定になっています。今までで一番多かったときは全校参加ということがあ

ったのですが、やはり今はコロナもありますし、学校の方もカリキュラム等もいろいろ大変なので、全校は難しいと思います。今の時点では、かなり多くの学校からということしか申し上げられませんが、申込みが来ています。

中学生の職場体験ですが、7月と8月に受け入れました。2名や1名の学校もありましたけれども、来ていただいて配架をしてもらったり、視聴覚資料の整理をしたりとか、そういったことを一日、学校によっては4時間、学校によっては9時から4時ぐらいまで、いろいろな仕事を体験していただきました。インターンシップは、昨日で常盤大学の学生さんが終わったのですが、そちらは6日間、筑波大学は11日間ということで行っているところです。

委員：ありがとうございます。今年は再開できて良かったです。

委員：2点あるんですけども、1点目が施設の改修、トイレの改修についてです。ウォシュレットを付けてほしいですし、あと和式のトイレを利用する人がどれだけいるかと思ひまして。もうあまり和式はなく、みんな洋式に変わっていますよね。それでお年寄りの方とか慣れない和式でしゃがんで立ち上がれなかったことを聞いたことがあるので、大変だとは思いますが、洋式でウォシュレットをお願いしたいと思います。

それとサービス係の方で、「本のふくぶくろ」の件なんですけれども、3月に岡山県立図書館のことがテレビで、NHKの「カネオくん」で取り上げられていました。日本一の貸出数をずっと維持しているということなのですが、福袋をされていると知って、素晴らしいと思って提案しようと思っていたんですけど、実はもうされているんですね。でも知名度が低いと思います。ここで何年委員やっていても全然知らなかったですし、8月に福袋されていますけれども、福袋ってやっぱり年明けのイメージが、お正月にデパートに走るみたいなイメージがありますよね。この岡山県立図書館は、1月の最初の開館日に用意されていて、大人の方もみんな走って行かれていた映像を見ました。図書館の方がいろんなジャンルの本をそれぞれ5冊1パックとかで組み合わせていて、今まで手に取らなかったジャンルの本も入っていたりするので、「楽しみにし

てます」とか言われていました。なので、図書館員さんの負担がすごく増えるとは思いますが、年明けの福袋の時期に数量限定 100 個とか 50 個とかで、広報に載せるというのが一番周知するかなと思うので、広報に載せていただいて、福袋ぜひやってほしいと思いました。以上です。よろしくお願いします。

事務局：ご意見ありがとうございました。1 点目のトイレについてですが、ご覧のとおりこちらの建物は茨城県とつくば市との同居している施設になっており、トイレの改修につきましてもそれぞれが費用負担する形になりますので、洋式化について今検討、協議をしているところでございます。

2 点目の岡山県立図書館について、私も「カネオくん」を見ました。年明け初日に、毎年本当に楽しみにしている方が列を成しているという状況を見ました。実は当館の「本のふくぶくろ」は今年で 2 回目になります。最初に職員から提案があったのは 3、4 年前だったのですが、やっぱり年明けにやりたいということで準備は進めていたんですけど、そのときは企画を温めている段階で年が明けてしまいました。それであれば夏休みに向けて、低学年・中学年・高学年ぐらいのジャンルに分けてやってはどうかということで、昨年度から今の形で夏休みにやらせていただいております。やはり当館でも大変好評ですが、学年によっては売れ行きが悪く、上の学年に行くほどなかなか借りられずに残ってしまうこともあります。低学年ではあっという間になくなります。

委員：大人向けにやってほしいです。

事務局：一応今はどういうふうにやればできるかというお試し期間中で、児童サービス担当が主でやっているところです。一般の人に向けるとなると、児童サービス担当だけではなく、すべての職員が関わらなくてはいけないので、そこがちょっと今難しいところで、一般に向けてというのは追々ということ考えております。とりあえずは子供たちが夏休みという長いお休みの間にいつも読まないような本を読んでいただける機会を作りたいということでやっています。

事務局：一般向けについても実現できるように準備していきたいと思います。

会長：新しい委員さんもいるので、「本のふくぶくろ」とはどのようなイベントなのか簡単に説明してくれますか。

事務局：「本のふくぶくろ」というのは、小さい子向け、1年生向け、3年生向けなどと対象年齢を分けた上で、袋ごとにテーマを決めまして、職員がそのテーマに沿った本を2冊選んで入れて、利用者にはどんな本が入っているか分からない状態で借りていただくというイベントです。

会長：開けてのお楽しみと。

事務局：自分では選ばないような本が入っていたときに、新しい本との出会いが生まれるかなということで企画しております。

委員：お手洗いについてですが、洋式、和式という言い方になっていて、海外でも和式と言いますけれども、日本だけでなくいろんな国で使われていまして、例えばスキー場や山小屋のように、衛生管理上、和式というあのスタイルが適切だというような場面もございますので、今5つあるとしたら、1つとか2つとか残していただくのがよろしいかと思います。つくばは国際科学都市で、外国人の方もとても多く、今コロナ対策で衛生面にすごく気を使ってらっしゃる方も多いので、全部洋式化すると、いろいろな感覚の方がいらっしゃるのでは。今すべて和式ですよ。

事務局：いえ、違います。すべてではないです。洋式もあります。

委員：ありますか。数のバランスはお任せしますが。

事務局：利用者の方に満足度調査を行ったときに自由に書ける欄を設けますと、やはりトイレに対するご要望というのがあります。1階と2階に、男子トイレ、女子トイレ、あと多目的トイレを揃えているのですが、全部洋式にしてしまうということは考えてはおりません。事務方の考えとしては、一部やっぱり和式のご要望もあるかと推測されますので、例えば1階は全部洋式で、2階には今男子も女子も和式と洋式が1つずつありますので、それはそのまま残した方がいいのかなと考えております。移動についてはエレベーターがありますの

で、例えば高齢の方が階段上がって2階の和式トイレに行くのは難があるという場合でも、エレベーターをご利用いただければ移動できると思います。

委員：多目的トイレというのは増やさないんですか。

事務局：ちょっとスペース上今のところ難しいかなと。

委員：多目的トイレというのも結構広がっているように聞きますので、1つと言わず増やしていただけるような状況があればそれもいいかなとは思ったものですから。

事務局：1階ですと、簡易的なものですがおむつ交換台があります。やはり障害者用トイレではなくて、あくまでも多目的トイレなので、いろんなニーズにお答えできるというところもあります。ただ、本当に場所が限られてしまっているんで、多目的トイレをもう1か所増やすというのは、なかなか現実的に厳しいかとは思いますが、その中で高機能なもの、バージョンアップできるようなものがあれば研究していきたいと思います。

委員：福袋の件、いいアイデアで学校でも取り入れられそうだと思います。司書の方々がいろいろ工夫されていますが、「ぬいぐるみたちのおとまり会」というのはどういうことをやっていらっしゃるのか、ちょっと教えていただけますか。

事務局：今まで3年くらいやっていたんですけども、コロナ禍の前にやっていた「ぬいぐるみたちのおとまり会」では、2年生までのお子さんからぬいぐるみをお預かりして、そのぬいぐるみたちが図書館で夜過ごします。その間に、ぬいぐるみの持ち主の方に本を選んであげて、それを借りて帰っていただきます。それに加えておはなし会も開催するというものでした。コロナ禍になってからはぬいぐるみのお預かりだけにしまして、夜の図書館でぬいぐるみたちが過ごしている様子を写真に撮ってアルバムにして渡しています。また、親御さんから、お子さんがどんな本が好きか聞き取りをして、その子に合った本を、ぬいぐるみが選んだという体で選びまして、それを借りていただくという形で2回ほどやっています。今年度もその形でやる予定なので、おはなし会は開催

しないと思います。

委員：分かりました。ありがとうございました。

事務局：毎回好評でして、10組募集するんですけど、大体90組の応募があり、9倍ぐらいのかなりの倍率になってしまう人気の企画でございます。

会長：「ぬいぐるみたちのおとまり会」については、何をやっているのかという質問が社会教育委員会でも必ず出るんですよ。面白い試みだと思います。それから学校訪問ブックトークの希望校が多いということですが、国語研究部と学校図書館研究部ということで学校関係からも2人来てもらっていますからね。その集まりで学校訪問ブックトークへの希望を投げかけていただいている、その結果もあると思うんですよ。今年もよろしく願いたします。

### (3) 令和3年度図書館運営上の指標に対する実績評価について

会長：では3番、令和3年度図書館運営上の指標に対する実績評価について、資料3で願いたします。

#### 〔配布資料に基づき事務局説明〕

会長：項目が多いですけれども、委員さんから願いたします。

委員：2ページの2-4のところに、年間の開館日数ということで、目標が293日と書かれているんですけども、これだけ開館日数を増やすということは職員の方に負担がかかったりとか、あるいはそのために何か、職員さんを増員するとか、そういったような考え方で今進めているところなのかどうかということをお聞きしたいと思います。

会長：はい、願いたします。

事務局：開館日数について補足説明させていただきますと、令和3年度につきましては、当初291日を予定しておりましたが、8月から9月にかけてコロナのまん延防止等重点措置が国から出ましたので、それに伴いまして30日間臨時に休館をいたしました。その結果260日という形になっておりますので、当初から291日という開館日の設定をしておりました。同じく令和2年度に

つきましては 291 日でしたが、25 日間の臨時休館があったので、このような数字になってしまっております。目標値の 293 日については、例えばすべての祝日ではありませんが、祝日などを特別に開館していたりすることもございますので、その年のカレンダーの具合によって 293 日達成することもあるかと思えます。ただ、当然祝日に特別に開館するということになりますと、職員を手当てするしかございませんので、例えば人件費であるとか、そもそもの人的なキャパというか、マンパワーのところが不足しているという状況が見られるときもございますので、人員管理については引き続き、不足しているようであればしっかりと要求していくという形で整備を図っていきたいと考えています。

会長：はい、他に。

委員：1 - 1 の所蔵資料点数のところなんですけれども、1 回この協議会で書庫ツアーというのをしたらどうでしょうか。私は吾妻小学校の読み聞かせボランティアに入っているんですけれども、吾妻小学校のボランティアはよく書庫ツアーさせてもらっています。この協議会でも、1 回書庫がどんなふうになっているのか、私もまだ見たことがないので、お願いしたいと思います。

それから書庫の資料のことですけれども、こないだ「えほんやなずな」で写真家の方を呼んでお話を聞いたんですが、このような大型絵本は表紙が見えるように展示したら借りたくなると思うんですけど、背表紙だけ見えるように縦に並べてあったらなかなか選ばない本だと思います。この本は子供の本の大型絵本のコーナーにあったんですけれども、私はこの小寺さんの本を目標に行って、5 冊借りてきました。ただ、これとこれは書庫にありまして、すごく内容もいいのにもったいないと思いました。これらの本は子供たちにも読んでほしい本なんですけど、書庫に行くと誰の目にも、私みたいに探っていた人しか当たらない本になってしまい、眠ってしまっています。だから時々そういう書庫の本で、司書さんが「これは」と思う本を、眠りから覚まして、背表紙を見せて縦に並べるのではなく表紙を見せるように置いていただいて、ある一人の作

家などどんなテーマでもいいので、時々特集して展示してもらったら、借りようと思う子いると思うんですよね。これは同じ作家の小寺さんの本なんですけど、これは開架室にありましたが、これが書庫に眠っていたので、ちょっと展示とか考えていただけたらと思いました。

事務局：書庫の本については、基本的には保存する目的で書庫に置かせてもらっています。絶版で手に入らないものを普通に開架に置いておきますと、破損してしまったりとか、いたずらされてしまったりすることもあるので、書庫で大事に保存しています。また、同じ本を何冊か所蔵していて、開架と書庫のどちらにも置いてあるものもあります。書庫にある理由もいろいろなので、一概に書庫にあるから誰も読まないということではないんですけれども、やはり誰の目にも当たらず眠ってしまっているということもあるので、季節の絵本やずっと大好きな本というように、毎月のようにテーマを変えて、こどもコーナーの窓際で表紙を見せて展示をしたりして、積極的に書庫の本は活用していますので、またぜひそちらを見ていただければと思います。よろしくお願いします。

委員：1 - 1の所蔵資料点数についてなんですけれども、やっぱりスペースが限られていて、なかなか蔵書を増やせないということで、今度新しく10月から始まる電子図書館サービスでそこを乗り切るといような話をなされたんですが、その電子図書館サービスの書籍というのは、もう既に実際に図書館の蔵書としてあるものも含まれているんですか。それとも全く新しい、現在図書館で所蔵していない本になるんでしょうか。すべての本が電子書籍になっているわけではないので、どういうものが電子図書館に入るのか、新しい本がどのぐらいの比率で入るのか、そういったことを現時点で分かるのであれば教えていただけたらと思います。

会長：はい、お願いします。

事務局：まず紙の本も含めまして、どういう本を購入するかについては、担当の司書による選書委員会という会議を毎週火曜日に開催し、1冊ずつチェックをして決めております。電子書籍については、おそらく基本的には紙の本があっ



てそれが電子化されたものというものがほとんどだと思います。10月からのサービス開始にあたりまして、今年度の予算の範囲内で8割くらい選定が終わった段階です。

事務局：絵本などの児童書もありますし、一般書もかなり多岐にわたって選定をしたつもりです。でもやはり冊数的に、例えば1000冊ぐらいしかないとする、すべてのジャンルを買うことは難しいので、自分の好きなジャンルがないという方もいらっしゃるかもしれませんが、それは追々充実させていただくということでご容赦いただければと思います。

電子書籍ならではでいいますと、DVDでもありますが、チルビーという動く絵本がありまして、それは目玉だと思うので積極的に選定させていただきました。あと実は、電子書籍は購入してからずっと使えるわけではなくて、例えば1年間で52回使われてしまったらもうそれでおしまいですということで、また再度買い直しをしなくてははいけなかったりする、そういったことも考えながら選定しています。また子供の本については、1人が見てしまうと他の人が見られないような本だけでなく、たくさんの方が同時に見られるような本も選んでいます。

事務局：先ほど限定50何回とか1年限定ということを申し上げましたが、制限のない電子書籍もありまして、そういったものも選んではおります。ただ、やっぱり人気のあるものは、貸出回数が50回までとか、契約してから2年間で契約が切れてしまうとか、そういうものが比較的多いと思います。

委員：新しいシステムができるのがすごい楽しみなんですけど、画面を見るだけで、この書籍は回数が限定されていて、これは限定されていないとかそういうことは分かるんですか。

事務局：表示されるものは基本的に借りられるものだと思います。あと、電子書籍と紙の本は同時に表示されるわけではなくて、紙の本は紙の本、電子書籍は電子書籍というふうに分かるようにはなっていますし、入口も別になりますので、そんなに混乱はないと思います。

委員：分かりました。楽しみです。それでちょっともう一つ足して聞きたいのは、今は実際に紙の本として存在する本の電子版が主になるということをおっしゃったような気がしたんですけど、将来的には、紙の本はないけど電子版があるというような新しい本も購入していくんですか。

事務局：そうですね。その一つとして先ほどご紹介したチルビーというシリーズなどが電子ならではの本ということになるかと思えます。

委員：でも児童書じゃなくて一般の本については、分からないですね。

事務局：今後の情勢を見ていく形になるかと思えます。

委員：今のお話を楽しく分かりやすく聞かせていただきました。電子書籍のリストとかは今ここにはないようですが、ホームページなどにあるんですか。今例えば、スマホでWebOPACで調べられる状況にあるんですか。

事務局：電子書籍を一覧で表示するわけではなくて、冒頭に私申し上げた次期システムと連動させたものと言ったのは、詳しく言いますと、まずインターネットサービスの中で、図書館のホームページからつくば市の図書館にはどういう本があるかという検索をかけます。特定のタイトルがもしあれば、それで検索をかけて、その検索結果として、紙の本があります、電子版があります、という表示になるかと思えます。ですから例えば、検索をかけて電子書籍の一覧が出る対応ができるかどうかは、すみません今の段階ではちょっとシステム会社の方に聞かないと分からないんですけど、一応イメージとしては、借りたい本を検索していただいて、その結果として、紙のものとあります、電子書籍がありますというような、結果の表示にはなるかと思えます。

委員：貸出密度がとにかく高いのがつくばの図書館なんですけど、そういう意味で、貸出回数が多い本を電子書籍でピックアップするとかそういう選定基準がいろいろあるんだと思えます。今チルビーの話もありましたが。電子化すると、市民としては、読みたい本を検索して、それが紙であるか、電子であるか、というのが分かるというそういう調べ方で確認できるということですね。

事務局：そういう表示はできるかと思えます。

会長：10月からですからね。やりながら整備していくこともあるでしょうから、また協議会もありますのでそのときの状況をまた聞きましょう。

委員：先ほどおっしゃった書庫のお話で、つくば事情だと思うんですが、図書ボランティアさんによっては教員免許持っていらっしゃる、元先生でしたというような方々もいっぱいいらっしゃいまして、そういうとても熱心な図書ボランティア、サークルですと、書庫を見学したりとか、そういう企画もあるようです。そのサークルのメンバーが書庫ツアーをされて、私もたまたま紛れて行ったことがあるんですが、昔懐かしい、これぞ図書館にある本という定番のものがあってほっとしたというような印象をそのときは持ちました。新しい本がいっぱい開架に出ていますので、時代が変わったような感じがするんですが、ちゃんと書庫に行けば、昔懐かしい良い本があるなという印象を持ちました。

事務局：ではこの後、協議会閉会后に、書庫や自動車図書館をご案内させていただきますので、お時間のある委員さんはお残りいただければと思います。

委員：この参考資料の図書館概要を読ませていただいて、19ページの右上の有効登録者数（年齢別）というのを見まして、13歳から29歳までの方がやはり予想どおり利用者が少ないと思いました。実際、夏休みとかに来て小学生の方とお母さんといった親子連れとか、高齢者、中高年が多いと感じました。もしこの13歳から29歳までの層に図書館に来てもらおうと思ったら、コミックかなと私は思ったんです。例えばドラゴンボールとか、映画化されているようなコミックとか、新刊とか。コミックを入れるとこの層、10代、20代が来てくれるんじゃないかなと思いました。また雑誌で、例えば、図書館にどうなのかなとは思いますが、週刊少年ジャンプ、すごく人気がある雑誌だと思います。そういうものを置くのはすごく冒険かもしれませんが。コミックについてご意見お伺いしたいです。

事務局：コミックについてもきちんと担当がいまして、基本的には賞を取ったものですか定評のあるもの、あと暴力的なシーンがあまりないものということも考えながら選定しています。漫画雑誌についてはちょっと今まで検討したこ

とがなかったなので、担当に聞いてみます。ありがとうございます。

(4) 令和3年度蔵書点検報告について

会長：時間押してきていますので、4番に行きたいと思います。令和3年度蔵書点検報告について事務局からお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

会長：はい、委員さんからお願いいたします。

委員：パーセンテージを見て不明点数が少ないということでしたが、この後ろの別紙の1とか2とか、細かいリストがあるかと思うんですけども、不明なものの傾向というのはあるんですか。先ほどコミックを入れていただくというような話もあったりとかしたんですけども、一般図書が多いんでしょうか。

事務局：どの交流センター図書室でも、一番多いのが一般図書になっていると思います。一般図書が、図書室の中で占める割合が一番多いですし、カウンターから離れたところにあったりしますので、特にブザーが鳴るようなシステムもなく、バッグに入れて持って帰ってしまうことができたりするのかなと思います。ただ昨年、その前の年に比べたりすると減っていますし、特に筑波交流センター図書室は不明が一冊もないので、令和3年度は大変優秀な成績だったかと思います。

会長：不明図書、割合からすると少ないですよ。

事務局：はい、かなり少ないと思います。

坏会長：ゼロというのは難しいんだから、非常に少ない率でいいですよ。

委員：カウンターから遠いというようなお話もあったので、カウンターから遠いようなところに、例えばかかしではないですけど、何か防犯カメラとかを置いていただくなど、こうすることで不明がなくなるんじゃないかなと思われる点が職員さんの中で何かありましたら対応していただければいいのかなと思います。磁気システムでの防犯対策がないということなので。

会長：毎年不明リストは出してもらっておりますけれども、医療品店みたいなお

店の万引き防止のような、黙って取るとブザーが鳴るとか、そういうことを1冊1冊対応するのはとても無理だということで、その中で今までを見ても非常に少ない割合で推移していると思います。いつぞや他の図書館との比較はどうなんですかって聞いたら、それがなかなかできないと言っていましたけれども、いずれにしてもこの図書館の不明率は非常に少ないみたいですので、ゼロになれば一番いいんでしょうが、ゼロはきっと難しいのかもしれないですね。だからこれは少ないことを認めてあげればいいんじゃないでしょうかね。他にございますか。

委員：不明の話で、県立図書館や筑波大学といった他の図書館からも借りられる相互貸借制度が進んでいますが、こういった不明数が少ないマナーの良いところが、原点になっているのかなと思いますので、素晴らしいと思います。

事務局：先ほど防犯カメラのお話ありましたが、中央図書館も、見ていただけると館内の何か所かに防犯カメラは設置しております。もちろん録画ができるタイプのもので、何かあれば再生することができるものになっています。交流センター図書室については、各交流センターによって事情が違うと思うので、必ずしも図書室内にカメラを設置しているかというところもそういった状況でもないように見受けられます。また先ほど冒頭にありましたようにやはり盗難防止というところですが、それに対しては機械的な盗難防止設備を今のところ一切設置されていないというのが現状でございますので、そこは皆様のマナーというか、性善説というか、そういったものに頼らざるをえないところがございます。

委員：素晴らしいですね。

#### (5) 令和3年度利用者満足度調査について

会長：それでは令和3年度利用者満足度調査について、資料5の方でお願いします。

[配布資料に基づき事務局説明]

委員：満足度が高いということで、さすがだなと思いました。9ページの方の「その他」で、「貸出冊数を増やしてほしい」とかいろいろとご要望が書かれていますが、県立図書館に行った際、DVDやCDをクッションみたいなものに入れて返却ボックスに返却できるようになっていてびっくりしました。これは当然マナーが守られているからそういう体制になっているんだなと思いました。ここに「CD、DVDも予約できるようにしてほしい」とありますが、県立図書館の資料を予約してこの中央図書館で受け取るという制度がありますので、その制度で県立図書館のDVDやCDも中央図書館で受け取ることができるようになるとありがたいなと思います。確かDVDやCDは値段が高いというお話もあったかと思うので。

事務局：いわゆる相互貸借で視聴覚資料を借りられるようにというご質問だったかと思うんですけども、視聴覚資料もいわゆる録音資料と映像資料で取り扱いが全く異なっていて、特に映像資料につきましては、図書館で無料で貸し出すに当たって、著作権使用料といいますか、利用料金の上乗せがかなりされているんですね。なので、なかなか皆様のご要望にお応えできるような購入は難しいところがございます。また、相互貸借で、購入した図書館以外のところで貸出ししていいかというところ、その権利について著作権法にありますので、そこもクリアしないといけません。本と同じような形での相互貸借が今すぐどの資料でもOKというのは、極端な話1タイトルずつ許可を取っていく必要があるかもしれないので、早急に改善して実現することはちょっと厳しい状況だと思います。

委員：返却だけでも可能だといいいかなと思います。水戸では確かDVD5つまでとCD5つまで、合計10個借りられるんですね。実は借りに行ったんですけども、やはり水戸まで返却しに行ったんですが、返却だけでもこちらで返却させていただけるとありがたいかもしれないです。

会長：9ページの「図書館の施設・設備について」というところで、「駐車場が遠い」というのがありますね。これはやっぱり誰もが思っていて、図書館の

前の敷地でも駐車場にしたらいいのになんて、市民は誰もが思っていることなので、できないで終わりにせず考えてみたい。そうすればこの人気はもっと出ますよね。あとは、私は谷田部に住んでいるもんだから「谷田部交流センター図書室の駐車場が狭い」。これは確かに狭いんです。狭くて通りへ出るとすぐに信号で危ないんですよね。これももう少し考えないとですよね。この「みどりのにも図書館がほしい」も、ああそうだろうなと思います。みんなお金のかかることだけでも、あれは無理なんです、あれは管轄違うんです、だけでやっていると永遠に解決しないから、やはりそういうハード面も考えていく必要がありますよね。例えば中央公園とかに駐車場できたら、ものすごい人気上がりますよ、今でも人気あるんだけど、その何倍も上がると思います。やっぱり駐車場から遠いと不便ですよね。別に回答は大丈夫です。

(6) 令和4年度図書館情報システムの更新について

会長：では次いいですか、6番行きましょう。令和4年度図書館情報システムの更新について、資料6をお願いします。

〔配布資料に基づき事務局〕

会長：図書館情報システムの更新について委員さんからお願いいたします。

委員：質問なんですけれども、広域利用サービスで、土浦市と下妻市に在住の方も利用できるとなっているんですけど、逆はできるんですか。私たちも下妻と土浦から借りるということはOKなんですか。

事務局：おっしゃるとおりですね。元々下妻市についてはつくば市民も利用ができました。ただし、つくば市自体は6か町村合併でしたので、合併前の6か町村で下妻市と隣接していた旧筑波町と旧大穂町、今で言うつくば市の大穂地区と筑波地区に在住の方は、下妻市の図書館がもう既に使えていました。それを今回、つくば市全域に広げていただくということを下妻市の方もおっしゃってください、当館でも下妻市民の方もつくばの図書館をご利用いただけるようにということで、相互の利用が始まりました。土浦市については、市民限定と

か、あるいは隣接している市、この市だけ限定といったような住所要件というものが元々なかったので、当館が広域利用始めますという手を挙げれば、もちろん調整はしていましたが、それでOKということで、このタイミングでいろいろな準備が整いましたので、今月から開始させていただきました。

委員：では私たちも借りられるということですね。

事務局：そうです。下妻市や土浦市に行って登録をしていただくと借りられます。ただ土浦市については、つくば市民ももう既に使っていました。

委員：ありがとうございます。

事務局：広域利用については、以前の協議会でも申し上げさせていただきましたが、県内を見てもみますと広域利用を全くやっていないのがつくば市だけでした。隣の県と隣接している、例えば結城市は小山市も使える、というように県境を跨いでやっているところもあったんですね。そういうところもありまして、隣接している市と広域にお互いに利用できないかなということで、まず土浦と下妻について調整が整いましたので、開始させていただいたということです。

会長：これはあくまでもつくばの図書館から土浦に依頼するというので、借入れを申し込んだりするのはつくばの図書館を通すわけですね。

事務局：土浦市の図書館につくば市民の方が行くと、土浦市の利用カードが作れるということです。

会長：直接向こうに行って作るということですか。つくばの図書館にないものから、つくばの図書館が土浦の図書館から探して来るといったことではないんですね。

事務局：それは協定とかを結ばなくても、既に相互貸借という形で資料のやり取りができていたけれども、今度はつくば市民が個人で土浦や下妻の図書館に行って、利用カードを作って使えるようになりました。土浦は今までも使えていたが。

会長：つくば市民でも下妻市や土浦市の図書館の利用カードを作れるということ



ですか、分かりました。勘違いしていました。つくばにないもんだから、つくばの図書館から探してもらってこっちに届けてもらって、ということではないんですね。

事務局：利用の仕方によっては、例えばですが、同じ本でも、つくばだと予約待ちが10人いるけど下妻に行くのと棚にあるという可能性があるのも、もしかしたら下妻に近い方は下妻に行って借りてしまおうっていうそういう利用もできます。

会長：穴場のような感じでもあるんですね。

事務局：実際、下妻市立図書館もそういうことをおっしゃっていましたので、つくば市民の方でも筑波地区・大穂地区の方は下妻に行ったほうが借りられるということもあります。

会長：はい、他にございますか。

委員：一番最初の部分のところからちょっと理解していないところがあるんですけど、図書館情報システムと電子図書館サービスが並行して始まるという話だと思っんです。その電子図書館サービスの内容が、これを見たとりあえず始まる時は1,000タイトルぐらいで考えているということまでは出ているんですけど、これはいわゆるタブレットとか、パソコンで見るということですか。それでこの図書館のホームページとか、ネットで申し込むとそこに検索して出てきたものをそこで借りることができるという考えでいいですか。

事務局：はい、おっしゃる通りです。

委員：例えば、今人気のあるタイトルの作品が出ると、紙の本だと50人以上待ちとかありますよね。そのとき同時に10人とか20人が申し込んだ場合に、全員がその本を同時に見ることが可能だということになるんですか。そのときに人数制限とか出てくるんでしょうか。

事務局：そのタイトルの契約の仕方になりますけども、できるだけ多くのタイトルそろえたいので、同時アクセスは1件になります。

委員：そうすると先ほどの50人待ちということが出てくるんですね。

事務局：あります。そうすると、予約をかけて待つという形です。電子書籍のいいところは、2週間という貸出期間を設けていますので、返却しなくても2週間過ぎると返却の扱いになり、もうアクセスできなくなってしまいます。

委員：その時点ですぐに切れてしまうんですね。

事務局：そうです。そういうものになっています。

#### (7) その他

会長：私は竹園東小学校が出来立てのころに竹園東小学校に赴任したんですが、最初の学校ではなかったんですけども、母親文庫とかP T A文庫なんてありまして、その頃はこんな図書館なかったの、やっぱり母親たちがP T Aの少しばかりのお金でやっていたんですね。あれから何十年経って全然見違えるように充実してきたのを見ると隔世の感があって嬉しい限りですね。もう今は学校には母親文庫なんかありませんよね。もうP T A文庫なんてないんですよ。図書館がこんなに充実すればね。そういう時代になったんだなと思って、もう40何年前になりますけど懐かしく思います。では最後、はい、お願いします。

委員：「ヨモッカ」に関して、私ものすごく「ヨモッカ」のファンなんですけれども、1か月ぐらい前に小野川交流センター図書室に参りましたら、カウンターの下にあったテーブルに「ヨモッカ」が横に置いてあって、それが机の下に隠れて「ヨモッカ」というタイトルも見えなかったし、その上に別の資料みたいなものも置いてあって、「ヨモッカ」がお客様に分からないというちょっと雑然としていたんですね。そこでスタッフの人が知り合いだったので、「ヨモッカ」すごくいいから、これだとちょっと目立たないなって言ったら、そうだねって言って、つい先日行きましたら百均で買ったレシピ立てみたいなものに、その「ヨモッカ」を立ててカウンターの前に置いてくださっていたんですね。そうするとやっぱり全然違うんですね。先ほど本のレイアウトの件もありましたけれども、「ヨモッカ」とか自動車図書館に関してはもっとP Rをしていただきたいです。そしてたくさんの方に「ヨモッカ」は手に取ってもらいた

いので、各交流センター図書室任せではなくて、図書館スタッフ同士の交流会とか、あるいは柴原さんとか川田さんとかプロの方がちょっと交流センター図書室を見に行つて、こここういうふうにしたらもっと手に取るんじゃないとか、これちょっと見えづらいからもうちょっと整理しようねとか、何かそういうアドバイスとか勉強会みたいなものがあると、より清潔感があって手に取りやすく、また行きやすくなるのかなと思うんですけど、そのあたりに関してはいかがですか。

事務局：各交流センターについては、図書室に必ずしも職員が配置されているわけではないので、できるだけコミュニケーションをとるために、担当係長が定期的に4交流センター図書室を回つて、随時いろいろ情報交換などを行っているところです。その中でいろんなアドバイスもさせていただいていると思うんですけども、係長だけではなくいろんな職員が行つた方が、やっぱり気づきが多いと思いますので、これまで以上にそういったところも配慮していきたいと思います。

委員：特に「ヨモッカ」に関しては「こどもヨモッカ」も一般向けの「ヨモッカ」もすごくいいので、ダメ押しで申し訳ありませんが、百均のレシピスタンドに立ててあるだけでも本当に違つたので、ぜひそれを推奨してもらつてたくさんの方に手に取ってもらえるように、ぜひ工夫していただきたいと思います。

事務局：はい、ありがとうございます。

会長：最後フリースペースの時間と思つたのですが、時間押してきてしまったので、これだけは言つて帰りたいというのがありましたら、短く言つてくださつて結構です。

委員：ちょっと前と言おうと思つていたのですが、スペース足りませんよね。私は足りないと思っているんですけど、この図書館の利用者に対して蔵書スペースがなくて足りないと思っているんですけど、入つて左側の外国語書籍、すごく高い本棚に入っているんですけども、きちつと入つてないですね。ほぼ126%の使用率と書いてあつたんですが、あそこをもう少し狭く圧縮して一般図書

とかいろいろ入れるのに使えないんでしょうか。

事務局：平成2年にオープンしたときにはあちらはYAコーナーだったんですけども、ハリー・ポッターみたいな本が出たりして、特にYA向けとしなくても児童と一般の棚に分けて、大人の方も子供の本を読めるようにということでYAコーナーをなくし、今の地域資料の棚にあった外国語図書を動かしてスペースをちょっと確保しました。オープンしてから15年くらい経ったときに、ちょっとレイアウトの変更をしまして、今のようになりまして。外国語の資料についても、外国人の利用者の方も多いので、そこを減らすというのはなかなか難しいところです。

委員：そうなんですか、意外でした。あんなに利用されているんだって逆に私すごくびっくりしました。分かりました。

会長：はい、よろしいですかね。はい、では最後にしましょう。

委員：最初にも申し上げたんですけど、読み聞かせ研修講座や「ヨモッカ」について、もっと市民に触れてもらいたいと思います。やっぱり置いてあったとしても、関心がなければ取らない人は取らない。だから新着資料や蔵書の紹介とか、講座の紹介とか、ほんの少しでもいいので図書館さんで広報のスペースをもらって、例えばですが、毎月図書館からのお知らせや情報を、図書館に来ていただけるような、引きつけるような何かを、図書館だよりみたいな形で書かれたらどうでしょうかと思って提案したかったんです。

事務局：私も以前広報広聴課長をしておりましたので、内部事情を申し上げますと、実は広報の締め切りというのがおよそ40日前になります。ということは10月1日号ですと、もう8月半ばくらいには原稿を締め切ってしまうということで、必ずしもフレッシュな情報ではなくなってしまうということもございます。また、つくば市から発信したい情報はたくさんあるのですが、スペースについては年間くださいということで、お願いすれば何とかなると思うので、ちょっとその辺は広報戦略課に相談してみたいと思います。

会長：はい。それでは時間になりましたので、最後、図書館から連絡事項ありま

したらどうぞ。

事務局：特に追加では連絡事項はございませんが、今年度まずもって第1回目が9月になってしまったことにつきましては大変申し訳なく、お詫び申し上げますと思います。次回、また2回目を予定しておりますが、それまでに今日いただいたご意見などで、その後の進捗状況とかを含めましてご報告、ご説明をさせていただきたいと思います。またその間でも、お越しになったときやお電話あるいはメール等でも、随時ご意見を賜ればと思いますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

会長：先だって、谷田部の交流センター図書室に行ったときに本がなかったのをお願いしたら、次の日に届いて早いなと思ひました。ありがとうございます。申し込んで次の日にもう来ましたっていうんだから、オンラインのこれは素晴らしいシステムですよ。今私が結構楽しみにしているのは、『ふれあいライブラリーパーク』の図書館の改修です。これは着実に進めてください。これ改修されたら委員辞めてもいいかなと思ひます。おそらく何年もかかると思ひますが、確実に進めてくださいね。楽しみにしていますから。では今日はこれで閉じたいと思ひます。ありがとうございました。

以上

## 令和 4 年度（2022 年度）つくば市立中央図書館重点事業

### 1 図書館情報システム更新

令和 4 年 10 月に稼働開始を予定している次期図書館情報システムについて、導入準備を進めます。

また、WEB サービスの拡大を図るため、パスワード発行の年齢制限を撤廃します。

### 2 電子図書館サービス開始

令和 4 年 10 月予定の図書館情報システムの更新に合わせて、電子図書館サービスを開始します。

電子図書館サービスは、次期図書館情報システムに連動したものとすることで利便性の向上を図るとともに、随時コンテンツの充実を図ってまいります。

### 3 自動車図書館サービス拡大

令和 3 年度末に配備した新規車両を活用し、3 台体制で自動車図書館サービスを行ってまいります。

また、既存ステーションについては随時見直しを行うとともに、ニーズ調査や先進事例調査などを通じて新たなステーションを設定するなど利用の拡大を図ります。

### 4 中央図書館の施設改修

市長公約にある「図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館『ふれあいライブラリーパーク』の理念を実現する中央図書館の施設改修」事業について、市民意見を参考にしながら改修計画案策定を行います。

### 5 安全・安心な図書館サービス提供

新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施することにより、利用者の安全を確保し、安心して利用していただける図書館運営に努めます。

イベントの実施に当たっては、感染リスクの少ないイベントを企画し、また、既存イベントについても様々な工夫を凝らして行います。

## 令和4年度事業計画（事業・業務予定表）

つくば市立中央図書館

月	業 務 予 定			
	管理係		サービス係	その他
4月	・アルス協議会 ・文書ファイリング（通年）	・前年度利用統計集計業務 ・選書、発注、受入れ（通年）	・団体貸出、相互貸借、インターネット予約による遠隔地貸出サービス（ぶつくびん）、図書返却事業（通年） ・出前講座（通年） ・館内見学、職場体験受入れ（通年） ・不用図書の選定、梱包（通年） ・自動車図書館3号車運行開始	・ホームページ掲載（随時） ・広報6月号締切り ・5月勤務割振表配付
5月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度3・4月分）	・小学校等新入生新規カード作成 ・インターンシップ受入決定	・広報7月号締切り ・6月勤務割振表配付
6月	・アルス協議会			・広報8月号締切り ・7月勤務割振表配付
7月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度5・6月分） ・「本が泣いています」展示（27日～8月30日）		・広報9月号締切り ・8月勤務割振表配付
8月	・アルス協議会 ・「つくば市の図書館概要」発行		・広域利用開始（下妻市、土浦市）（2日） ・学校訪問ブックトーク希望校募集・準備 ・中学生職場体験受入れ ・本のふくぶくろ実施（6・7日） ・インターンシップ受入れ	・広報10月号締切り ・9月勤務割振表配付
9月	・アルス協議会 ・第1回図書館協議会（1日） ・茨城県立図書館出前講座 読み聞かせ研修講座「読み聞かせのための声と話し方」（17日）	・新聞廃棄（廃棄年度7・8月分）	・各ステーションへ自動車図書館後期日程通知 ・公共施設向け不要図書リサイクル事業（6日） ・図書館システム更新に伴う休館（20日～10月3日） ・中央図書館蔵書点検（27～30日）	・広報11月号締切り ・10月勤務割振表配付
10月	・アルス協議会	・電子図書館サービス開始（4日）	・学校訪問ブックトーク（～12月）	・広報12月号締切り ・11月勤務割振表配付
11月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度9・10月分）	・次年度自動車図書館巡回コース及び日程検討 ・科学フェスティバル出展（12日）	・広報1月号締切り ・12月勤務割振表配付
12月	・アルス協議会	・「こどもヨモッカ」第17号発行、小学校配布（1日） ・次年度購入雑誌検討（～3月）	・次年度インターンシップ受入れ決定 ・ぬいぐるみたちのおとまり会 ・年末年始休館に伴う特別貸出広報	・広報2月号締切り ・1月勤務割振表配付
1月	・アルス協議会 ・次年度会計年度任用職員募集	・新聞廃棄（廃棄年度11・12月分）		・広報3月号締切り ・2月勤務割振表配付
2月	・アルス協議会 ・第2回図書館協議会 ・次年度会計年度任用職員選考	・雑誌配架場所変更 ・「ヨモッカ」第18号発行、区会回覧（1日） ・次年度雑誌スポンサー募集	・特別整理期間（7～10日） ・4交流センター図書室蔵書点検実施（7～10日） ・公共施設向け不要図書リサイクル事業	・広報4月号締切り ・3月勤務割振表配付
3月	・アルス協議会 ・利用者満足度調査実施	・新聞廃棄（廃棄年度1・2月分） ・次年度資料費配分決定	・ファーストブック講座募集・実施 ・小学校等新入生新規カード作成、取りまとめ通知 ・各ステーションへ自動車図書館前期日程通知	・広報5月号締切り ・4月勤務割振表配付

- 【展示テーマ】
- ・3～5月：つくば地政学
  - ・6～8月：YA！
  - ・9～11月：冒険
  - ・12～2月：AI ↔ 脳生活

- 【図書館おはなし会】
- ・おはなしぶんぶん（乳幼児向け） 毎月第3または第4金曜日及び第4または第5水曜日（8月は除く）  
2回公演 10：30～10：50 11：00～11：20

## 【ボランティア活動】

- おはなしボランティア
  - ・おはなし会（毎週土曜日 2回公演 15：00～15：15 15：30～15：45）
  - ・グループスイミー公演（6月25日）
  - ・パネルシアターかくれんぼ公演（7月9日）
- 児童サービスボランティア（4月13日、6月8日、9月7日、12月7日、令和5年1月11日、3月8日、随時）
- 修理ボランティア（毎週火・水曜日）
- 音訳ボランティア（毎月3回）
- 点訳ボランティア（毎月第3木曜日）
- 国際化サービスボランティア（随時）
- 配架ボランティア（随時）
- 地域文化ボランティア
  - ・おとなのためのブックトーク（毎月第1土曜日 10：00～）
  - ・本好きのためのゆるっとトークルーム（毎月第3土曜日 10：00～）
- 地域資料ボランティア（毎週水曜日）
- 図書館サポーター（随時）

# 令和3年度指標に対する実績評価

資料3

指標の目標年度 令和5年度

評価期間 令和3年度～令和5年度

## 1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（4項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
1-1	所蔵資料点数	482,244点	483,263点		490,000点	483,263点	98.63%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及びオンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荻崎の4交流センター図書室(以下、「4図書室」という。)で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む。)の点数							
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書購入について検討、良質な図書の収集に努めている。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターへの配置変えを含めて資料の充実を図りたい。また、令和4年10月から導入予定の電子図書館の電子書籍により資料の充実を補完していく。							
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,236,562点	1,376,860点		1,450,000点	1,376,860点	94.96%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室での個人への貸出冊点数(団体貸出を除く。)							
評価	令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休館により、例年より少なく目標値には届かなかったが、前年度と比べて増加した。今後も感染症予防対策及び読書推進、情報発信に努め、サービスの維持向上を図りたい。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	52,113点	51,962点		85,000点	51,962点	61.13%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出件数							
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネット等の普及のためか減少傾向である。また、新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館によりさらに減少した。1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.0点	5.6点		6.0点	5.6点	92.83%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室で貸出した資料の点数。(視聴覚資料の貸出、団体貸出及び相互貸借借受貸出等利用者に貸出した全ての点数を9/1現在の常住人口で除して算出する。)							
評価	前年度に比べて増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館もあり、目標値にはまだ届かなかった。引き続きサービスステーションや所蔵資料の維持向上に加え、感染症対策を図り、利用増に努めたい。また、電子図書館の導入による貸出点数の動向も見極めていきたい。							

## 2 市全体へのサービスに関する指標（10項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-1	新規登録者数	5,190人	5,896人		6,500人	5,896人	90.71%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数							
評価	前年度より増加したが、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、目標には届かなかった。広域利用の開始や電子図書館の導入、BMステーションの見直しなどによる登録者数の増加を期待したい。							
2-2	図書館利用カード利用者数	25,964人	28,342人		33,500人	28,342人	84.60%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算。団体貸出除く)							
評価	前年度と比較増加したが、新型コロナウイルス感染症の流行もあり目標には届かなかった。利用しやすい図書館運営に努め、また図書館利用につなげるイベント等を実施し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていきたい。電子図書館サービスの導入が、来館困難な利用者の利用増など、どのように影響するか注目したい。							



No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-3	来館者数	393,375人	435,851人		580,000人	435,851人	75.15%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数							
評価	前年度と比較し増加したが、新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館等により目標には届かなかった。イベントの開催や貸出利用者の増により、来館者増を図りたい。							
2-4	年間開館日数	266日	260日		293日	260日	88.74%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館により減少した。館内整理日や祝日開館の振替休館の見直し等により、日数増を図りたい。							
2-5	年間開館時間	2,423時間	2,450時間		2,760時間	2,450時間	88.77%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館により開館日数は減ったが、前年度はあった時間短縮開館がなかったため、年間開館時間はやや増加した。コロナ禍においても、感染対策を徹底しながら通常開館に努めていきたい。							
2-6	返却窓口への返却冊数	116,371冊	92,810冊		130,000冊	92,810冊	71.39%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	4図書室、並木・広岡・大穂・豊里、島名交流センター及び市役所のブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館等により減少した。しかし、利用の増加が見込まれるため、サービスステーションの位置や配送頻度について検討を続けたい。							
2-7	予約件数	131,036件	167,352件		120,000件	167,352件	139.46%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数							
評価	新型コロナ感染症により、できるだけ図書館への来館を控えたり滞在時間を短くするためか、予約件数は来館者数や貸出点数等ほどの影響は受けなかった。今後も市民サービスの維持向上を図りたい。今後予定している予約本受取可能ポイントの増設や、Webサービス利用パスワード設定の年齢制限撤廃により、さらなる増加が予想される。							
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検索件数)	371,691件	445,989件		390,000件	445,989件	114.36%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数							
評価	OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない。予約件数と同様に新型コロナウイルス感染症の影響は受けず、検索数は増加した。引き続き、読書推進活動から本への興味を増し、件数増につなげたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	8回		6回	8回	133.33%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数							
評価	図書館情報誌「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年1回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「とよかんの本」を2回、テーマ別の図書資料や探し方を紹介する情報紙「パスファインダー」を4回発行し、目標を達成した。引き続き市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、利用の促進を図ってきたい。							

No.	目 標 指 標	参考値			目 標 値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	23回	104回		100回	104回	104.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行が収束しない中、感染対策を行いながら開催することにより目標を達成した。今後もコロナ対策を踏まえた上で、イベントを開催していきたい。							

### 3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,735冊	2,784冊		2,700冊	2,784冊	103.11%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数							
評価	計画的に購入を行って所蔵数を増やし、目標を達成することができた。読書バリアフリー法が制定され、また高齢者も増えているため、今後も計画的な蔵書構築に努めたい。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,960冊	2,275冊		2,300冊	2,275冊	98.91%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数							
評価	前年度と比較し増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大活字本についても貸出冊数は目標に届かなかった。蔵書の質を高め、貸出冊数の増加を図りたい。							
3-3	外国語資料の所蔵点数	11,046冊	11,028冊		11,000冊	11,028冊	100.25%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数							
評価	計画的に購入を行って所蔵数を増やし、目標を達成することができた。外国人居住者数は今後も増加見込みであるため、引き続き外国語資料の購入予算増や、積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていきたい。							
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,672冊	10,858冊		8,500冊	10,858冊	127.74%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)							
評価	所蔵外国語資料の充実を進めたためか、外国語資料の貸出点数については、新型コロナウイルス感染症の影響が小さい結果となった。今後も外国語資料を紹介するイベントを行うなど、維持向上を図りたい。							
3-5	点字資料の所蔵点数	237点	238点		230点	238点	103.48%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数							
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成を行い、目標を達成することができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに計画的に点字資料を購入することで、サービスの充実を図りたい。							

### 4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	12,712人	9,677人		14,000人	9,677人	69.12%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(2台)の年間貸出人数							
評価	前年度増加した自動車図書館の利用者だが、令和3年度は減少し目標に達しなかった。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、ステーションの見直しや情報発信で更なる拡充を図りたい。また、令和4年度から運行開始の3号車を活用し、新たなサービスステーションの増設など、市内全域への図書館サービスの提供を図っていきたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,415冊	37,244冊		55,000冊	37,244冊	67.72%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(2台)での年間貸出冊数							
評価	自動車図書館の利用者と同様、貸出冊数が減少した。利用者層を反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。							
4-3	相互貸借貸出冊数	575冊	1,862冊		1,500冊	1,862冊	124.13%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数							
評価	新型コロナウイルス感染症による臨時休館等に加え、相手方図書館の休館などもあったが大幅に増加し目標を達成した。今後も希望の資料にアクセスできるよう制度周知を図るとともに、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。							

#### 5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,389件	1,440件		1,800件	1,440件	80.00%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数							
評価	前年度より微増したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標には達しなかった。引き続きサービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図り、図書館サービスの充実に努めたい。							
5-2	ボランティア登録者数	150人	166人		160人	166人	103.75%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)							
評価	前年度から微増し、目標を達成した。平日活動のグループが多いため、就業している方はなかなか参加できず、登録できない状態である。新たなボランティア活動を依頼、活動日の見直しを図りたい。また、配架ボランティアは、登録者が集中し年度途中で募集を締め切った。できるだけ多くの方が活動できるように工夫を考えたい。							
5-3	ボランティア活動者数	1,006人	1,557人		2,200人	1,557人	70.77%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数							
評価	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による活動停止や見送りなどにより、活動者数は目標に達しなかった。感染防止対策や現状下での活動方法を検討していきたい。							

#### 6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	103回	120回		150回	120回	80.00%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数							
評価	前年度より増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、団体貸出利用回数は目標に達しなかった。団体貸出の周知とともに、団体貸出が利用しやすい環境を整えたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-2	団体貸出図書冊数	6,912冊	7,212冊		15,000冊	7,212冊	48.08%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)							
評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、団体貸出の貸出冊数は目標に達しなかった。魅力ある図書を揃えたとともに、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めたい。							
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	0回	4回		10回	4回	40.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行により、目標に達しなかった。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	0人	0人		40人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数							
評価	中学2年生(義務教育学校8年生)を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の流行により、前年度に引き続き実施を見送った。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。図書館の利用者数が多くなる夏休み期間に受け入れることが多く、人員配置が課題である。							
6-5	ジュニア図書館員受入人数	0人	0人		75人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館の業務体験事業に参加した児童数							
評価	5年生、6年生を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の流行により、前年度に引き続き実施を見送った。職場体験学習受入れと同様に、職員の人員配置が課題となる。							
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	0人	49人		170人	49人	28.82%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数							
評価	令和3年度は対面ではなく、参加者に研修動画を視聴してもらうという形式で行った。今後も対面以外の方法を検討しながら、できるだけ多くの方が参加できるよう工夫して実施していきたい。							

## 7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	85%	78%		80%以上	78%	97.50%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	年度末に、中央図書館内で利用者に対して図書館サービスについて満足しているかどうかの調査を実施する。							
評価	「満足」と「やや満足」を合計した割合は、前年度から減少し、目標の80%を下回る結果となった。今回新たに設けた自由記入欄への意見や要望をもとに改善できるところから改善し、利用者目線での図書館サービス向上を目指していきたい。							

## 令和 3 年度 交流センター図書室蔵書点検報告書

## 1 概要

目的：谷田部・筑波・小野川・荃崎の各交流センター図書室に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和 4 年 2 月 8 日（火）～令和 4 年 2 月 10 日（木）

点検対象：谷田部・筑波・小野川・荃崎各交流センター図書室 全資料

点検者：交流センター図書室業務委託職員

点検機器：ハンディターミナル 25 台

[内訳] 中央図書館用 19 台、自動車図書館用 2 台、  
各交流センター図書室用 4 台

## 2 作業内容

2 月 8 日：筑波・小野川・谷田部・荃崎交流センター図書室の資料走査

2 月 9 日：荃崎交流センター図書室の資料走査

2 月 10 日：筑波・小野川・谷田部・荃崎各交流センター図書室

エラーリスト資料・不明候補資料の検索、  
配送・返却本の返却処理、その他開館準備

## 3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和 3 年 2 月から令和 4 年 2 月までの間に不明となった資料  
の点数（※別紙 1・2 参照）

筑波交流センター図書室	0 点	（所蔵総数：33,654 点）不明率：0.00%
小野川交流センター図書室	12 点	（所蔵総数：31,869 点）不明率：0.04%
谷田部交流センター図書室	11 点	（所蔵総数：48,622 点）不明率：0.02%
荃崎交流センター図書室	14 点	（所蔵総数：51,546 点）不明率：0.03%

## 蔵書点検結果

## 1 不明資料点数

筑波交流センター図書室	0点	(所蔵総数:33,654点)	不明率:0%
小野川交流センター図書室	12点	(所蔵総数:31,869点)	不明率:0.04%
谷田部交流センター図書室	11点	(所蔵総数:48,622点)	不明率:0.02%
茎崎交流センター図書室	14点	(所蔵総数:51,546点)	不明率:0.03%

## 2 分類別不明率

資料区分	筑波			小野川			谷田部			茎崎		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対 象 (A)	不明資 料点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対 象 (A)	不明資 料点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %
一般図書	12,750	0	0.00	14,251	8	0.06	23,819	7	0.03	27,984	9	0.03
文庫	1,470	0	0.00	2,344	0	0.00	4,886	1	0.02	4,637	2	0.04
コミック	1,320	0	0.00	53	0	0.00	1,995	0	0.00	1,527	0	0.00
参考図書	153	0	0.00	220	0	0.00	441	1	0.23	513	0	0.00
地域資料	981	0	0.00	341	1	0.29	966	0	0.00	701	0	0.00
市政資料	385	0	0.00	326	0	0.00	324	0	0.00	367	1	0.27
児童図書	8,148	0	0.00	7,091	2	0.03	7,923	2	0.03	9,241	2	0.02
紙芝居	623	0	0.00	246	0	0.00	345	0	0.00	261	0	0.00
絵本	6,473	0	0.00	6,309	1	0.02	7,023	0	0.00	5,476	0	0.00
外国語一般	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	1	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	11	0	0.00	38	0	0.00	180	0	0.00	28	0	0.00
視聴覚資料	7	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	511	0	0.00	488	0	0.00	431	0	0.00	517	0	0.00
児童雑誌	821	0	0.00	162	0	0.00	289	0	0.00	294	0	0.00
合計	33,654	0	0.00	31,869	12	0.04	48,622	11	0.02	51,546	14	0.03

## 交流センター図書室別年度比較(1)

▲…昨年度より減

## 1 筑波交流センター図書室

資料区分	令和3年度			前年度比	令和2年度			平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%
一般図書	12,750	0	0.00	0.01	12,907	1	0.01	12,488	8	0.06	12,906	1	0.01	12,711	16	0.13
文庫	1,470	0	0.00	0.00	1,569	0	0.00	1,535		0.00	1,553	0	0.00	1,560	0	0.00
コミック	1,320	0	0.00	0.00	1,311	0	0.00	1,245		0.00	1,259	0	0.00	1,240	0	0.00
参考図書	153	0	0.00	1.29	155	2	1.29	218		0.00	225	1	0.44	225	1	0.44
地域資料	981	0	0.00	0.00	961	0	0.00	942	1	0.11	906	1	0.11	892	0	0.00
市政資料	385	0	0.00	0.00	321	0	0.00	278	7	2.52	271	0	0.00	232	0	0.00
児童図書	8,148	0	0.00	0.01	8,285	1	0.01	8,143		0.00	8,380	2	0.02	8,332	8	0.10
紙芝居	623	0	0.00	0.00	618	0	0.00	598		0.00	598	0	0.00	598	0	0.00
絵本	6,473	0	0.00	0.00	6,206	0	0.00	6,049	1	0.02	5,897	2	0.03	5,717	1	0.02
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	1	0	0.00	0.00	1	0	0.00	1		0.00	1	0	0.00	1	0	0.00
外国語絵本	11	0	0.00	0.00	11	0	0.00	11		0.00	11	0	0.00	11	0	0.00
視聴覚資料	7	0	0.00	0.00	7	0	0.00	7		0.00	7	0	0.00	7	0	0.00
雑誌	511	0	0.00	0.00	502	0	0.00	492		0.00	490	0	0.00	567	0	0.00
児童雑誌	821	0	0.00	0.00	772	0	0.00	726		0.00	678	2	0.29	630	0	0.00
合計	33,654	0	0.00	0.01	33,626	4	0.01	32,733	17	0.05	33,182	9	0.03	32,723	26	0.08



## 交流センター図書室別年度比較(2)

▲…昨年度より減

## 2小野川交流センター図書室

資料区分	令和3年度			前年度比	令和2年度			平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%
一般図書	14,251	8	0.06	▲ 0.00	14,279	8	0.06	14,328	6	0.04	14,428	45	0.31	14,497	19	0.13
文庫	2,344	0	0.00	0.00	2,248	0	0.00	2,133	1	0.05	1,981	0	0.00	1,911	14	0.73
コミック	53	0	0.00	0.00	17	0	0.00	13		0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
参考図書	220	0	0.00	0.43	233	1	0.43	235		0.00	235	0	0.00	235	0	0.00
地域資料	341	1	0.29	▲ 0.29	331	0	0.00	327		0.00	322	1	0.31	314	0	0.00
市政資料	326	0	0.00	0.00	254	0	0.00	227	2	0.88	194	1	0.52	168	0	0.00
児童図書	7,091	2	0.03	0.00	7,014	2	0.03	6,875		0.00	6,684	3	0.04	6,573	4	0.06
紙芝居	246	0	0.00	0.00	241	0	0.00	222		0.00	222	0	0.00	222	0	0.00
絵本	6,309	1	0.02	0.02	6,290	2	0.03	6,211	2	0.03	6,115	0	0.00	6,075	1	0.02
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	38	0	0.00	0.00	38	0	0.00	39		0.00	39	0	0.00	39	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0		0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	488	0	0.00	0.00	480	0	0.00	473		0.00	447	1	0.22	467	1	0.21
児童雑誌	162	0	0.00	0.00	150	0	0.00	139		0.00	127	0	0.00	115	0	0.00
合計	31,869	12	0.04	0.00	31,575	13	0.04	31,222	11	0.04	30,794	51	0.17	30,616	39	0.13

## 交流センター図書室別年度比較(3)

▲…昨年度より減

3谷田部交流センター図書室

資料区分	令和3年度			前年度比	令和2年度			平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%
一般図書	23,819	7	0.03	▲ 0.03	24,061	1	0.00	24,196	7	0.03	24,195	15	0.06	24,180	20	0.08
文庫	4,886	1	0.02	▲ 0.02	5,102	0	0.00	5,021	2	0.04	4,915	9	0.18	4,892	19	0.39
コミック	1,995	0	0.00	0.00	2,099	0	0.00	2,238	2	0.09	2,174	3	0.14	2,219	3	0.14
参考図書	441	1	0.23	▲ 0.23	442	0	0.00	442	0	0.00	444	0	0.00	443	0	0.00
地域資料	966	0	0.00	0.00	974	0	0.00	967	0	0.00	957	1	0.10	951	0	0.00
市政資料	324	0	0.00	0.00	270	0	0.00	227	0	0.00	194	0	0.00	157	0	0.00
児童図書	7,923	2	0.03	▲ 0.01	7,713	1	0.01	7,538	2	0.03	7,333	2	0.03	7,220	2	0.03
紙芝居	345	0	0.00	0.00	340	0	0.00	315	0	0.00	310	0	0.00	310	0	0.00
絵本	7,023	0	0.00	0.00	6,652	0	0.00	6,532	0	0.00	6,368	0	0.00	6,181	6	0.10
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	180	0	0.00	0.00	180	0	0.00	180	0	0.00	111	0	0.00	111	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	431	0	0.00	0.00	444	0	0.00	441	0	0.00	430	0	0.00	457	1	0.22
児童雑誌	289	0	0.00	0.00	266	0	0.00	242	0	0.00	139	0	0.00	114	0	0.00
合計	48,622	11	0.02	▲ 0.02	48,543	2	0.00	48,339	13	0.03	47,570	30	0.06	47,235	51	0.11

## 交流センター図書室別年度比較(4)

▲…昨年度より減

## 4 荏崎交流センター図書室

資料区分	令和3年度			前年度比	令和2年度			平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%
一般図書	27,984	9	0.03	▲ 0.03	28,814	1	0.00	29,858	22	0.07	29,979	13	0.04	30,438	8	0.03
文庫	4,637	2	0.04	▲ 0.02	4,820	1	0.02	4,734	3	0.06	4,634	8	0.17	4,626	1	0.02
コミック	1,527	0	0.00	0.00	1,509	0	0.00	1,318	0	0.00	1,317	0	0.00	1,373	0	0.00
参考図書	513	0	0.00	0.19	518	1	0.19	728	0	0.00	726	0	0.00	724	0	0.00
地域資料	701	0	0.00	0.29	694	2	0.29	667	1	0.15	658	3	0.46	654	1	0.15
市政資料	367	1	0.27	0.04	316	1	0.32	224	0	0.00	191	0	0.00	155	0	0.00
児童図書	9,241	2	0.02	0.00	9,153	2	0.02	8,716	3	0.03	8,805	3	0.03	9,071	2	0.02
紙芝居	261	0	0.00	0.00	259	0	0.00	239	0	0.00	240	0	0.00	249	0	0.00
絵本	5,476	0	0.00	0.02	5,265	1	0.02	5,022	1	0.02	4,931	0	0.00	4,800	2	0.04
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	28	0	0.00	0.00	59	0	0.00	59	0	0.00	59	0	0.00	59	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	517	0	0.00	0.00	513	0	0.00	520	1	0.19	528	3	0.57	641	0	0.00
児童雑誌	294	0	0.00	0.00	270	0	0.00	226	0	0.00	226	0	0.00	229	0	0.00
合計	51,546	14	0.03	▲ 0.01	52,190	9	0.02	52,311	31	0.06	52,294	30	0.06	53,019	14	0.03

## 令和3年度つくば市立中央図書館 利用者満足度調査報告書

### 1 実施について

#### (1) 調査の目的

中央図書館における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に生かすため、利用者満足度調査を実施した。

#### (2) 調査対象者

10歳以上のつくば市立中央図書館利用者

#### (3) 調査期間

令和4年(2022年)3月10日(木)～3月24日(木)

※11日(金)、14日(月)、22日(火)を除く12日間

#### (4) 調査方法

調査期間中、中央図書館内正面入り口、中央カウンター及び視聴覚カウンターの3か所に調査用紙と回収箱を設置。

#### (5) 有効回答数

145

### 2 調査結果概説

回答者数は、令和元年度と令和2年度で、それまでの人数の半数程度に落ち込んでいたが、今回の調査では令和2年度からやや増加した。今回の調査期間はまん延防止等重点措置の適用期間と重なり、おはなし会などのイベントも中止していたが、新型コロナウイルスに対する利用者の意識の変化もあったためか、3月の来館者数は前年度比で微増だった。このことが回答者数にも表れていると考えられる。

ここ数年の調査で、当館では、図書館の中で本や雑誌を読んだり勉強や調べものをしたりするなど滞在を目的とする利用者の数は減少してきており(問1)、館内での滞在時間も短くなってきている(問2)。この傾向は今回の調査でも見られ、特に滞在時間については、1時間以内と回答した人が8割に達した。これは当館で滞在時間を2時間以内にしていただくよう案内をしているほか、コロナ禍を経た利用者の図書館利用の仕方の変化が影響していると思われる。

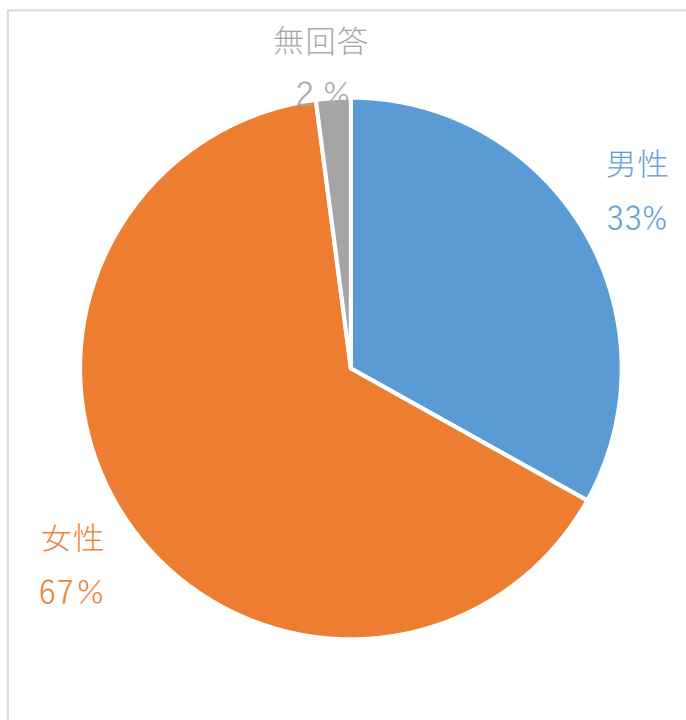
図書館サービスの満足度について尋ねた問5では、程度に差はあるものの、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が前年度に比べて、すべての項目でやや減少する結果となった。特に図書館のホームページに対する満足度の変化は大きく、前年度から約12%減少した。令和4年度に予定している図書館情報システムの更新の際に、ホームページやWebサービスの改善を行い、利用しやすいサービスの提供に努めたい。

また、今回の調査では、主に中央図書館の施設改修に向けて市民の意見を収集するため、調査用紙の最後に新しく自由記入欄（問7）を設けた。回答者の約半数が自由記入欄にも意見を記入しており、施設改修に関するもの以外にも、「不満」や「やや不満」の要因となっているものを意見として多数収集することができた。これらの意見をもとに改善できるところから改善していき、利用者の皆様に満足していただけるようなサービスの提供を目指して図書館運営を行っていきたい。

### 3 調査結果

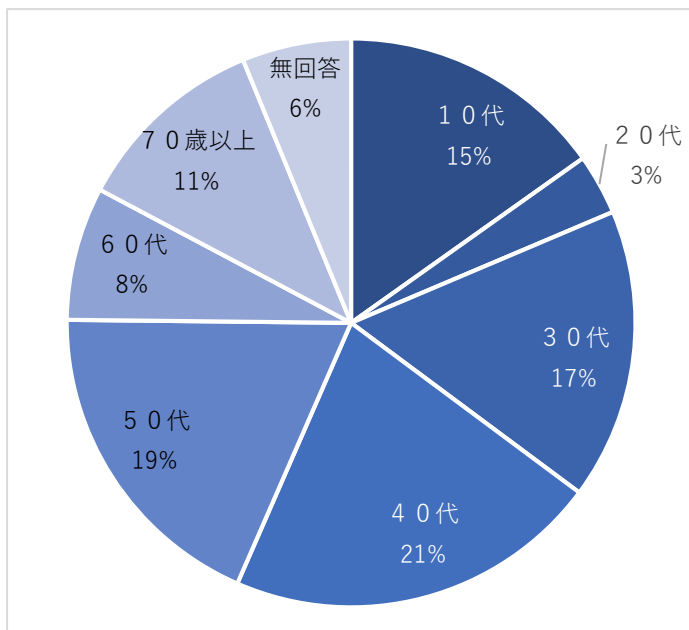
#### (1)回答者の属性

ア・イ 性別・年齢



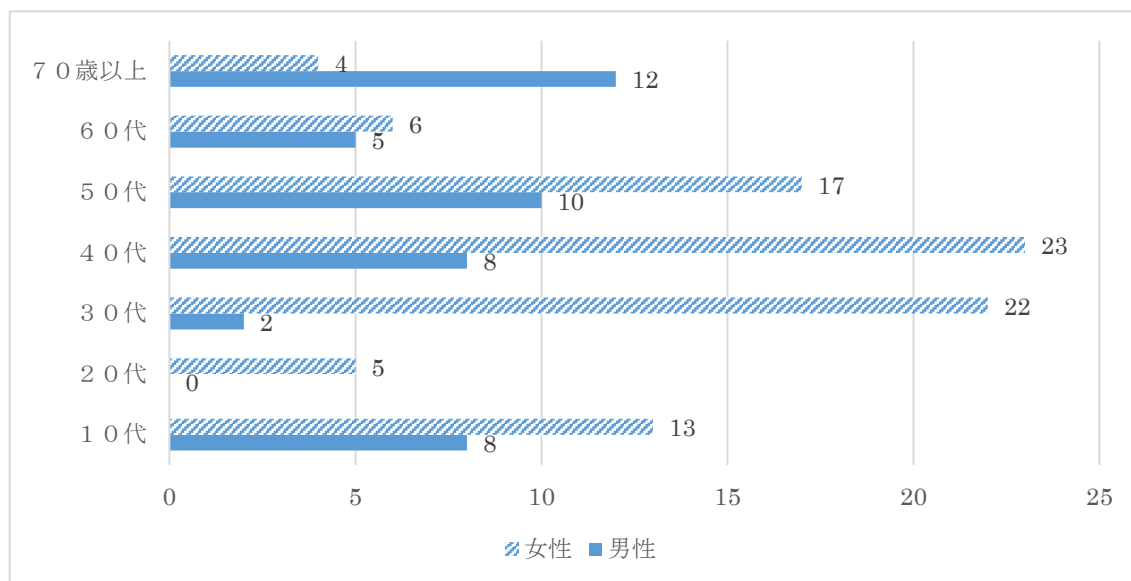
(人)

男性	48
女性	94
無回答	3
合計	145



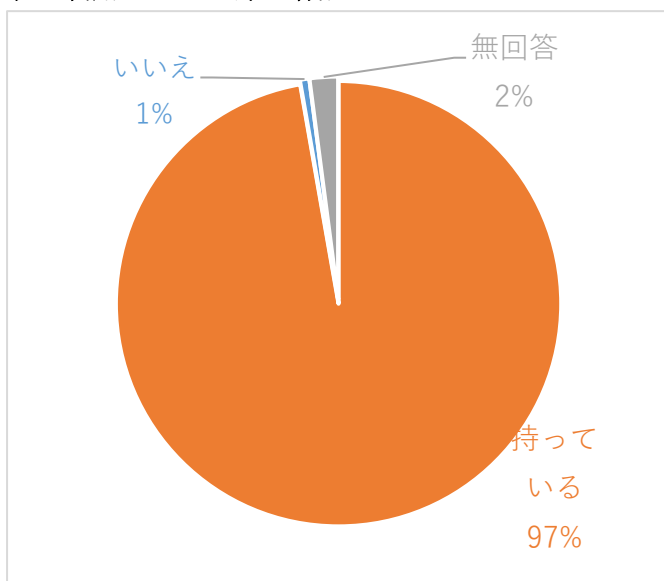
(人)

10代	22
20代	5
30代	24
40代	31
50代	27
60代	11
70歳以上	16
無回答	9
<b>合計</b>	<b>145</b>



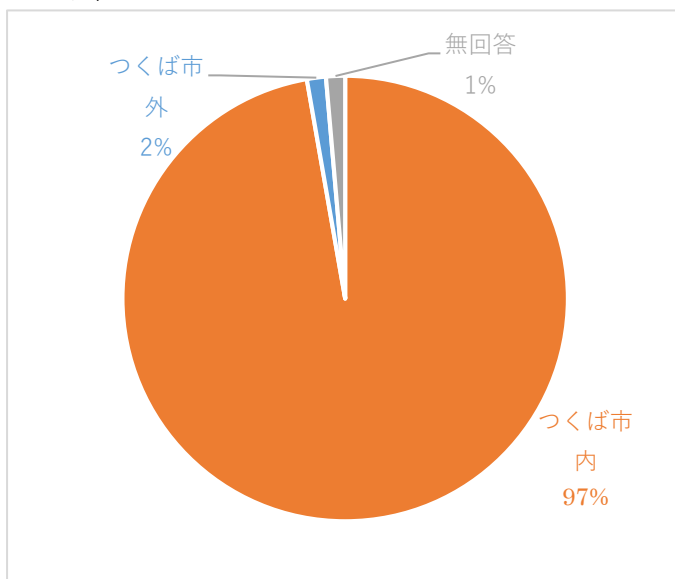
回答者は女性が3分の2を占め、年齢の割合とともに例年とほとんど変化のない結果となった。前年度と比較すると、30代女性の割合は大きく増加した。

## ウ 利用カード登録の有無



	(人)
持っている	141
持っていない	1
無回答	3
<b>合計</b>	<b>145</b>

## エ 居住地



	(人)
つくば市内	141
つくば市外	2
無回答	2
<b>合計</b>	<b>145</b>

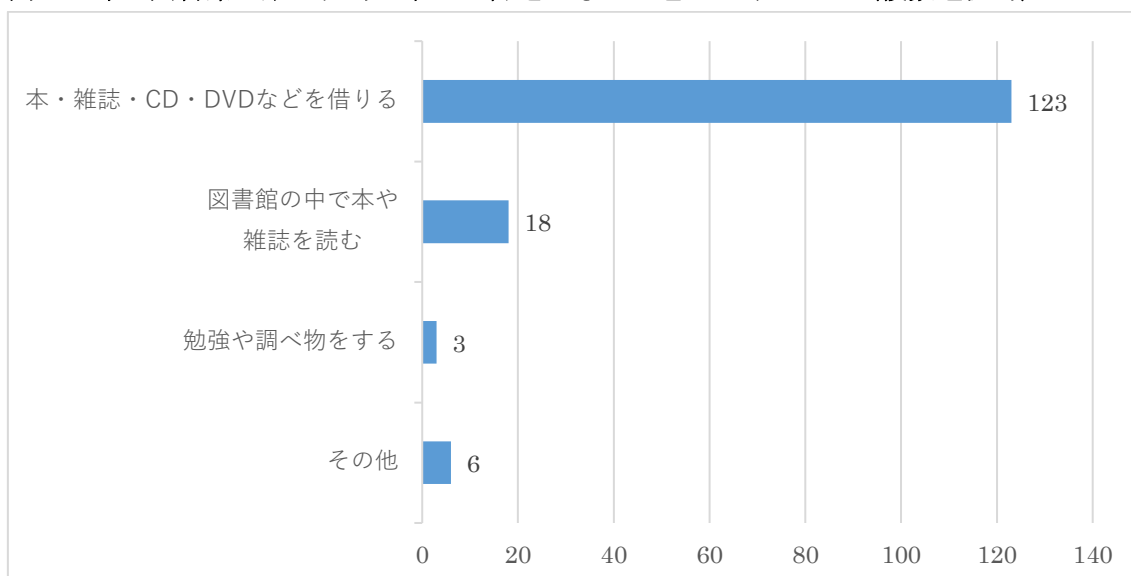
つくば市外利用者内訳 (人)	
土浦市	1
無回答	1
<b>合計</b>	<b>2</b>

利用カード登録の有無及び居住地について、それぞれ利用カードを持っている人とつくば市内在住の人が約9割を占めた。

居住地については、つくば市外利用者が例年よりもやや少なかった。

## (2)質問事項

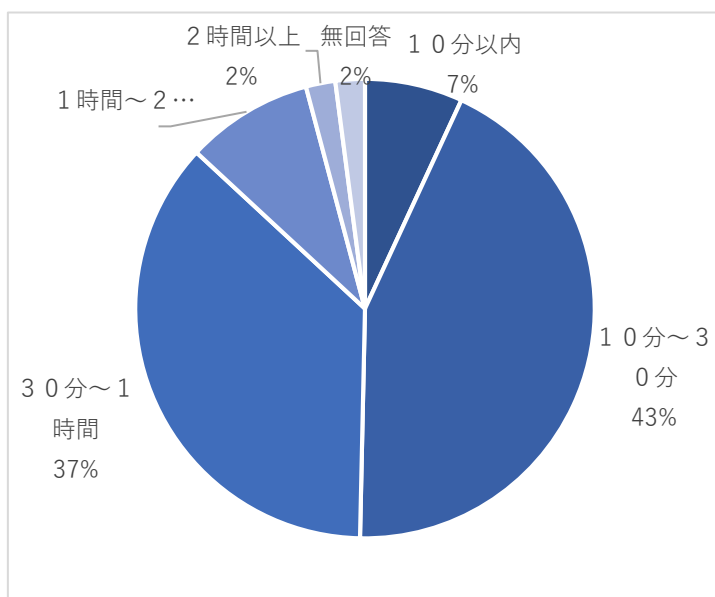
問1 今日図書館に来た目的の中で一番近いものを選んでください（複数選択可）



※「その他」回答：ブックトーク、本の返却

例年と同様、資料を借りる目的で来館する人が最も多く、「図書館の中で本や雑誌を読む」「勉強や調べ物をする」など滞在を目的とする利用者は少ない。

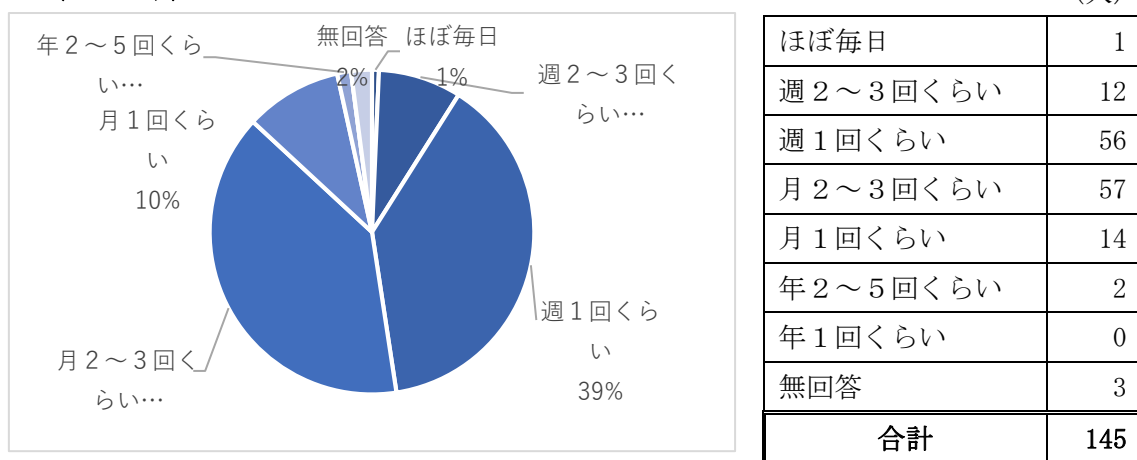
問2 あなたが図書館にいた時間（あるいは予定の時間）は次のどれですか（1つのみ）



H29年度から滞在時間は年々短くなる傾向にあり、今回の調査では、滞在時間が1時間以内の割合（「10分～30分」と「30分～1時間」を合計した割合）が8割に達した。



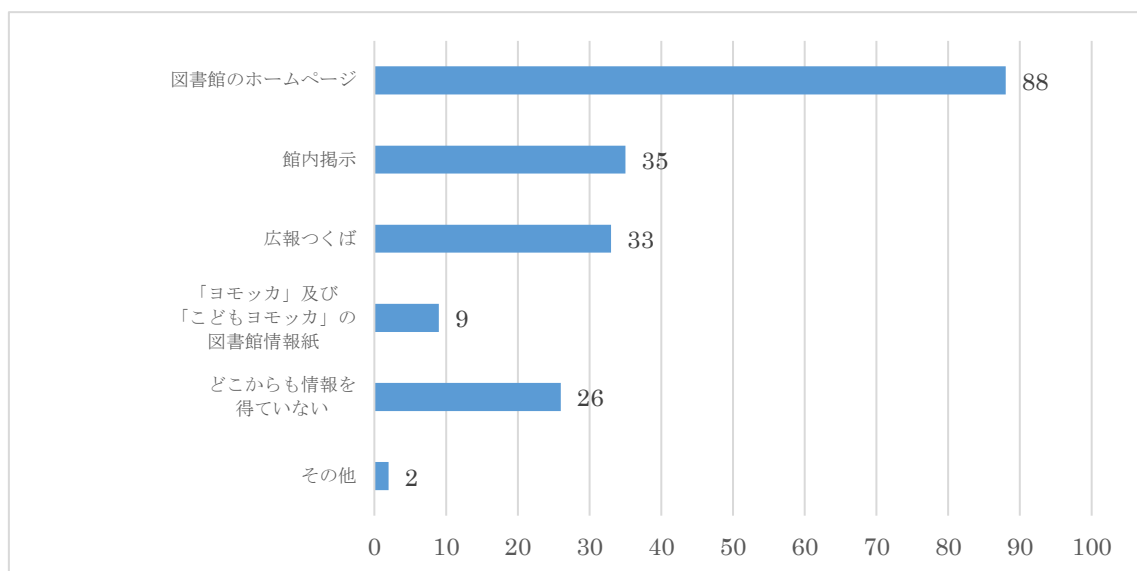
問3 あなたは、どれくらいの頻度でつくば市の図書館・図書室・アルス号を利用しますか（1つのみ）



「週1回くらい」と「月2～3回くらい」がそれぞれ39%と最も多い。貸出期間の2週間に合わせて来館すると月2～3回になるので、それ以上の頻度で訪れている利用者を定期利用者であると考え、その割合は87%である。

これまでと比較すると、定期利用者の割合はほとんど変化がないが、その中で週2回以上来館する利用者の割合がやや減少してきている。

問4 中央図書館に関する情報を主に何から得ていますか（複数回答可）

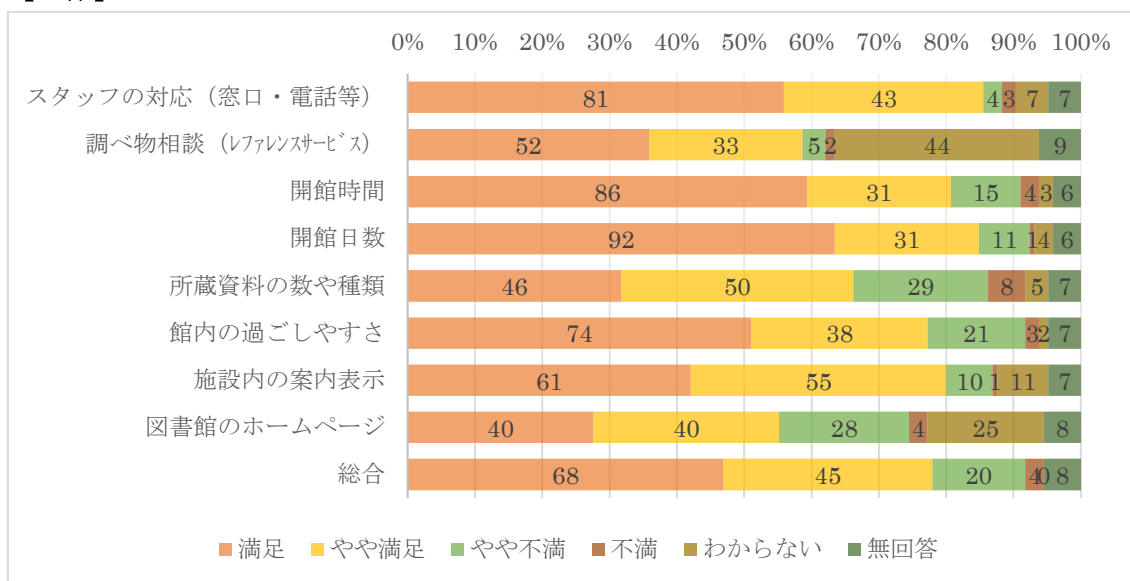


※「その他」内訳：職員・ボランティアなど、図書館で頂くカレンダー

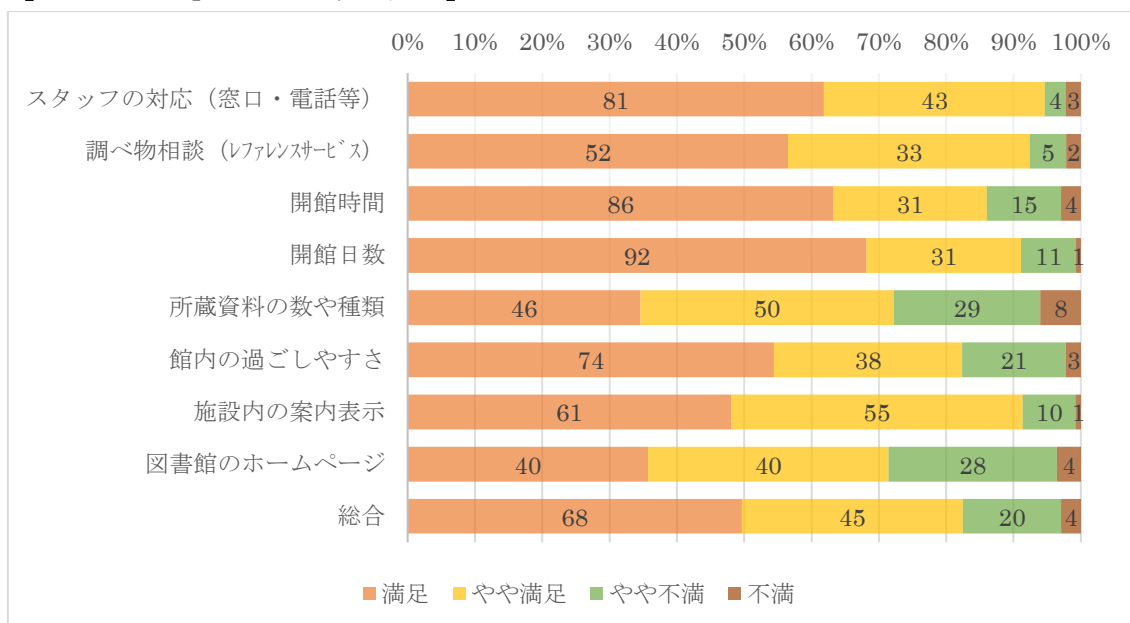
情報収集源の割合は例年とほとんど変わらず、依然としてホームページで情報を得ている利用者が最も多く、どこからも情報を得ていない利用者も一定数存在する。

## 問5 図書館サービスについてうかがいます

## 【全体】



## 【「わからない」及び無回答を除く】



## ○スタッフの対応（窓口・電話等）

昨年度に引き続き、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は9割近く、接遇は高水準を保っているが、「私語が気になる」「回答が不明瞭」「研修を充実させてほしい」という意見もあった。

#### ○調べ物相談（レファレンスサービス）

レファレンスサービスを必要としない利用者も多いため、他の項目と比べて「わからない」の割合が大きい。利用した人の中では「満足」と「やや満足」を合わせた割合が90%を超えている。

#### ○開館時間

平成30年4月1日に土日の開館時間が19時に延長されてから、「満足」「やや満足」を合わせた割合は90%近くを維持していたが、今回はやや落ち込み、約80%となった。自由記入欄でも、「9時から開館してほしい」という意見が見られた。

#### ○開館日数

「満足」と「やや満足」の合計は90%をやや下回り、「月曜日や祝日も開館してほしい」「休館日を少なくしてほしい」という意見も見られた。

#### ○所蔵資料の数や種類

他の項目と比べて「やや不満」と「不満」の占める割合が大きい。自由記入欄でも、所蔵資料の数や種類を増やしてほしいという意見が多数寄せられた。

#### ○館内の過ごしやすさ

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は80%近くで推移している。「館内がいつもぎわぎわしている」との声があった。

#### ○施設内の案内表示

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は90%近くで推移していたが、今回は80%近くまでやや落ち込んだ。

#### ○図書館のホームページ

他の項目と比べて「わからない」の割合が大きいのは例年同様だが、「満足」「やや満足」の割合が減り、「やや不満」「不満」の割合が増加した。自由記入欄でも、「子どももWebサービスを使えるようにしてほしい」「貸出されていない本も予約したい」「ホームページの表示が分かりにくい」といった意見が多数寄せられた。

問7 その他、図書館への御意見などがありましたら御記入ください。

(施設の課題や改修に関する御要望など)

※ 問6の結果に記載しなかった主な御意見を抜粋。

◆図書館の施設・設備について

- ・建物が古くて狭い。(特に中央図書館と谷田部交流センター図書室)
- ・学習室、研修室、ラウンジなどを増築してほしい。
- ・子どもコーナーを充実させてほしい。(一般コーナーとの分割、カーペットの張替等)
- ・閲覧席、ソファ、視聴覚ブースを増設・新設してほしい。
- ・照明を明るくしてほしい。
- ・トイレを洋式にして、ウォシュレットをつけてほしい。個室を増やしてほしい。
- ・本を除菌・滅菌する機械を設置してほしい。
- ・駐車場が遠い。駐車場を2時間以上無料にしてほしい。
- ・ブックポスト(返却場所)を増やしてほしい。
- ・谷田部交流センター図書室の駐車場が狭い。
- ・みどりのにも図書館がほしい。

◆その他

- ・貸出冊数を増やしてほしい。
- ・視聴覚資料の貸出期間や予約本の取置期限を2週間にしてほしい。(図書の返却日と合わないで困る)
- ・漫画、CD、DVDも予約できるようにしてほしい。
- ・DVDもリクエストできるようにしてほしい。
- ・出版から1年以上経った本もリクエストを受け付けてほしい。
- ・リクエストを匿名でできるようにしてほしい。
- ・書庫の本を持ってきてもらうのに手間がかかる。
- ・子ども向けの読書通帳のようなサービスがほしい。
- ・除籍が決まった本を事前に知りたい。
- ・読み終わったリサイクル本を戻すところがほしい。
- ・本の消毒、滅菌をしてほしい。
- ・自動車図書館に午前も来てほしい。(小さい子どもは午後はお昼寝していて行けない)
- ・アンケートのほかに、シンポジウムを開催したりして意見を取り入れてみては。

## 令和4年度図書館情報システムの更新

現在使用している図書館情報システムの賃貸契約が、令和4年（2022年）9月30日をもって満了となることに伴い、新たに5年間の賃貸契約を締結し、システムの更新を行います。

### 1 新図書館情報システム賃貸契約期間

令和4年（2022年）10月1日から令和9年（2027年）9月30日まで

### 2 新図書館情報システム稼働予定日

令和4年（2022年）10月4日（火）

### 3 図書館情報システム更新に伴う休館期間

令和4年（2022年）9月20日（水）から10月3日（月）まで

### 4 図書館情報システム更新に伴いつくば市立中央図書館で変更するサービス

#### (1) 電子図書館サービスの開始

ア 対象者 つくば市在住、在勤、在学の方

イ 提供 TRC-DL LibrariE

現在調整中だが、図書館情報システムと連携し、利用者は当館の図書館情報システムから貸出状況、資料検索で電子図書館の情報を確認できる。

開始時1000タイトル弱の予定。

#### (2) 予約本受取可能ポイントの追加

市庁舎コミュニティ棟で予約本の受け取りが可能に。

また、来年度4月以降（開始時期未定）さらに2か所受取可能ポイントを増設予定。

新たな窓口では、予約本の貸出やブックポストの返却サービスなどを提供予定

(3) 0歳からWebサービス利用可能に

電子図書館のサービスが開始することに伴い、Webサービス利用のためのパスワードを0歳から発行可能とする。

中学生未満のWebサービス利用はこれまでも要望が多く、子供たちのインターネット利用におけるリテラシー教育の変化なども鑑み、可能とすることに。

(4) インターネットからの予約ルール変更

現在調整中だが、利用者の予約件数を10件までとし、交流センターのみ所蔵の資料をWebOPACから予約可能とする予定。

(5) 自動車図書館で資料の検索等が可能に

これまで自動車図書館業務で使用する図書館情報システムは機能を限定したものであったため、その場での返却、資料の検索、利用者の検索はできなかったが、可能に。ただし、学校など利用者が多い場所では、貸出のみでもサービス提供が難しい面もあるため、全てのステーションで機能の開放は行わない予定。

5 図書館情報システム外でのつくば市立中央図書館で変更するサービス

(1) 広域利用サービス開始

令和4年（2022年）8月1日から開始した。

現在、広域利用対象者は下妻市、土浦市在住者のみ。

利用は貸出・返却のみ。当該市との返却ポスト設置はなし。

予約・リクエスト・相互・Webサービス提供なし。電子図書館利用サービスも利用対象外。

令和4年度  
(2022年度)

# つくば市の図書館概要



つくば市立中央図書館

# 目 次

ページ

1	つくば市の概要	1
2	施設概要	1
3	運営方針	2
4	組織・事務分掌	3
5	図書館サービス体制	4
6	図書館サービス	4
7	小中学校・義務教育学校への支援事業	7
8	自動車図書館	8
9	4交流センター図書室との連携	8
10	筑波大学附属図書館との連携	9
11	令和3年度（2021年度）の主な図書館事業	10
12	沿革	11
13	年間統計	18
14	ボランティア活動状況	22
15	所蔵雑誌一覧	23
16	所蔵新聞一覧	28
17	雑誌スポンサー制度	29



## 1 つくば市の概要

つくば市は、茨城県の南西部に位置し、東京から北東に約 50 km、面積は 283.72 km<sup>2</sup>で、県内 4 番目の広さです。

万葉集で多く詠まれた名峰「筑波山」をはじめとする豊かな自然と、研究・教育機関の集積「筑波研究学園都市」を有する、自然と科学が調和したまちです。

筑波研究学園都市では、国と民間合わせて約 150 の研究機関が立地し、約 19,000 人の研究従事者が日々、最先端の研究開発を行っています。また、筑波大学においても、恵まれた環境の下、様々な分野の研究が行われており、つくば市とも各分野で連携しています。

つくば市には、研究従事者や留学生など多くの外国人が居住し、その数は 138 か国、約 9,900 人に及び、つくば市全体の人口の約 4.1%に当たります。(全国平均は 2.0%)

平成 17 年(2005 年)のつくばエクスプレス開業以降、沿線地区を中心に人口は増加傾向にあり、青少年人口が多いことも特徴です。(全国平均 12.1%に対してつくば市 16.7%)

つくば市は、平成 30 年(2018 年)2月に国連の持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)の考え方を取り入れた「持続可能都市ビジョン」を公表しました。同年 3 月には市議会で、「つくば市政に SDGs(持続可能な開発目標)の理念を反映するための取組を求める決議」が可決。また、本市が国から県内唯一の「SDGs未来都市」に選定されたことから、持続可能なまちづくりのための取組を全国に先駆けて推進しています。

SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」という包摂の精神は、つくば市の持続可能なまちづくりとも一致するものであり、SDGs を重要なキーワードとしながら、市民、議会、行政などが一丸となって具体的な取り組みを進めています。

[つくば市人口(常住人口) : 248,672 人 (令和 4 年(2022 年)4 月 1 日現在) ]

## 2 施設概要

「つくば市立中央図書館」(以下、中央図書館)は中央公園に面し、茨城県近代美術館つくば分館との複合施設「つくば文化会館アルス」として建設され、平成 2 年(1990 年)6 月に開館しました。アルス(ARS)は、ラテン語で「芸術・学芸・美術」を意味します。館内には、ピアノ備え付けの多目的ホール「アルスホール」もあり、コンサートや講演会などに利用されています。

つくば文化会館アルス (図書館、美術館、ホール)	
所在地	茨城県つくば市吾妻 2 丁目 8 番地
施設面積	市管理部分 : 2,695 m <sup>2</sup> (1 F : 1,714 m <sup>2</sup> 2 F : 912 m <sup>2</sup> その他 : 69 m <sup>2</sup> )
	県管理部分 : 2,068 m <sup>2</sup> (1 F : 1,574 m <sup>2</sup> 2 F : 494 m <sup>2</sup> )
	県市共用部分 : 1,414 m <sup>2</sup> (1 F : 645 m <sup>2</sup> 2 F : 358 m <sup>2</sup> その他 : 411 m <sup>2</sup> )

施設概要 (市管理部分)	1 F 開架書架室、保存書庫、自動車図書館車庫 ほか 2 F アルスホール、集会室、会議室、事務室 ほか
-----------------	---

<b>つくば市立中央図書館</b>	
利用時間	午前9時30分～午後7時（特別開館日は午後5時まで）
休館日	月曜日(国民の祝日と重なった場合は火曜日)、祝日（一部の祝日は特別開館）、年末年始、特別整理期間(6月・2月)

<b>アルスホール（つくば市視聴覚センター）</b>	
利用時間	午前9時～午後10時（月曜祝日は午後5時まで）
定員	100名
休館日	月曜日(国民の祝日と重なった場合は火曜日)、年末年始
設備品	グランドピアノ、マイク、スクリーン、調光装置、専用控室 ほか
その他	利用申込みは、6か月前の同日から利用日の前日まで 予約状況は、ホームページから確認可能

### 3 運営方針

中央図書館では、市民の生涯学習を支援するとともに、教育・文化などに関する情報や資源を受発信する「知」の拠点として、市民が利用しやすい図書館を整備し、充実を図っていくものとします。

#### 「令和4年度（2022年度）中央図書館重点事業」

##### （1）図書館情報システム更新

令和4年10月に稼働開始を予定している次期図書館情報システムについて、導入準備を進めます。

また、Webサービスの拡大を図るため、パスワード発行の年齢制限を撤廃します。

##### （2）電子図書館サービス開始

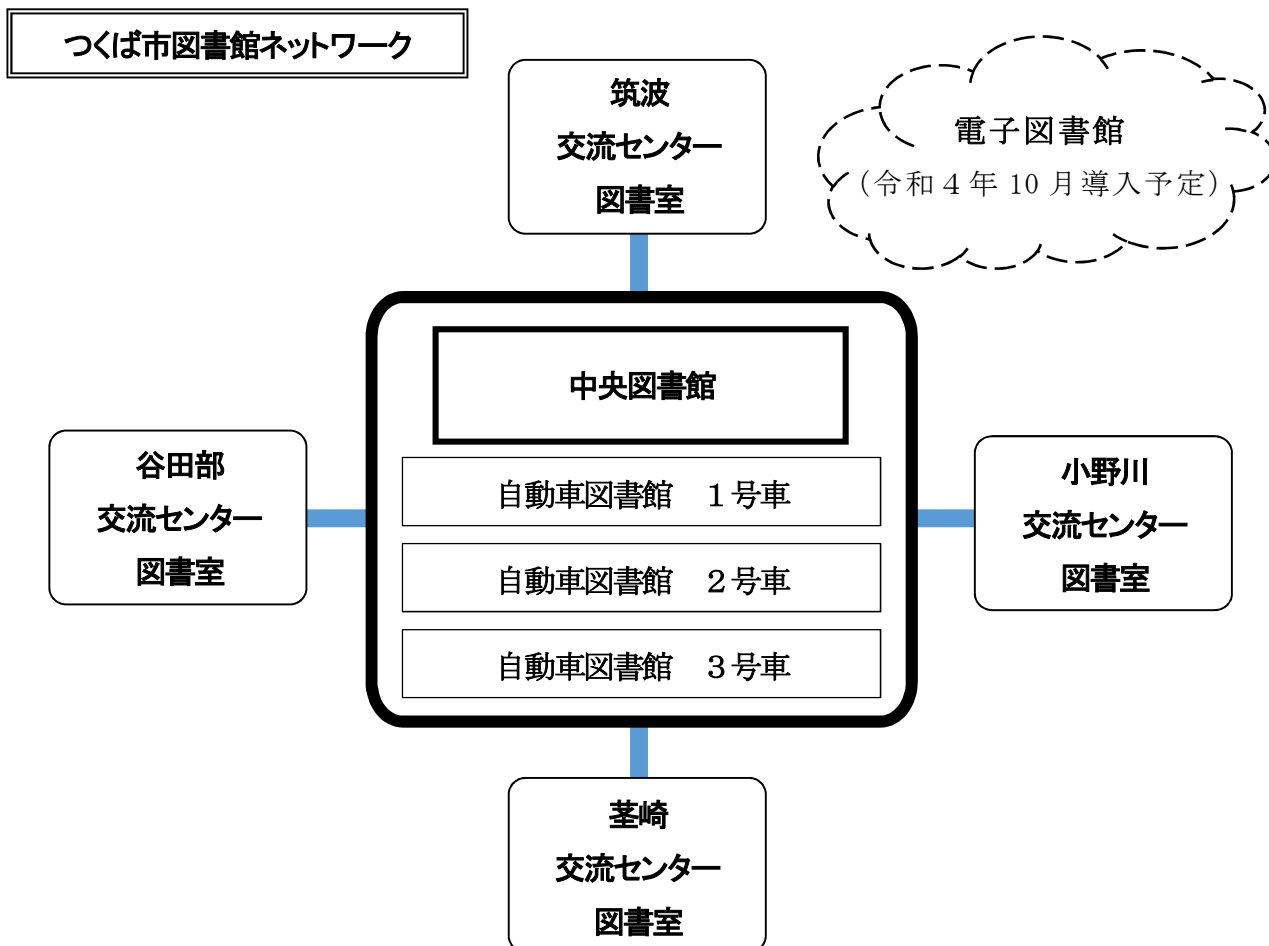
令和4年10月予定の図書館情報システムの更新に合わせて、電子図書館サービスを開始します。

電子図書館サービスは、次期図書館情報システムに連動したものとすることで利便性の向上を図るとともに、随時コンテンツの充実を図ってまいります。



## 5 図書館サービス体制

つくば市の図書館サービス体制は、中央図書館を中心に自動車図書館及び次に示したオンラインシステムで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎の各交流センター図書室(以下、4交流センター図書室)で構成され、貸出・返却・予約などのサービスを一体的に受けることができます。また、これらのサービスは、図書館情報システムにより一元的に管理されています。



このほか市庁舎（コミュニティ棟）、大穂・豊里・並木・島名・広岡の各交流センターにも返却することができます。

## 6 図書館サービス

### (1) 貸出

#### ① 個人貸出

つくば市に在住、在勤、在学している個人に利用カードを交付し、図書の貸出を行います。

個人の図書館利用カードの登録・交付は、つくば市在住の方は氏名、住所の確認できるもの、在勤・在学の方はそのほかに勤務先・通学先のわかるものを提示の上、「貸出登録申込書」の提出により登録ができます。

## ② 団体貸出

つくば市内で活動する団体や施設が行う読書活動を推進するために図書館資料を長期間貸出するサービスです。登録の際に必要な書類や手続方法については御相談ください。

## ③ 貸出条件

貸出区分	資料区分	期間	冊数・点数
個人貸出	図書資料	2週間以内	10冊以内
	視聴覚資料	1週間以内	3点以内
団体貸出	図書資料（閉架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	3月以内	300冊以内（うち紙芝居、外国語資料は50冊まで）
	図書資料（開架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	2週間以内	20冊

## ④ 広域利用

下妻市及び土浦市在住の方は、つくば市に在勤、在学していなくても利用カードの交付が受けられます。利用できるサービスは個人貸出及び館内利用のみで、予約・リクエスト、相互貸借などのサービスは利用できません。

## (2) 返却

中央図書館、自動車図書館及び4交流センター図書室で図書館資料の返却ができます。

なお、視聴覚資料や紙芝居は破損の恐れが高いため、職員へ直接手渡して返却し、資料本体の確認を受けてください。

そのほか、次の施設でも各施設の開館時間中であれば返却ができます。（紙芝居など一部資料を除く）

- ア つくば市庁舎ブックポスト（コミュニティ棟1F）
- イ 大穂交流センターブックポスト
- ウ 豊里交流センターブックポスト
- エ 並木交流センターブックポスト
- オ 島名交流センターブックポスト
- カ 広岡交流センター窓口



## (3) 図書資料の予約・リクエスト

### ① 予約・リクエストとは

御希望の図書資料が貸出中の場合は、貸出の予約をすることができます。また、その資料が中央図書館で所蔵していない場合は、リクエストすると購入について検討します。御希望にお応えできない場合もありますが、その場合、茨城県内の他市町村図書館などからの取寄せ（原則無料）や、茨城県外の図書館からの取寄せ（有料。諸条件あり）をすることができます。

## ② 申込方法

申込みは、「予約・リクエスト・相互貸借申込書」に記入し、直接提出又は、Web から申し込むことができます(予約の場合は、あらかじめパスワードの設定が必要です。図書館・図書室で利用カードを提示の上手続きしてください)。なお、貸出の予約に限り、館内にある利用者端末からも申し込むことができます。

御用意ができましたら、電話又はE-mail で御連絡いたします。予約・リクエストは、申込みができる冊数に上限があります。

## ③ 在架図書の取寄せ

中央図書館所蔵で貸出中ではない図書(在架図書)については、4交流センター図書室で受け取ることができます。予約はWeb サービスから、取り寄せには日数を要しますので御了承ください。

## (4) Web サービス

- ① 資料の予約、リクエスト、レファレンス(相談)、利用状況(貸出中の資料、返却日、予約状況)の確認、メールアドレスの登録・変更及びパスワード変更などができます。
- ② リンク先として、図書館、出版情報、他官公庁の情報などを掲載しています。
- ③ 「マイ本棚」機能で、貸出履歴の管理などができます。

## (5) 視聴覚サービス

映像(DVD・VHS)や音声(CD・カセットテープ)による視聴覚資料は、館内で視聴できるよう提供しています。著作権者の許諾を得られたものは館外貸出を行っています。

## (6) 多文化サービス

- ① 英語、中国語、韓国語を中心に、外国語雑誌13誌及び外国語新聞5紙(1紙は子供用)を収集し、備えています。(詳細はp.27の「所蔵雑誌・新聞一覧」を参照)
- ② 館内カウンターには、英語、中国語、韓国語及びポルトガル語の利用案内を設置しています。

## (7) 送付貸出しサービス

図書館の利用が困難な方や不便な方などの自宅へ図書を送付するサービスです。貸出及び返却に係る費用は利用者の負担となります。

## (8) 乳幼児、児童、高齢者及び図書館利用に支障のある方へのサービス

- ① こどもコーナーに、子供の成長に応じた資料を備えています。
- ② こどもコーナーに、大活字の本、LLブックを備えています。  
※「LL」とは、スウェーデン語で「やさしく読める」という意味の略語であり、知的障害のある方など、一般的な情報提供では理解が難しい方にとっても読みやすく作られている本のことを「LLブック」といいます。

- ③ 大活字本コーナーに、大きな活字の本を備えています。
- ④ 小説などの録音資料（CD・カセットテープ）を備えています。
- ⑤ 点訳ボランティアが作成した点字絵本を備えています。
- ⑥ 音訳ボランティアが作成した「声の常陽リビングとミニ情報」の希望者への配布、「広報つくば」音声版の提供、対面朗読などを行っています。

### (9) 複写サービス

著作権法第31条の規定により、図書館が所蔵する資料の一部分を一人につき1部コピーすることができます。

○カラーコピー：1枚50円 ○白黒コピー：1枚10円（サイズは最大A3まで）

### (10) オンラインデータサービス

中央図書館内の専用端末を使うことにより、以下のデータベースサービスを利用することができます。

- ① 朝日新聞データベース「朝日新聞クロスサーチ・フォーライブラリー」
- ② 茨城新聞データベース
- ③ 官報情報検索サービス
- ④ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

※利用条件等がそれぞれ異なりますので詳しくは図書館ホームページを参照してください。

## 7 小中学校・義務教育学校への支援事業

中央図書館では、児童及び生徒の読書環境の充実を推進するために、市立小中学校及び義務教育学校に対して各種の支援事業を行っています。

- ① ジュニア図書館員、職場体験学習、社会科見学などの受入れ
- ② 学校図書館、学級文庫に対する団体貸出
- ③ 学校訪問ブックトーク事業
- ④ 司書教諭補助員の研修
- ⑤ 小学校・義務教育学校への自動車図書館巡回



学校訪問ブックトーク

## 8 自動車図書館

自動車図書館では、図書の貸出・返却のほか、利用登録の受付、貸出の予約などのサービスを行っています。

自動車図書館の日程表は、図書館ホームページなどで確認できます。

なお、図書資料の汚損等を防止するため、悪天候時には運行を中止する場合があります。

車両の詳細は次のとおりです。

- ① 名称 自動車図書館アルス号（1・2・3号車）
- ② 積載冊数 1・2号車：約3,500冊、3号車：約600冊
- ③ 訪問先 50ステーション  
(小学校、保育所、児童館、老人ホーム、市役所など)
- ④ 運行日 火・水・木・金曜日及び隔週土曜日  
(日程表は毎年広報つくば4・10月号及び図書館ホームページに掲載)
- ⑤ 巡回周期 原則2週間に1度
- ⑥ 装備 車椅子用リフト付き（1・2号車のみ）



## 9 4交流センター図書室との連携

つくば市内にある17の地域交流センターのうち、谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室では、コンピュータネットワークにより中央図書館と一体的な図書館サービスを提供し、市民サービスの向上に努めています。

- ① 中央図書館及び自動車図書館で所蔵している資料も検索することができます。
- ② 4交流センター図書室、中央図書館及び自動車図書館の本を取り寄せて利用することができます。
- ③ 中央図書館の在架（本棚にありかつ貸出中ではない）図書資料をWebから予約して4交流センター図書室に取り寄せることができます。（視聴覚資料・コミックスなどは対象外）
- ④ 借りた資料は、上記の施設のどこでも返すことができます。また、図書資料は、市庁舎（コミュニティ棟）及び大徳・豊里・並木・広岡の各交流センターにも返却することができます。



## 10 筑波大学附属図書館との連携

つくば市域に所在する図書館の、それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図ることにより、相互の持続可能な発展と充実に資することを目的として、令和元年（2019年）9月に筑波大学附属図書館と連携協定を締結しました。

まずは筑波大学附属図書館との連携事業を進め、将来的には協定の範囲をつくば市域全体に広げていくことを目指します。

### 筑波大学附属図書館との連携事業

#### ① 「ライブラリーピクニック」実施

令和元年（2019年）11月2(土)・3日(日)、筑波大学学園祭に合わせ、筑波大学附属図書館駐車場にてライブラリーピクニックを開催。筑波大学図書館情報メディア系共催、つづきブックカフェ（横浜市）協力のもと、自動車図書館による図書の貸出、読み聞かせ、ジャズ演奏などを実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

#### ② 2者間独自の相互貸借制度の運用を開始

令和3年（2021年）6月1日、つくば市域図書館連携に関する協定書第2条に基づき、筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館との間の独自の相互貸借制度の運用を開始しました。茨城県図書館情報ネットワーク物流搬送システムを利用して行っている相互貸借を両館が直接行うことにより、搬送に要する時間を短縮し、利用者への貸出期間をより長く確保することができるようになりました。

## 11 令和3年度（2021年度）の主な図書館事業

年月	内容等
通年	「おはなし会」(毎週土曜日及び第5日曜日) 「古典ブックトーク(4・5月)」「本好きのためのゆるっとトークルーム(6月～)」 (毎月第1土曜日) 「おとなのためのブックトーク」(毎月第3土曜日) 「おはなしぶんぶん(乳幼児向けおはなし会)。(原則月2回、第3金曜日・第4水曜日)
4月	
5月	茨城県立図書館が提供する「インターネットによる遠隔地貸出サービス(ぶつくびん)」 に参加。(1日) 茨城県からの発表により、つくば市が感染拡大市町村に指定されたため、来館者が参加する集合型のイベントを中止。(6日～19日)
6月	「つくば市域図書館連携に関する協定書」に基づき、筑波大学附属図書館との直接の相互貸借を開始。(1日)
7月	茨城県による感染拡大市町村の指定や県独自の緊急事態宣言、国からのまん延防止等重点措置の適用を受け、来館者が参加する集合型のイベントを中止。(30日～9月30日)
8月	「令和3年度第1回図書館協議会」開催。(5日) 「本のふくぶくろ」実施。(7・8日) 国からのまん延防止等重点措置の適用を受け、館内の滞在型サービスを一部休止。(8日～9月30日) 国の緊急事態宣言及び茨城県の非常事態宣言を受け、臨時休館。(18日～9月23日)
9月	
10月	児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」(第16号)発行。 学校訪問ブックトーク事業[小学校21校・中学校3校] (～12月)
11月	「The World Week @中央図書館」開催。(4日～30日)
12月	「ぬいぐるみたちのおとまり会」開催。(3・4日) つくば文化会館アルスの電気設備工事に伴う停電により、図書館システムが停止するため臨時休館。(28日)
1月	国からのまん延防止等重点措置の適用を受け、「おはなし会」と「おはなしぶんぶん」の開催を中止。(27日～3月21日)
2月	公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(第17号)発行。 「ファーストブック講座」開催。(20・26日)
3月	「令和3年度第2回図書館協議会」(15日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「おはなし会」の開催を中止。(26日)

## 12 沿革

年	月日	事項等
昭和 62 年 (1987 年)	11 月	・研究学園都市建設連絡協議会（研究学園都市を構成する 6 町村）、住宅都市整備公団つくば開発局及びその他による「筑波研究学園都市総合都市文化センター図書館基本計画」が策定される。
	11 月 30 日	・筑波郡大穂町、豊里町、谷田部町及び新治郡桜村が合併し、つくば市が誕生すると同時に、教育委員会事務局に図書館準備室（2 名）が発足する。
昭和 63 年 (1988 年)	1 月 31 日	・筑波郡筑波町がつくば市に加わり、つくば市全域への図書館サービス実施計画の検討を開始する。
平成元年 (1989 年)	3 月 11 日	・図書館を含む複合施設「筑波研究学園都市総合都市文化センター」が着工する。
	3 月 15 日	・教育委員会による「これからの図書館サービスを求めて～つくば市の図書館サービス実施計画」が策定される。
	4 月 1 日	・図書館準備室の職員が 6 名に増員され、本格的準備作業に入る。
平成 2 年 (1990 年)	4 月 1 日	・開館に向けて司書の採用、有資格者の異動により職員（8 名）の確保を図り、14 名体制となる。
	4 月 25 日	・「筑波研究学園都市総合都市文化センター」竣工となる。
	6 月 8 日	・図書館準備室にかわり、教育委員会に中央図書館を設置する。
	6 月 9 日	・つくば文化会館アルス内に「つくば市立中央図書館」が開館する。
	6 月 16 日	・おはなし会を開始する。
	7 月 18 日	・自動車図書館つくばアルス 1 号、2 号の運行及び巡回サービスを開始する。（ステーション 35 か所）
	9 月 30 日	・つくば市立中央図書館概要を発行する。（以降毎年発行）
平成 3 年 (1991 年)	4 月 1 日	・稲敷郡茎崎町民への貸出サービス開始。図書館職員数 19 名体制となる。
	10 月 1 日	・自動車図書館のステーション数を増加する。（ステーション 50 か所）
平成 4 年 (1992 年)	1 月 31 日	・小河内芳子氏の講演会を開催する。
	4 月 1 日	・目の不自由な方への、郵送（無料）による録音テープの貸出しを開始する。
平成 5 年 (1993 年)	2 月	・谷田部公民館図書室とのオンライン化を図りサービスを開始する。
	4 月 1 日	・図書館職員数 25 名体制となる。（公民館図書室への司書駐在開始）

	7月1日	・4月1日に開館した筑波公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
	10月17日	・図書館情報大学の実習生を受入れる。(以降毎年受入) ・社会福祉法人茨城県盲人協会から、障害者のための活動に対して感謝状を受ける。
平成6年 (1994年)	3月	・司書講習の実習生として全盲の学生を受入れる。
	3月25日	・一日図書館員(小学生)事業を開始する。(以降毎年実施)
	7月	・ボランティアの協力により録音図書を作成を始める。
	10月4日	・学校訪問ブックトークを開始する。(以降毎年実施)
平成7年 (1995年)	3月31日	・平成6年度の貸出冊数が県内公共図書館でトップになる。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
平成8年 (1996年)	1月25日	・ボランティア朗読講座を開講する。
	4月	・除籍図書のリサイクル事業を開始する。(以降不定期開催)
	7月	・タッチパネル方式の利用者端末機を導入し、機能の充実を図る。 ・ご意見箱「皆さんの声」を設置する。
平成9年 (1997年)	11月28日	・講演会「図書館のススメ」竹内哲氏
	2月21日	・講演会「視覚障害者の読書と図書館」美月めぐみ氏
平成10年 (1998年)	4月1日	・図書館職員26名体制となる。(谷田部、筑波、小野川公民館図書室駐在司書含む。)
	5月	・4月1日に開館した小野川公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
平成11年 (1999年)	3月	・堀川理万子原画展を開催する。「リリィおばさんなげキッス」
	7月	・こども相談デスクを設置する。
	10月	・大島英太郎原画展を開催する。
平成12年 (2000年)	4月1日	・図書館職員27名体制となる。
	7月	・図書館情報システムを更新する。
	12月	・自動車図書館「アルス1号」を更新、おひさま号と命名する。
平成13年 (2001年)	4月1日	・図書館職員24名体制となる。
	12月	・自動車図書館「アルス2号」を更新、あおぞら号と命名する。
平成14年 (2002年)	4月1日	・図書館職員23名体制となる。
	11月1日	・稲敷郡茎崎町がつくば市に編入される。
平成15年 (2003年)	2月22日	・ファーストブック講座を開催する。(以降毎年実施)
	3月4日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方を図書館協議会へ諮問する。

	4月20日	・英語のおはなし会を実施する。(県内初)
	6月1日	・利用カードのデザインを更新する。
	7月1日	・荃崎公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。 ・図書郵送サービスを開始する。(県内初)
	7月	・学校図書館実務講座を開催する。(2日間) 2か年実施
平成16年 (2004年)	3月18日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方について、図書館協議会から館長へ答申する。
	4月1日	・図書館協議会委員の公募を行う。
	4月23日	・子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受ける。
	10月	・「カラスとカケスの物語」原画展を開催する。
平成17年 (2005年)	3月22日	・年間総貸出冊数100万冊を超える。(県内初)
	4月1日	・図書館専門員設置規則を制定する。専門員7名採用 ・個人貸出しを5冊から10冊に変更する。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
	8月24日	・つくばエクスプレスが開通する。
	10月	・全国図書館大会茨城大会に参加する。
	11月26日	・茨城県読書推進運動協議会長から活動功績が認められ表彰を受ける。
	12月	・芳川豊氏「おはなしトランプ」原画展を開催する。
平成18年 (2006年)	1月21日	・つくばエクスプレス開業記念、中央図書館開館15周年記念事業「土田義晴さんとともに」を開催する。
	4月15日	・地域文化ボランティア「おとなのためのブックトーク」を開始する。(以降毎月実施) ・一部の祝日を開館する。(年間6日)
	10月29日	・図書館ボランティアが茨城県教育長から図書館の振興発展に寄与した事が認められ感謝状を受ける。
平成19年 (2007年)	1月21日	・「藤田昌矢氏が語る絵本」講演会を開催する。
	4月1日	・一部の祝日を開館する。(年間5日)
	7月	・「つくば市立図書館における延滞資料の督促に関する事務処理要項」を改正する。
	11月30日	・図書館ボランティアが市長から振興発展の感謝状を受ける。
平成20年 (2008年)	4月1日	・谷田部、筑波、小野川、荃崎公民館図書室への司書駐在を廃止し、図書室業務全般が委託となる。 ・祝日(年間3日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
平成21年 (2009年)	4月1日	・図書館職員17名、図書館専門員8名体制となる。 ・祝日(年間7日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。

	7月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」（平成16年度策定）の基本的な考え方に関する答申について、内容の検証と評価を図書館協議会へ諮問する。
	9月19日	・サトウユカ氏「ランプの精リトル・ジーニー」クイズラリーと原画展を開催する。（～10月9日）
	10月	・科学フェスティバルに初出展する。
平成22年 (2010年)	3月	・年間総貸出冊数が140万冊を超える。（谷田部、筑波、小野川、荻崎公民館図書室分含む。）
	4月1日	・図書館職員16名、図書館専門員10名体制となる。 ・祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
	6月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」（平成16年度策定）の基本的な考え方に関する諮問について、図書館協議会長から館長及び教育長へ答申される。
	10月	・開館20周年記念事業（おはなしフェスティバルなど）開催。
平成23年 (2011年)	3月11日	・東日本大震災の発生により施設や資料が破損し、地震発生時刻から臨時休館する。同月23日から時間短縮（木曜日を除き17時閉館）にて再開する。
	4月1日	・公民館が「交流センター」に名称変更となる。 ・祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
	7月1日	・閉館時間を試行する。（水・土・日17時、火・木・金19時）
	10月1日	・閉館時間が通常に戻る。（火～金19時、土・日17時） ・図書館情報システムを更新する。 ・中央図書館ホームページをリニューアルする。
	10月23日	・「おはなしフェスタ2011」を開催する。 ・科学フェスティバルに出展。（以降毎年出展）
平成24年 (2012年)	4月1日	・図書返却窓口の増設を試行する。（大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター） ・祝日(年間6日)及び月末休館日(年間8日)を開館する。
	5月6日	・大規模竜巻が発生し、筑波交流センター図書室が休室する。（26日から再開）
	10月24日	・「おはなしフェスタ2012」を開催する。
平成25年 (2013年)	4月1日	・増設した図書返却窓口を継続設置する。（大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター） ・祝日(年間6日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。
	5月1日	・図書館職員15名、図書館専門員10名体制となる。

	7月	・新任司書教諭補助員研修(4日間)を実施する。以降毎年実施。
	8月1日	・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」第1号を発行する。(以降年2回発行)
	11月9日	・本田尚子氏「里山のきのこ」原画展を開催する。(～27日)
平成26年 (2014年)	1月	・「給食ブックトーク」を実施する。(市内4幼稚園)
	3月1日	・市庁舎にブックポストを設置する。
	4月1日	・祝日(年間5日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。
	6月	・児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」第1号を発行する。 (以降年2回発行)
	10月30日	・絵本作家ゴブリン博士小中大地さん作品展(～11/19)
平成27年 (2015年)	4月1日	・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。 ・4交流センター図書室の運営が中央図書館に移管される。 ・雑誌スポンサー制度を開始する。 ・あかちゃん向けおはなし会「おはなしぶんぶん」を開始する。 (以降、毎月実施)
	7月	・開館25周年記念事業(おはなしフェスティバルなど)を開催。
	10月18日	・絵本作家武田美穂氏講演会を開催する。
平成28年 (2016年)	4月	・祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。 ・図書館職員15名、再任用職員1名、図書館専門員10名体制となる。
平成29年 (2017年)	4月	・祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館する ・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる。
	9月	・図書館システムを更新(9/18～10/4休館)
	10月	・開館時間延長を試行(6日間)
	3月	・所蔵雑誌の保存期間を一部変更(外国語学習雑誌 永年→2年)
平成30年 (2018年)	1月	・荃崎交流センター図書室工事のため休室(1/10～2/3)
	4月	・祝日(年間13日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。 ・図書館職員14名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる。 ・中央図書館の開館時間を土曜日・日曜日も午後7時までまでに延長する (試行)。
	4月	・南2及び北2駐車場の無料サービスを2時間までに延長する。 ・WEB申込みに限り、4交流センター図書室への中央図書館在架図書取寄せを開始

	7月19日	・「つくば市図書館懇話会」を設置(年度内に計5回開催) ・「第1回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	9月3日	・「第2回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月20～ 21日	・「つくばFlower Market & Open Library」に自動車図書館で参加 〔中央公園〕
	11月11日	・「世界のゲームで遊ぼう」を開催する。
	11月24日	・公開シンポジウム「図書館の未来のかたち-つくば市の図書館のこれからを考える-」開催〔市役所本庁舎〕
	11月26日	・「第3回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	12月5日	・「第4回 つくば市図書館懇話会(市内視察)」が開催される。
平成31年 (2019年)	1月25日	・ぬいぐるみのおとまり会を開催する。
	1月29日	・「第5回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	3月21日	・「つくばVAN泊」に自動車図書館で参加する。
	4月	・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる ・祝日(年間16日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。 ・つくば市役所コミュニティ棟1階オープンスペースへの図書の配置を行う。(365冊) ・自動車図書館の隔週土曜日運行を開始する。 ・自動車図書館の一部平日午前運行を開始する。
	4月26日	・「第6回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
令和元年	5月11～ 12日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔つくば美術館屋外展示場〕
	7月30日	・「第7回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	8月	・市庁舎ブックポストをコミュニティ棟1階に移動する。
	8月29日	・「第8回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	9月	・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。
	9月25日	・「つくば市域図書館連携に関する協定」締結式を挙げる。 ・「第1回つくば市域図書館連携協議会」を開催する。
	10月3日	・「第9回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月15日	・「第10回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月29日	・JICA 筑波の協力により「The World Week@中央図書館」を開催する。(11月3日まで)
	11月2日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔筑波大学附属図書館〕
	11月3日	・「ブックカフェ」を開催する。〔BiVi つくば前〕
令和2年 (2020年)	2月28日	・新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、図書館で開催するイベントの中止を決定。



	3月	・つくば文化会館アルスのエレベーターを改修する。
	3月23日	・つくば市図書館懇話会から教育長へ提言書が提出される。
	4月1日	・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員11名体制となる。 ・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間5日)を開館とする。
	4月4～5日	・新型コロナウイルスの感染拡大により政府・茨城県知事から土日・夜間の外出自粛要請が発表されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とする。(7日は中央図書館のみ午後5時まで開館。)
	4月8日	・新型コロナウイルスの感染拡大により首都圏に緊急事態宣言が発令されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とし、自動車図書館やブックポスト、Webサービスも含めたすべての図書館サービスを休止。5月12日以降、段階的に再開。
	10月	・中央図書館及びアルスホールの照明をLED化する。
	10月1日	・資料や座席の除菌のため「UV-C紫外線照射自動巡回ロボット」を試験的に導入する。
令和3年 (2021年)	1月5日	・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスにおいて、国立国会図書館デジタルコレクションの複写サービスを開始する。
	1月18日	・茨城県独自の緊急事態宣言発令による市内の全交流センター休館に伴い、4交流センター図書室を2月7日まで臨時休室とする(予約本の受取及びブックポストへの返却は可能)。中央図書館は滞在型サービスを休止して開館。
	3月	・「つくば文化会館アルス長寿命化計画」を策定する。 ・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。
	4月1日	・図書館職員12名、再任用職員3名、図書館専門員12名体制となる。
	5月1日	・茨城県立図書館が提供する「インターネットによる遠隔地貸出サービス(ぶっくびん)」に参加する。
	6月1日	・「つくば市域図書館連携に関する協定書」に基づき、筑波大学附属図書館との直接の相互貸借を開始する。
	8月	・「本のふくぶくろ」実施。(7・8日)
	8月18日	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う国の緊急事態宣言及び茨城県の非常事態宣言を受け、臨時休館。(～9月23日)
令和4年 (2022年)	4月1日	・職員15名、再任用職員3名、図書館専門員11名体制となる。 ・自動車図書館3号車を導入し、運行を開始。
	8月2日	・下妻市、土浦市と広域利用を開始。

## 13 年間統計

中央図書館統計(2年度比較)			令和3年度(2021年度)	令和2年度(2020年度)
開館状況	1	開館日数	260 日	266 日
	2	開館時間	2,450 時間	2,423 時間
登録等	3	常住人口(各年4.1現在)	248,672 人	244,268 人
	4	入館者数(一日当たりの入館者数)	435,851 人(1,676 人)	393,376 人(1,479 人)
	5	登録者数	41,392 人	42,437 人
	6	うち市外居住者数	1,099 人	1,251 人
蔵書	7	図書資料冊数	293,487 冊	291,324 冊
	8	うち開架図書数	161,994 冊	159,197 冊
	9	うち自動車図書館	42,407 冊	43,148 冊
	10	視聴覚資料数(CD・DVD・ビデオ等)	13,679 点	13,621 点
	11	雑誌数	10,606 冊(213 種)	10,611 冊(213 種)
	12	新聞数	32 紙	31 紙
団体	13	団体登録	69 団体	129 団体
	14	団体利用	120 団体	102 団体
	15	団体貸出冊数	7,212 冊	6,911 冊
個人貸出	16	貸出者数(うち児童数)	220,254 人(47,606 人)	203,788 人(47,016 人)
	17	一日当たり貸出者数	847.1 人	766.1 人
	18	貸出総数	956,241 冊(点)	890,285 冊(点)
	19	利用者一人当たりの貸出数	4.34 冊(点)	4.37 冊(点)
	20	視聴覚機器利用者数	869 人	394 人
受入	21	年間資料購入総額(3年度決算額)	32,926 千円	36,105 千円
	22	内訳 ①図書資料	26,882 千円	29,638 千円
	23	②視聴覚資料	2,854 千円	3,362 千円
	24	③雑誌	2,232 千円	2,166 千円
	25	④新聞	958 千円	939 千円
	26	受入資料総数(雑誌を除く)	15,877 冊(点)	17,616 冊(点)
	27	内訳 ①購入図書	14,837 冊	16,500 冊
	28	②購入視聴覚	372 点	449 点
	29	③寄贈他	668 冊(点)	667 冊(点)
除籍	30	年間除籍資料数(雑誌を除いた除籍数)	15,545(12,829) 点	20,393(17,691) 点

### 注釈

1. 蔵書とは、図書資料、視聴覚資料(CD・DVD等)、雑誌及び新聞などを指す。
2. 貸出者数及び貸出資料総数には、自動車図書館の利用者も含む。
3. 4各交流センター図書室のデータは含まない。

### I 中央図書館統計(月別)

	開館日数	入館者数	貸出人数 (団体含む)	貸出冊数 (団体含む)	予約・リクエスト 件数	視聴覚 機器利用 人数
4月	24	41,194	18,959	83,043	12,237	44
5月	26	46,820	21,164	93,479	13,463	84
6月	22	38,661	18,135	78,537	11,636	99
7月	26	47,328	21,421	94,385	12,944	145
8月	14	28,338	13,034	55,563	13,842	25
9月	6	12,849	6,739	29,950	11,659	0
10月	27	38,553	19,839	87,444	13,633	120
11月	23	36,972	18,208	80,226	12,783	71
12月	22	33,265	17,396	76,544	11,608	72
1月	24	36,588	18,835	84,498	13,763	66
2月	20	34,322	17,216	76,099	12,869	63
3月	26	40,961	19,877	86,361	13,231	80
合計	260	435,851	210,823	926,129	153,668	869
日平均		1,676	811	3,562	591	3
月平均	22	36,321	17,569	77,177	12,806	72

### II 有効登録者数(年齢別)

年 齢	登録者数	比率 (%)
0～6	1,757	4.3
7～12	8,636	20.9
児童小計	10,393	25.2
13～15	1,754	4.3
16～18	1,130	2.7
19～22	2,152	5.2
23～29	2,615	6.3
30～39	5,657	13.7
40～49	7,665	18.6
50～59	4,332	10.5
60～	5,534	13.4
一般小計	30,839	74.8
個人計	41,232	100
団体等計	160	
総計	41,392	

### III 貸出人数(館別・年齢別)

年 齢	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	郵 送	合 計	比率 (%)
0～6	12,199	2,648	2,571	706	1,811	576	0	20,511	6.4
7～12	27,932	4,827	4,945	1,530	2,904	2,268	0	44,406	13.9
児童小計	40,131	7,475	7,516	2,236	4,715	2,844	0	64,917	20.4
13～15	5,544	31	572	388	484	304	0	7,323	2.3
16～18	3,072	5	288	95	125	109	0	3,694	1.2
19～22	5,698	13	239	258	194	164	0	6,566	2.1
23～29	6,245	71	888	268	438	128	0	8,038	2.5
30～39	28,204	522	6,889	1,191	3,124	1,619	1	41,550	13.0
40～49	51,876	557	9,211	2,749	6,031	3,102	4	73,530	23.1
50～59	30,485	258	3,685	2,305	5,273	2,303	5	44,314	13.9
60～	38,772	745	5,905	3,662	6,834	12,247	6	68,171	21.4
一般小計	169,896	2,202	27,677	10,916	22,503	19,976	16	253,186	79.5
相互貸借	550							550	0.2
個人計	210,577	9,677	35,193	13,152	27,218	22,820	16	318,653	100
団体計	120							120	
総 計	210,697	9,677	35,193	13,152	27,218	22,820	16	318,773	
比率 (%)	66.1	3.0	11.0	4.1	8.5	7.2	0.0	100	

### IV 蔵書冊数(館別・資料区分別)

資料区分	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	合 計
一般図書	166,154	15,088	32,338	16,958	17,364	35,743	283,645
ヤング	6,890	0	0	0	0	0	6,890
児童図書	67,267	27,319	15,373	15,267	13,638	15,040	153,904
外国語一般	7,487	0	0	0	0	1	7,488
外国語児童	3,282	0	180	12	38	28	3,540
視聴覚資料	13,679	0	0	7	0	0	13,686
雑 誌	10,606	0	717	1,339	649	799	14,110
全資料合計	275,365	42,407	48,608	33,583	31,689	51,611	483,263
比率 (%)	57.0	8.8	10.1	6.9	6.6	10.7	100

※一般図書には、文庫、参考図書、郷土資料、市政資料、教科書を含む。

※児童図書には、絵本、紙芝居を含む。

### V 受入冊数(館別)

	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	合 計
受入冊数	16,142	2,447	1,560	1,323	1,434	1,480	24,386

## VI 貸出冊数(館別・資料区分別)

資料区分	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	郵送	合計	比率(%)
一般図書	322,655	6,588	53,622	24,171	38,927	42,066	80	488,109	35.3
文庫	55,198	16	5,487	2,382	5,906	10,692	0	79,681	5.8
ヤング	52,308	1	200	34	216	128	0	52,887	3.8
外国語一般	2,621	0	11	5	35	5	0	2,677	0.2
参考図書	23	0	2	1	7	1	0	34	0.0
地域資料	1,424	8	280	241	282	121	0	2,356	0.2
市政資料	142	0	1	2	1	1	0	147	0.0
教科書	219	0	5	0	18	0	0	242	0.0
児童図書	219,917	20,741	41,965	14,814	30,313	19,179	0	346,929	25.1
絵本	179,389	9,781	50,592	12,329	30,184	14,306	0	296,581	21.4
紙芝居	6,406	105	1,647	383	553	163	0	9,257	0.7
外国語児童	8,237	0	107	6	64	11	0	8,425	0.6
視聴覚資料	51,961	0	1	0	0	0	0	51,962	3.8
雑誌	25,629	4	6,173	3,428	4,973	4,578	0	44,785	3.2
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	926,129	37,244	160,093	57,796	111,479	91,251	80	1,384,072	100
比率(%)	66.9	2.7	11.6	4.2	8.1	6.6	0.0	100	
開館日数	260	168	260	258	240	260			
一日平均	3,562	222	616	224	464	351			
うち団体貸出	7,212	0	0	0	0	0	0	7,212	

## VII 貸出冊数(全館・分類別)

分類	冊数	比率(%)
0 総記	13,876	1.0
1 哲学	29,746	2.1
2 歴史	69,096	5.0
3 社会	63,342	4.6
4 自然	102,477	7.4
5 技術	91,743	6.6
6 産業	23,727	1.7
7 芸術	74,251	5.4
8 言語	13,219	1.0
9 文学	88,929	6.4
N 小説	326,313	23.6
W 大活字本	2,275	0.2
T 市政資料	147	0.0
PC コンピュータ	3,288	0.2
TB 教科書	242	0.0
E 絵本	301,131	21.8
C 紙芝居	9,257	0.7
M コミック	73,303	5.3
S 進路情報	350	0.0
TE 点字	625	0.0
Z 雑誌	44,771	3.2
A 録音資料	20,307	1.5
V 映像資料	31,655	2.3
X その他	2	0.0
合計	1,384,072	100

## VIII 蔵書冊数(全館・分類別)

分類	冊数	比率(%)
0 総記	9,961	2.1
1 哲学	11,834	2.4
2 歴史	37,092	7.7
3 社会	34,988	7.2
4 自然	32,647	6.8
5 技術	28,542	5.9
6 産業	11,849	2.5
7 芸術	33,812	7.0
8 言語	7,330	1.5
9 文学	67,658	14.0
N 小説	98,910	20.5
W 大活字本	2,784	0.6
T 市政資料	3,262	0.7
PC コンピュータ	726	0.2
TB 教科書	361	0.1
E 絵本	61,146	12.7
C 紙芝居	3,664	0.8
M コミック	8,231	1.7
S 進路情報	344	0.1
TE 点字	238	0.0
Z 雑誌	14,104	2.9
A 録音資料	8,180	1.7
V 映像資料	5,506	1.1
X その他	94	0.0
合計	483,263	100

## IX 予約・リクエスト受付件数

中央	153,668
自動車	300
谷田部	4,391
筑波	1,818
小野川	2,803
荃崎	4,372
合計	167,352

### リクエスト受付場所内訳 (中央のみ)

窓口	1,758
Web	4,336
自動車	34
合計	6,128

### 交流センター図書室から 中央図書館への購入依頼

谷田部	121
筑波	20
小野川	112
荃崎	196
合計	449

X その他統計(5年度比較)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
相互貸借	合計冊数	2,479	1,881	2,126	1,854	2,048	
	貸出冊数	617	532	662	656	709	
	借受冊数	1,862	1,349	1,464	1,198	1,339	
	借受先 内訳	国	1	1	0	1	2
		県外	27	5	6	16	9
県内		1,834	1,343	1,458	1,181	1,328	
複写	受付件数	718	710	1,045	1,220	1,278	
オンライン データベース (新聞情報室)	利用件数計	91	25	28	23	62	
	内訳	新聞・官報 データベース	50	23	28	23	62
		国会図書館デジタル化 資料送信サービス	41	2	—	—	—
視聴覚ブース	機器利用人数	869	394	2,301	2,678	2,371	
調査相談	件数合計	1,440	1,389	1,608	1,808	1,630	
	内訳	口頭	1,383	1,340	1,469	1,678	1,551
		電話	42	45	65	114	62
		電子メール	15	4	74	16	17
音訳サービス	朗読CD郵送枚数 (H29まではテープ)	128	256	222	247	241	
WebOPAC	検索件数	1,716,719	1,560,611	1,351,947	1,235,690	1,139,836	
駐車場	駐車券サービス枚数	61,460	56,479	74,789	57,215	57,259	
館外返却	返却冊数計	29,850	24,217	34,042	30,697	24,218	
	内訳	つくば市役所 コミュニティ棟	17,807	14,135	20,835	16,524	11,609
		大穂交流センター	3,510	3,581	4,436	4,317	2,909
		豊里交流センター	1,553	1,430	1,761	2,220	1,802
		並木交流センター	6,774	4,999	6,932	7,586	7,695
		島名交流センター	166	—	—	—	—
広岡交流センター	40	72	78	50	203		
中央図書館入館者数		434,851	393,376	559,798	571,642	514,588	
アルスホール	利用件数	298	181	276	254	313	
予算 (千円)	A. 市の一般会計予算	89,713,000	88,525,000	88,040,000	85,617,000	87,672,000	
	B. 図書館費	405,231	420,383	387,186	332,795	346,903	
	(Aに占める割合)	(0.45%)	(0.47%)	(0.44%)	(0.39%)	(0.40%)	
	C. 資料費 合計	40,630	43,926	43,851	43,708	41,563	
	(Bに占める割合)	(10.03%)	(10.45%)	(11.33%)	(13.13%)	(11.98%)	
	図書資料	32,877	35,600	35,500	35,500	32,900	
	視聴覚資料	2,860	3,400	3,500	3,500	4,100	
	雑誌	3,230	3,230	3,225	3,086	2,994	
	新聞	1,139	1,172	1,144	1,146	1,126	
加除式法規集	524	524	482	476	443		

※予算については、4交流センター図書室の運営に要する経費も含めて算出方法の見直しを行った。

## 14 ボランティア活動状況

### 登録状況

令和3年度(2021年度)

分野	おはなし	児童サービス	修理	音訳	点訳	国際化サービス	配架	地域文化	地域資料	図書館サポーター
登録人数	54	25	26	19	20	9	39	11	15	35

### 活動状況

分野	おはなし		児童サービス		修理		音訳		点訳		国際化サービス		配架		地域文化		地域資料		図書館サポーター	
	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数
4月	5	9	7	16	8	48	3	15	1	10	0	0	20	54	3	6	4	18	0	0
5月	3	5	3	3	8	41	3	12	1	10	0	0	24	69	1	1	4	17	0	0
6月	6	16	4	6	8	53	4	19	1	10	0	0	22	62	2	2	4	23	0	0
7月	4	15	3	8	8	55	3	13	1	9	0	0	25	62	3	5	4	21	0	0
8月	0	0	0	0	2	11	0	0	0	0	0	0	4	8	0	0	1	5	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	5	12	1	1	8	51	3	13	1	8	0	0	23	52	2	2	4	11	0	0
11月	5	12	0	0	7	52	3	9	1	10	0	0	22	58	2	2	3	11	0	0
12月	5	11	2	8	7	49	3	13	1	14	0	0	20	47	2	2	4	17	0	0
1月	2	4	1	3	7	37	3	12	1	11	0	0	20	40	2	2	4	18	0	0
2月	0	0	0	0	5	18	3	12	1	9	0	0	19	28	2	2	2	9	0	0
3月	0	0	2	5	9	49	3	14	1	12	0	0	25	46	2	2	5	22	0	0
計	35	84	23	50	77	464	31	132	10	103	0	0	224	526	21	26	39	172	0	0

### ボランティア活動実績

#### ◆おはなしボランティア

- ・おはなし会 毎週土曜日 令和3年度延べ聴衆数523人  
第1土曜 「荃崎おはなし会」  
第2土曜 「おはなしの泉」  
第3土曜 「おはなしまつぼっくり」  
第4土曜 「おはなしの森」  
第5土曜(ない月は第4日曜) 「筑波大学ストーリーテリング研究会」
- ・「グループ・スイミー」公演 6月26日(土)
- ・「パネルシアターかくれんぼ&ゆめぼっぼ」公演 7月10日(土)

#### ◆児童サービスボランティア

- ・こどもコーナーの配架及び書架整理
- ・クリスマスカード作成(12月)

#### ◆修理ボランティア

- ・毎週火・水曜日 令和3年度修理冊数1,811冊

#### ◆音訳ボランティア

- ・毎月3回程度 「声の常陽リビング及びミニ情報」作成 希望者へ音訳CDを配布

#### ◆点訳ボランティア

- ・毎月第3木曜日 点訳絵本の作成

#### ◆地域文化ボランティア

- ・「本好きのためのゆるっとトークルーム」 毎月第1土曜日
- ・「おとなのためのブックトーク」 毎月第3土曜日

#### ◆地域資料ボランティア

- ・毎週水曜日 つくば市関連の新聞記事を集めた「つくばトピックニュース」の作成

## 15 所蔵雑誌一覧

★…新規購読誌 谷…谷田部 筑…筑波 小…小野川 荃…荃崎

一 般 ( 誌名50音順 )				交流センター 所蔵状況
	誌 名	刊行頻度	保存年限	
<b>あ</b>				
1	I/O(アイオー)	月刊	2年	
2	AERA	週刊	1年	
3	★AERA wIth Klds	季刊	2年	
4	アクアライフ	月刊	2年	
5	AXIS	隔月	2年	
6	明日の友	隔月	2年	
7	アニメージュ	月刊	2年	
8	安心	月刊	2年	
9	&プレミアム	月刊	2年	
10	一個人	季刊	2年	筑・小
11	一枚の繪	隔月	2年	
12	イラストレーション	季刊	2年	
13	English Journal	月刊	2年	
14	Wedge	月刊	2年	
15	うかたま	季刊	2年	
16	歌の手帖	月刊	2年	
17	美しいキモノ	季刊	2年	
18	栄養と料理	月刊	2年	
19	エコノミスト	週刊	2年	
20	SFマガジン	隔月	2年	
21	ESSE	月刊	2年	谷・筑・小・荃
22	NHKきょうの健康	月刊	2年	谷・筑・小・荃
23	NHKきょうの料理	月刊	2年	谷・筑・小・荃
24	NHK趣味の園芸	月刊	2年	谷・筑・小・荃
25	NHKすてきにハンドメイド	月刊	2年	谷・筑・小・荃
26	NHKみんなのうた	隔月	2年	
27	FQ JAPAN	季刊	2年	
28	MJ無線と実験	月刊	2年	
29	LDK ※中央館所蔵なし	月刊		谷・筑・小(2年)
30	ELLE DÉCOR	年5	2年	
31	園芸ガイド	季刊	2年	
32	ENGINE	月刊	2年	
33	OCEANS	月刊	2年	
34	OZ magazine	月刊	2年	
35	Oggi	月刊	2年	
36	男の隠れ家	月刊	2年	
37	おとなの週末	月刊	2年	
38	おりがみ	月刊	2年	
39	オール讀物	月刊	2年	
40	オレンジページ	月2	2年	谷・筑・小
<b>か</b>				
41	カー&ドライバー	月刊	2年	
42	科学	月刊	2年	
43	岳人	月刊	2年	
44	学校図書館	月刊	2年	
45	家庭画報 ※最新号カウンター内	月刊	2年	荃
46	からだにいいこと	隔月	2年	
47	ガルヴィ	年5	2年	

48	キネマ旬報	月2	2年	
49	CAPA (キャパ)	月刊	2年	
50	クーヨン	月刊	2年	
51	暮しの手帖	隔月	2年	谷・筑・小・茎
52	Clara	月刊	2年	
53	CREA Traveller	季刊	2年	
54	クロワッサン	月2	2年	筑・小・茎
55	群像	月刊	2年	
56	芸術新潮	月刊	永年	
57	月刊自家用車	月刊	2年	
58	現代詩手帖	月刊	2年	
59	現代農業	月刊	2年	
60	航空ファン	月刊	2年	
61	コットンタイム	隔月	2年	
62	★kodomoe (コドモエ)	隔月	2年	谷
63	こどもとしゃかん	季刊	2年	
64	子供の科学	月刊	2年	谷・筑・小・茎
65	ゴルフダイジェスト	月刊	2年	
66	暮ワールド	月刊	2年	
<b>さ</b>				
67	Cycle Sports	月刊	2年	
68	サッカーマガジン	隔月	2年	
69	THE 21	月刊	2年	
70	サライ	月刊	2年	筑・茎
71	サンデー毎日	週刊	2年	
72	散歩の達人	月刊	2年	谷・茎
73	JTB時刻表	月刊	1年	
74	CNN English Express	月刊	2年	
75	CD journal	季刊	2年	
76	Jazz Life	月刊	2年	
77	週刊ダイヤモンド	週刊	2年	
78	週刊東洋経済	週刊	2年	
79	週刊文春	週刊	2年	
80	週刊ベースボール	週刊	2年	
81	ジュニアエラ	月刊	2年	
82	将棋世界	月刊	2年	
83	★小説幻冬	月刊	2年	
84	小説新潮	月刊	2年	
85	常陽藝文 (寄贈)	* 2 月刊	永年	
86	新建築 住宅特集	月刊	2年	
87	新潮	月刊	2年	
88	SWITCH	月刊	2年	
89	スイミング マガジン	月刊	2年	
90	数学セミナー	月刊	2年	
91	スクリーン	月刊	2年	
92	Stereo	月刊	2年	
93	STORY	月刊	2年	
94	すばる	月刊	2年	
95	住まいの設計	隔月	2年	
96	★スマッシュ	月刊	2年	
97	墨	隔月	2年	
98	相撲	月刊	2年	
99	正論	月刊	2年	



100	世界	月刊	2年	
101	装苑	隔月	2年	
102	ソトコト	隔月	2年	
<b>た</b>				
103	ダ・ヴィンチ	月刊	2年	筑
104	Tarzan	月2	2年	
105	卓球王国	月刊	2年	
106	旅の手帖	月刊	2年	茎
107	短歌	月刊	2年	
108	dancyu	月刊	2年	小
109	中央公論	月刊	2年	
110	つり人	月刊	2年	
111	★Discover Japan	月刊	2年	
112	Disney fan	月刊	2年	
113	鉄おも!	月刊	2年	
114	鉄道ファン	月刊	2年	
115	電子工作マガジン	季刊	2年	
116	天然生活	月刊	2年	谷・筑・小・茎
117	天文ガイド	月刊	2年	
118	ドゥーパ!	隔月	2年	
119	図書館雑誌(寄贈)	月刊	永年	
120	飛ぶ教室	季刊	2年	
<b>な</b>				
121	なごみ	月刊	2年	
122	Number	隔週	2年	
123	Nicola	月刊	2年	
124	日経woman	月刊	2年	
125	日経サイエンス	月刊	2年	
126	日経トレンディ	月刊	2年	谷
127	日経パソコン	月2	2年	
128	日経ビジネス	週刊	2年	
129	日経PC21	月刊	2年	筑
130	日経マネー	月刊	2年	
131	Newsweek(日本版)	週刊	2年	
132	Newsがわかる	月刊	2年	
133	Newton	月刊	2年	
134	ねこ	季刊	2年	
135	農業いばらき(寄贈)	* 2 月刊	2年	
136	ノジュール	月刊	2年	
137	Non-no	月刊	2年	
<b>は</b>				
138	俳句	月刊	2年	
139	ハウジング	隔月	2年	
140	バスケットボール	月刊	2年	
141	Birder	月刊	2年	
142	★Hanako	月刊	2年	
143	母の友	月刊	2年	筑
144	バレーボール	月刊	2年	
145	ピアノ	月刊	2年	
146	PHP	月刊	2年	茎
147	美術手帖	季刊	永年	
148	美的	月刊	2年	
149	Be-pal	月刊	2年	

150	Forbes JAPAN	月刊	2年	
151	婦人画報	月刊	2年	
152	婦人公論	月刊	2年	筑・小・茎
153	婦人之友	月刊	2年	小
154	武道(寄贈) * 1	月刊	2年	
155	BRUTUS	月2	2年	
156	プレジデント	月2	2年	
157	プレジデントFamily	季刊	2年	
158	フローリスト	隔月	2年	
159	文學界	月刊	2年	
160	文藝	季刊	2年	
161	文藝春秋 ※最新号カウンター内	月刊	2年	谷・筑・小・茎
162	★Baby-mo(ベビモ)	季刊	2年	
163	★Pen	月刊	2年	
164	Voice	月刊	2年	
165	法学教室	月刊	2年	
166	本の雑誌	月刊	2年	
<b>ま</b>				
167	Mac Fan	月刊	2年	
168	MAMOR(寄贈) * 1	月刊	2年	
169	Mr.PC	季刊	2年	
170	ミステリマガジン	隔月	2年	
171	ミセスのスタイルブック	季刊	2年	
172	milsil(寄贈)	隔月	2年	
173	MEN'S CLUB	年11	2年	
174	MEN'S NON-NO	月刊	2年	
175	MORE	月刊	2年	
176	MOE	月刊	2年	谷
177	モーターサイクリスト	月刊	2年	
178	モダンリビング	隔月	2年	
179	モノマガジン	月2	2年	
<b>や</b>				
180	やさい畑	隔月	2年	筑
181	山と溪谷	月刊	2年	
182	ゆうゆう	月刊	2年	茎
<b>ら わ</b>				
183	ラジコンマガジン	月刊	2年	
184	ランナース	月刊	2年	
185	LEE	月刊	2年	谷
186	留学ジャーナル	季刊	2年	
187	レコード芸術	月刊	2年	
188	歴史街道	月刊	2年	
189	歴史群像	隔月	2年	
190	レタスクラブ ※中央館所蔵なし	月2		茎(2年)
191	ROKIN' ON JAPAN	月刊	2年	
192	Wan(わん)	隔月	2年	

\* 1 寄贈雑誌架(前年雑誌棚内) \* 2 地域資料コーナー

外国語 (誌名アルファベット順)				交流センター 所蔵状況
	誌名	刊行頻度	保存年限	
193	Better Homes and Gardens	月刊	2年	
194	ESQUIRE	月刊	2年	
195	Hir@gana times	月刊	2年	
196	National Geographic	月刊	永年	
197	National Geographic KIDS	年10	2年	
198	Reader's Digest (英語版)	月刊	2年	
199	★ SCIENTIFIC AMERICAN	月刊	2年	
200	TIME	隔週	2年	
201	★ VOGUE	月刊	2年	
202	亞洲週刊 (中国語)	週刊	1年	
203	天下雜誌 (中国語)	月2	2年	
204	Sélection Reader's Digest (フランス語)	年10	2年	
205	Домашний очаг (ロシア語)	月刊	2年	

児童 (誌名50音順)				交流センター 所蔵状況
	誌名	刊行頻度	保存年限	
206	かがくのとも	月刊	永年	筑
207	こどものとも	月刊	永年	谷・筑・莖
208	こどものとも 0・1・2	月刊	永年	谷・筑・小・莖
209	こどものとも 年少版	月刊	永年	
210	こどものとも 年中向き	月刊	永年	筑
211	この本読んで	季刊	永年	谷・筑・小・莖
212	宇宙(そら)のとびら	季刊	永年	
213	たくさんのふしぎ	月刊	永年	
214	ちいさなかがくのとも	月刊	永年	
215	テルミ：点字資料	隔月	永年	

こどもコーナーに配架

## 16 所蔵新聞一覧

	紙名	保存期間
<b>一般紙</b>		
1	朝日新聞	2年
2	産経新聞	1年
3	日本経済新聞	2年
4	毎日新聞	2年
5	読売新聞	2年
6	朝日新聞(夕刊)	2年
7	日本経済新聞(夕刊)	2年
8	毎日新聞(夕刊)	2年
9	読売新聞(夕刊)	2年
<b>スポーツ紙</b>		
10	スポーツ報知	1年
11	日刊スポーツ	1年
<b>専門紙</b>		
12	日刊工業新聞	1年
13	日経産業新聞	1年
14	日経MJ(日経流通新聞)	1年
<b>地方紙</b>		
15	茨城新聞	2年
16	東京新聞	2年
17	福島民報	1年
18	福島民友	1年

	紙名	保存期間
<b>政党機関紙</b>		
19	しんぶん赤旗	1年
20	公明新聞	1年
21	社会新報	1年
22	自由民主	1年
23	週刊新社会	1年
<b>学生・児童向け</b>		
24	朝日小学生新聞	1年
25	毎日小学生新聞	1年
26	The Japan Times Alpha	1年
27	常陽小学生新聞	2年
<b>外国語新聞</b>		
28	The Japan News	1年
29	The Japan Times / The New York Times	1年
30	人民日報(中国)	1年
31	東亜日報(韓国)	1年

### 4 交流センター図書室所蔵新聞

	紙名	保存期間
1	日本経済新聞	6ヶ月

## 17 雑誌スポンサー制度

つくば市立図書館では、雑誌資料提供の場を広告媒体として活用することにより、民間事業者等の情報発信の場を提供するとともに、図書館の財源を確保し、所蔵資料、施設、サービスのより一層の充実を図り、地域と連携し図書館からつくばの教育を応援することを目的として、雑誌スポンサー制度を実施しています。

令和4年度(2022年度)は14件のスポンサー様が24誌の雑誌に広告を掲出しています。(8月1日現在)

スポンサーになっていただくと、

- ① 選択いただいた雑誌の最新号カバー及び棚蓋にスポンサー名及び広告を掲出します。
- ② 図書館ホームページや館内掲示等でスポンサー名を紹介します。
- ③ スポンサーがつくばの教育を応援してくださっていることをPRできるように、企業や店舗などに掲示物を提供します。

スポンサー料は雑誌1誌につき15,000円(年度途中からは月額1,250円として算出します)。支払い方法は、納入通知書での振込みとなり、支払いに必要な一切の経費はスポンサー負担になります。スポンサー認定期間は年度を単位として、決定の翌月から当該年度末までです(更新が可能です)。

詳しい雑誌リストや申込要件方法等については、図書館ホームページを御覧いただくか、中央図書館までお問合せください。

※掲出例

雑誌カバー



雑誌の棚蓋



---

## 令和4年度 つくば市の図書館概要

発行 令和4年(2022年)8月  
発行者 つくば市立中央図書館  
つくば市吾妻二丁目8番地  
TEL 029(856)4311  
FAX 029(856)6277

---

会 議 録

会議の名称		令和4年度第2回つくば市図書館協議会	
開催日時		令和5年（2023年）3月16日（木）開会 14:00 閉会 16:00	
開催場所		つくば市立中央図書館2階 集会室	
事務局（担当課）		教育局中央図書館	
出席者	委員	坏文雄委員（会長）、齋藤てる委員、鈴木もえみ委員、小林忍委員、宇川百合江委員、清水智子委員、村上久美子委員、分領信一委員、立川英昭委員、近藤恒重委員	
	その他		
	事務局	柴原徹中央図書館長、沼尻祐一中央図書館副館長、玉木正徳管理係長、川田美紀サービス係長、菅谷伸恵主任主査、大塚智裕主事	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0人
議題		1 令和4年度事業の経過報告について 2 令和4年度新規事業について (1) 自動車図書館事業について (2) 広域利用制度について (3) 電子図書館の利用状況について (4) コミュニティ棟予約本貸出の利用状況について 3 その他	
会議録署名人		確定年月日	令和 年 月 日

会 議 次 第	1 開会
	2 議事
	(1) 令和4年度事業の経過報告について
	(2) 令和4年度新規事業について
	① 自動車図書館事業について
	② 広域利用制度について
	③ 電子図書館の利用状況について
	④ コミュニティ棟予約本貸出の利用状況について
	(3) その他
	3 閉会



## 1 開会

成立要件を確認し、つくば市図書館協議会が成立することを告げ、開会の宣言を行った。

## 2 議事

事務局：それでは早速、議事に入りたいと思いますが、つくば市図書館協議会運営規則第2条第3項の規定によりまして、議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。それではよろしくお願いいたします。

一同：よろしく申し上げます。

会長：こんにちは。今日の協議会は、明日が小学校の卒業式のため、学校から来ている2人の委員が早めに退席するという事です。

それから、もう一人の委員さんも別件で途中退席しなければいけないということ事です。

今日全体の流れとしては、最初に途中退席される委員さんとお2人の小学校の校長先生にお話いただいて、そのあと、議事の流れていきまして、最後30分くらい、図書館の施設改修について、図書館の方から説明があったり、皆さんから意見をもらったりする時間を取りたいと思います。

それから時間が許せば、この協議会のあり方ですね、こんな協議会であったらいいのではないかというあたりも、時間があれば意見をいただきたいと思います。

それからもう一つですが、新しく研究学園小学校と研究学園中学校が、この4月から立ち上がります。

そこで、どちらかの学校に、委員さんの都合がよければ、3月の春休み中でも現地集合で視察等を行ってみるのもいいなど。

日程については後程、一番良い日程を探って、あと図書館の方からも館長さんにつき合ってもらって、なるほどこういう図書館を作るのかというのを見ましょう。

そういうところで、今日の協議会を進めていきます。

では委員さん、最初にどうぞ。

委員：おそれいります。一応こちらに書いてあると思うんですが、1-1の資料「オリヒメ」。たまたまニュースでも拝見いたしまして、すごく好評で良かったなと思いましたので。こういう先端的な取り組みを、障害者の方が、横浜から遠隔地で、こちらの中央図書館で読み聞かせをされるというのを見たんですが、電子図書館とか、こういった先進的な取り組みをたくさんやってらっしゃるので、そこを誇らしく思って、ありがたいなと思っております。

今日の会議の概要をお伺いいたしまして、施設の改修や学校の視察についても話があるということですが、何かそれを大事かなと思いましたので、一応最後にというお話だったんですけど、こちらは皆様のご都合かと思うんですけども春休み、というのは、いつぐらいが。大体4月の早い時期で、考えてよろしいんでしょうか。

忙しいとかいろいろあるかと思うので、ぜひご一緒できると嬉しいなと思いますので、もし春休みということだったら4月もありがたいのかな。お忙しいかとも思うんですけど。

改修はすごく私一番関心があることだったので、今日もオンラインで参加できたら良かったな、なんて思ったぐらいなんですけれども、手短にお話伺うというのはちょっと難しいでしょうか。

会長：改修についての話は、一番最後の方に持っていこうかと思えます。

今日だけじゃなくても、後程、自分の意見とか希望があったら、館長の方にメールでもいいでしょうから。

今日の話し合いですべて決まるということでもありませんし。

委員：つくば市は広いんですけど、こちらは中央図書館ですので、「オリヒメ」など一番最先端のものと、駐車券無料化など、多くの方が集まりやすくなる工夫ってやはり良いと思いました。

会長：はい。それでは委員さんよろしいですか。

委員：はい、ありがとうございました。

会長：それでは、2人の委員さんも明日の準備があるというので、一言ずつどうぞ。

委員：どこの学校にも行っているのかちょっと分からないんですけど、学校に自動車図書館が来てくれています。

私、今の学校は2年目なんですけど、去年から自動車図書館が来ているんだなあとただ漠然と見てましたけど、今年、校長会の学校図書館の担当になりました、気にするようになって、子供たちは本を借りてるのかと職員に聞いてみたところ、結構借りてますっていうことでしたので、もっと活用するように指示したところもあります。

自動車図書館はいろいろな場所を回っていらっしゃるので、時間帯が子供が借りやすい時間帯に来たり、気にしてくれているのかと思うんですけど、子供は本が好きですから、本を借りる習慣がつけば、借りる数ももっと多くなるのかな。私はそんなことを思いながら、自動車図書館を見させていただきました。以上です。ありがとうございました。

会長：ありがとうございました。

委員：お世話になります。

本校の方は比較的こちらの中央図書館近くですので、子供たちが結構利用しているなというふうな感じがしています。

この間も国語の授業を見ていたときに、子供たちがお気に入りの場所を発表する中で、この中央図書館を上げている子がいて、やっぱり子供たち本好きな子が結構多いので、そういうことはとてもありがたいなというふうに思っています。

—3 委員退出—

会長：それでは議事の方に入ります。議事その1、令和4年度事業の経過報告について事務局よりお願いいたします。

〔配布資料に基づき事務局説明〕

会長：令和4年度の事業の経過報告について、委員からの意見を求めます。

管理係、サービス係から出てきましたけれども、どこからでもどうぞ。はいお願いします。

委員：質問がございます。8月に広域利用開始ということで下妻市、土浦市の在住の方へのサービスが始まりました。

どれぐらいの方が利用されたり、或いは本をお借りになっているのかっていうのがもし分かるようでしたら、教えていただきたいのと、その下妻、土浦の方のご感想等があればというのが1点と、もう一つ、2月からの「オリヒメ」の絵本の読み聞かせ、アバターロボットの絵本の読み聞かせってどんな感じなのかなっていうのが非常に興味があって。どんな感じだったのか少し様子をお聞かせいただけたらと思います。いかがでしょうか。

会長：はい今の二つ。「オリヒメ」のあれは何か映像でもあると面白いんだけど、ありますか。

事務局：はい。広域の利用状況に関しまして、資料3号をご覧くださいよろしいでしょうか。登録は全館で、8月から始まりましたが、そこまで多い感じはないです。

委員：100人近い方が330冊ぐらいお借りになったっていう考えなんですよ。

事務局：本日も土浦の方が、実は広域利用したいということでいらして、すごく熱心に、勤務していないと借りられないと思ったから本当によかったよって言ってカードを作ってくださいって、皆さん熱心に質問をされて、それで喜んで本を借りていかれたので良かったなと思っております。

委員：一つ疑問があります。土浦は確か、新しい綺麗な図書館ができていて、どうしてこっちでお借りになるのかなっていうのが、すごい素朴な疑問で、それをもうちょっと聞きたかったんです。

事務局：聞いてみました。そうしましたら、土浦は大きいかもしれないけれども、駐車場が不便だと。

それで例えば土浦の乙戸あたりの方とかは、こちらが結構便利らしいです。小野川交流センターとかでもかなり近いので、便利に使ってるっていうことでした。

委員：そういうことだったんですね。

事務局：お店とかを利用するのにこちらに来るので、こちらは便利だっというようなことではないでしょうか。

委員：買い物の帰りに寄るみたいな。土浦はなぜだろうってちょっと思ってたんで、そういうことだったんですね。

事務局：資料もつくばの方がいいって言ってくださった方がいらっしゃいます。

委員：分かりました。

事務局：前にもご説明したかと思うんですが、下妻と土浦で始まった理由ですが、まず土浦については、もうすでにつくば市民の方も、在住、在学、在勤とか関係なく、土浦に行けば借りられたというところがありましたので、つくばとしては門戸を開いたということです。

下妻市については、昨年度、下妻市の担当部長さんから連絡がありまして、下妻市の図書館も結構つくば市民の利用もあると。

一方で、下妻市民もつくばの図書館とかで借りられないんですかねっていうようなご相談を受けたというお話をいただきました。

つくば市は6か町村の合併なんですが、旧大徳町と旧筑波町が下妻市と接していたので、この広域利用が始まる前からすでに下妻市の図書館を利用することができていました。

ただ、今回このタイミングでうちが広域を始めたことによって、つくば市全域に住んでいる方が下妻市の図書館を使えるというようなことになりました。

98人もお借りいただいたというのは一定の成果だと思うんですが、まだまだ伸びないというのはおそらくなんですが、下妻、土浦それぞれの市民の皆さ

んに広報が、それぞれの自治体であまりされてないのかなというところが一つ要因であるかと思います。

以前、広域利用が始まる前に筑波交流センター図書室の職員が言っていたが、やはり下妻市と非常に近いので、下妻市の高道祖というところは、つくば市とすごい接しているところなので、下妻市の図書館へ行くよりはつくばに来た方が近いと、便利だという方がいらっしやって、うちとしてもいろんなPRを広げていけば、そういう利用が伸びるケースもあるのかなと考えております。

委員：はい、ありがとうございます。読み聞かせのロボットの方はどうですか。

事務局：ロボットの動画を用意できるかどうか、今ちょっと調べてみます。

初日にNHKが取材に来てくれまして、当日2回放送されました。午後6時45と8時45分です。

委員：メールで放送されますっていう連絡をもらいたかったと思います。

事務局：取材もその日いきなり来られましたので、庁内への報告とかが本当にぎりぎりだったような状態でしたので。

会長：他にございますか。はい。お願いします。

委員：資料1-2の4番なんですけれども、リマインドメール。

あれ、いつからこんな素敵なシステムが始まったのかなと思って。

例えば3月3日が返却日だったら、ちょうど3月2日に届くんですね。

それで、お借りになられてる本は明日期限ですって。

2週間延ばせますよっていうのは非常にありがたくて。

忘れているときに2週間延長できると思って、とても助かっています。

これは素晴らしいシステムだと思います。ありがとうございます。

会長：すでにリマインドメールを経験された方いらっしやいますか。はい。いるんですね。

事務局：ただこぼれ話になっちゃうんですけど、さっき本を返したのにメールが来ているという意見があります。

メールが来るのは、開館前の時間帯に来るんですけども、実際に確認するのが返したあとだと、このようなことになります。

そういうご意見は寄せていただいています。

もちろん送信したのは、その当日午前8時ですが。

委員：書いてありますよね、行き違いになったら、ご容赦くださいと。

事務局：自動で一斉送信します。きちんとされている方は余計に気になってしま  
うようです。そういうことがありました。

会長：他にございますか。

それでは次に議事の2の方にかかせていただきます。

令和4年度新規事業について、事務局からお願いいたします。

#### 〔配布資料に基づき事務局説明〕

会長：はい新規事業について四つ続けていただきました。

まず、自動車図書館事業についてご意見ありますか。

これはもう、このステーションは、これからも状況を見て増やしていく可能性はあるんですか。

事務局：ステーションにつきましては、毎年度見直しをしております。

というのは、先ほど委員の方からありましたように、学校ですと、昼休みの時間帯が一番利用しやすいので、例えばその年の上半期は昼休みに行くとすると、3時ぐらいに行く学校もあるので、そこでの不公平感もありますので、下半期で入れ替えたりということもやっています。

あとは、1年間やってみて、ちょっとこの先利用が見込めないなというときには、そのステーションを廃止して新しいところを設ける、ということもありますので、それは半年ごととか1年ごとに必ず見直しをしています。

あと、もう一つ、今でも目一杯かということ、移動距離とか、時間とかそういうことをうまく組み合わせていけば、まだ少し入る余地はあるかなと思います

ので、そちらにつきましてもニーズ調査と合わせて、新しいステーションを発掘する。そういうこともしていきたいなどは考えております。

会長：はい。弾力的に運用してるってことですね。はい。お願いします。

委員：質問したかったことの答えを言ってくれました。

すごく増えましたよねいろいろ寄るところが。

これから増やすのかっていうことと、それから入替があるのかっていうことを、だから、これって多分おっしゃったのは、そのアンケートをとってそれに基づいてなされたっていうのは、すごくいいことだと思うんです。

そのアンケートをとって実態を掴んでからそこに行くっていうのが一番だと思うので、答えていただきました。分かりました。

会長：それでは他に、はいどうぞ。

委員：資料2の自動車図書館事業についてなんですけれども。

令和4年前期後期で70歳代の方の利用がぐんと増えていて、やっぱりこれは老人ホームが前期2か所、後期4か所増やしていらっしゃるからだなど。とても良いことだなと思ってます。

やっぱり、読書意欲の強い方がたくさんいらっしゃると思いますし、時間もたっぷりありますから、読みたいって思ってるニーズが高いと思うんですね。

つくば市内にはもっとたくさん老人ホームがあって、その施設の方の意識の高さっていうか、自動車図書館呼ぼうっていう意識の高いところと、そうでないところがあると思いますので、こちらから積極的にもっとアプローチして、一つでも多くの老人ホームに、自動車図書館が行けるようにしていただけたらなど。

会長：はい。今のに関連して、これ6歳までが、1,254冊。これ6歳未満っていうのは、子供と一緒に親が来るのですか。

事務局：保育所を巡回していますので、そこでの利用が入ってるかなと。

会長：保育所か。小さい子が自分で1人で歩いてくるっていうんじゃないかと。

事務局：保育所に行きますと、先生がちゃんとやってくれますので。園庭で貸し



出しをしますので、安全です。

会長：はいよろしいですか。

次に広域利用制度について、ご意見ございますか。ありませんか。

次、電子図書館の利用状況について。

委員：電子図書利用の状況についてちょっとびっくりしたことがあるんですけども、この表で高校生の16から18歳がほとんど無いっていうのは、中高年の方、30歳以降や中高年の方は、とても使ってるんだけど、学生特に高校生が非常に低いのは、かなり驚くぐらい低いんですが、これはどうしてなのでしょう。私逆に学生さんの方は使うのかなってちょっと思ってたものだから、「あらっ」てちょっと予想外だったんですよ。

会長：はい、お願いします。

事務局：ちょっと推測の域を出ないところではあるんですけども、前回の協議会の中でも、委員からやはりヤングアダルト世代の利用が少ない、図書館概要の統計を見ても、そういうご指摘がありましたように、もともとの図書館利用というのがその年代が少ないのかなというところがやはり、こういう便利な、中高生こそスマホとかを使いこなしている世代ではありますけれども、図書館からのアプローチということではちょっとやはり弱いのかなっていうところがあると思います。

委員：電子が入ると増えるかなって思ったんですけど、そうでもなかったから、ちょっとこれを見て、予想外に低かったのもっと使うかなと思っていたものですから。

事務局：広報というかそのアプローチの仕方、そのヤングアダルト世代のアプローチの仕方はもう少し工夫をしていかないといけないのかなというところもあります。

委員：ありがとうございました。

会長：つくば市内の高校に、ポスターを貼っているわけじゃないものね。せめてつくば市内の高校に、こういうことがあるんだ、やってるということで、ポス

ターでも依頼して張れば、また少しは違うかもしれないけど、情報も行ってないのかもしれないね。

委員：利用しやすいと思うんですけどね。

会長：子供たちの方でも大体、市報なんか読まないでしょうからね。

高校にでも直接アプローチする方法があれば、少しは違うかもしれない。

事務局：「ヨモッカ」もちょっとデザインを工夫しまして、電子図書館の紹介号は作ってあります。

会長：そういうのは高校にはいってないでしょ。高校にこう掲示して欲しいとお願いすればまた少しは違うかもしれない。

委員：大人ヨモッカを高校に置いてもらうのは、いい案ですよ。

これ（こどもヨモッカ）ではちょっと子ども向けすぎるけど、これはいい案ですね。

会長：そうですね。高校には図書室もあるので、そういうところへのアプローチを考えてみるといいかもしれない。

あと、私のなんてことない感想ですけど、電子図書なんていうと、つくばが一番早いのかなと思ったらそうじゃないんですね。

つくばは令和4年度でしょ、始まったのは。

ここの表の中では一番遅い方なんですね。

事務局：以前からご意見要望とかもありまして、準備は進めていたんですが、システムと連携させるために、令和4年の10月にシステムを入れ替えるというタイミングがもともと決まっていたので、そこまで引っ張ったというところは実際ございます。

既存のシステムってやっぱり改修とかかけるには費用がかかります、あと、万が一のそのトラブルっていうか、順調に動いていたシステムに手を加えるので、そういったところのトラブルも想定されましたので、であれば、システム自体は5年に一度入れ替えますので、そのタイミングで電子図書館を入れましょうということで、準備しておりましたので、近隣の自治体と比べてもちょっと

と遅くなってしまいました。

会長：そういう準備期間が必要だったということなんですね。分かりました。

それから最後ですが、コミュニティ棟での予約本貸し出し状況について委員さんの方からお願いいたします。なければいいですかね。

これは大分、時間もまだありますが、別の議題に行きましょう。

一つは、施設の改修が今着々と構想中であるということで、ついでには委員さん方からも、ご意見を聞いておきたいということですね。

館長はその前にありますか。

事務局：資料を用意していなくて口頭だけで申し訳ないんですけども、来年度のことを少しだけご案内させていただいてよろしいですか。

会長：お願いします。

事務局：はい。事業ということでもないの資料を作っていなかったんですけど、図書館の入口のところに大型のモニターを設置しまして、図書館の休館日のカレンダーであるとか、いろいろなイベントの情報などを流すようにいたしました。

あと、今日から観葉植物を置かせていただいて、少しでも居心地の良い空間を作ろうかということで取り組みました。

そのほか、学校開放のところなんですけれども、令和5年度、もう来月ですね、来月から、研究学園小学校と研究学園中学校が同じ敷地内に建物が並んで、開校いたします。

また、同じく4月から万博記念公園駅の近くに香取台小学校というところが開校いたします。

研究学園小学校につきましては、小学校の図書室を子供さんたちがお休みの日、基本土曜日、日曜日、祝日、なおかつ、中央図書館が開館している日に一般開放するというので計画しております。

図書室のほかに、家庭科室と多目的室、こちらも一般開放されます。

もう1か所香取台小学校につきましては、香取台小学校の敷地内に児童クラ

ブの建物が建設されました。

2階建てなんですけども、そのうちの1階の受付のところで、コミュニティ棟と同じ業務をやります。

予約の本の貸出し受取りですね。あとブックポストも置きますので、返却をしていただけるという形のサービスを始めます。

どちらのサービスにつきましても、開始時期につきましても、まだ確定はしておりません。

というのもやはり学校側としましては、まずは学校。小学校なので、その学校を、滞りなくスムーズに開校させるということが優先ですので、学校開放の一環でございますので、それにつきましても、学校の開校時期よりちょっと遅らせて始まるということです。

研究学園小学校については、年度の後半になってしまうかなというふうに見込んでおります。

香取台につきましても、準備が整い次第、できるだけ早く始めたいと思っております。

あと、コロナ対策なんですけれども、今現在、週明けからのマスクの着用については、各自の判断という形になりましたが、中央図書館と4交流センター図書室の対応としましては、職員については、引き続きマスクを着用して対応します。

あとカウンターにあるビニールカーテンは、もうしばらくは設置したままで対応しようかと思っております。

お客様、来館者の方につきましてももちろん、国の呼びかけにもありますように、マスク着用についてはその方のご判断ということで、そういった今まで貼ってあった掲示等も外したりしております。

あと最後に現在座席の間引きをしているところなんですけども、それにつきましても、徐々に以前の状態に戻す予定です。

開始時期につきましても4月に入ってしまうかもしれないんですが、座席の

間引きも以前の状態に戻すという形で予定しております。

あとチラシを1枚皆様のところにお配りして思うんですけども、「つくスマ」アプリっていうのはスマートフォンのですね、AndroidとかiPhoneとか、そのようなスマートフォンで使えるアプリを、つくば市で、去年の4月にリリースして運用しております。これがだんだんいろいろと見直しを重ねておりまして、図書館の方でも、ここに「マップ」ってあると思うんですが、こちらの機能を利用してまして自動車図書館のステーションの地図を掲載しましょうということで準備をしています。

新しいアプリケーションが出るのが、3月の末、30日を目安で出るそうなんですけど、それで新しいアプリをインストールしてから、自動車図書館のステーションの地図が見られるようになる形で進めております。

あとは、自動車図書館関係ですと、雨天とか悪天候のときに、運休したりするんですけども、そういう情報をつくスマのアプリを経由してお伝えしたりとか、そういうことで今のところ運用しています。

あと、「つくスマ」アプリの方で、図書館の利用カードをアプリの方で使える形で今進めております。テストバージョンで今試しているところなんですけども、実際、そのテストのやつを持ってきますので、皆さんで実際に見ていただいて、確認していただこうかなと思います。

—事務局が用意したテストバージョンとオリヒメの映像を確認—

委員：「オリヒメ」は人の声なんですね。

事務局：パイロットは遠くにいて、ロボットを遠隔操作するアバターロボットです。

委員：分かりました。どういうことかと思って

会長：先ほどインタビューされていたお母さんが言ってたんですけど、ロボットと思ったけど人の声が流れてきたんだ。

実際に人がそのロボットの向こう側にはいらっしやる。

委員：すごく不思議でしたね。読み聞かせを聞いたわけじゃないんですけど。図書館の入口で「いらっしやいませ」って言ってくださって、それで相手の方も私のことが「見えてますよ」って言って。

その横浜だったかどこかの方だったんですが、その女の方と、本当にこのロボットの形のこの中から、本当に声が聞こえて。

すごく何か不思議な初体験をして。

でも、「毎日ここにいるの」って言ったら、いえ、違うんですって、担当があって、もう私は後2分ぐらいで違う人になりますとかって言いながら、もうやりとりがこうできて、とても何か不思議な感覚でした。

委員：ペッパー君みたいなのかなってちょっと思ってたんですよね。ペッパー君って分かりますか。

事務局：ペッパー君とは違いますね。

委員：しゃべり方がああいう感じと違うんですね。

委員：ちゃんと喋っていました。私は横浜の人と大阪からの方と、2人経験したんですけど、読み聞かせをそのときにやってなかったんですけど。

実際にそのアバターを通して話しているご本人の姿も映像で見られましたし、よかったですよ。はじめ話し掛けられたときにちょっとびっくりしましたから、どこから声がしてるのってちょっと思って。

でもなんかすごく、何か通信の状態がいいっていうんですかね、すごくよく聞こえて、そのすごい感じで話のできたので、

事務局：障害者雇用という側面、そちらが強いですね。

ロボットを活用して障害者の方でもそれぞれ就労ができるというところで。

委員：あれだけの反応がもうスムーズに。私も本当図書館に行く用事だったので、すっと通るつもりが、結局そこで結構話しました。

事務局：今後の展開が楽しみです。

あと先ほど、「つくスマ」アプリで、今度、いわゆるプラスチックカードを

持ってこなくても、皆さんカードとかを忘れても今、スマホは必ず持つてくると思うので、そのスマホがあれば、カードを忘れたとしても、貸出ができますよということで、カードと併用するツールということで、実際の画面のイメージをご覧いただきました。

委員：もう4月からスタートするのですか。

事務局：はい。「つくカード」というところに、図書館のカードが入ります。

まだ試験段階のアプリじゃないと、開けないようになっていますが、一応カードの画面がこの3種類の中から選べるようになります。

委員：利用開始がいつになるかは、お知らせがありますか。

事務局：3月30日になったら、AppStoreとか、Googleからダウンロードできるようになります。それをダウンロードしてから、図書館のカードとして利用するために、一度窓口で確認をして利用設定をすれば使えるようになります。

そのときに3種類の画像がお好きなもので選べるというようなかたちになっております。

会長：はい。どうもありがとうございました。

事務局：それでは施設改修の件で、これまでと、今後のお話をさせていただきます。施設改修につきましては、五十嵐市長が2期目に立候補したときのマニフェストとして、市長公約事業として中央図書館の施設改修というのを挙げました。

当然、具体的にどこをどういうふうに改修するかというところまでは示しておりません。

ただベースとなりましたのは、会長にもご参加いただきました図書館懇話会で、「ふれあいライブラリーパーク」というような概念を出していただきましたので、それを実現するような形の改修ができないかということを示しはしております。

具体的にどこをどう改修するかというのは、市長の方からの指示としましては、市民の皆さんの意見を聞きながら丁寧に進めなさいという指示を受けてい

るところです。

これまでも、昨年の3月に図書館利用者アンケート調査をいたしまして、今年も今、行っている最中なんですけれども、その中で施設改修に関するご意見ということで、いろいろフリーに書いていただいたものがございました。

140数名の方からご意見をいただいたんですけれども、ちょっと資料を用意してなくて申し訳ないんですけども、トイレの改修であるとか、閲覧席を増やして欲しいとか、そもそも狭いとか、いろいろご意見いただいたところなんですけど、そういった形で丁寧にご意見を伺いながら進めていくということです。

目標としましては、令和6年度中に改修工事に着手できるといいかなというふうに見込んでおまして、令和5年度につきましてはその改修工事のための、設計業務、こちらの予算を計上しております。

来年度のそう遅くならない時期に改修の方針、具体的にどうするかというところを決めていきたいなと思っております。

先ほど申し上げた市民利用者の方からのアンケート調査を進めながら、そして何よりもこういった集まりの協議会がありますので、協議会委員の皆様から忌憚のないご意見をいただいて、実際どういうふうに、改修していくのか、どういうポイントでやっていくのか、方針、そういったものをまとめていきたいなと考えておりますので、本日、急遽会長にお願いしたところなんですけれども、フリーにご意見をいただけると、我々も今後の進め方というかですね、方針の策定にも進められると思いますので、ぜひそういったところで、本当に日頃から感じてらっしゃるところなどのご意見をいただければと思います。よろしくお願いたします。

会長：はい。あの、大きく、この部屋とか向こうに事務室ありますね。そういうところは改修対象ですか。

事務局：どういうふうに改修するかで予算を計上して獲得していくわけなんですけども。

あともう一つの問題としては、どれくらいの期間改修工事のために、休館が



できるか、許容範囲がどれくらいあるかというところもありまして。

1年休むと言ったら、いやそんなことまでして改修しなくていいよっていうご意見もあるかもしれませんが、いくつか他の市町村の事例を確認をしましたところ、浦安の図書館がうちより4・5年早く建ったところなんですけども、やはり30年超えて大規模改修をやりました。

1年4か月ぐらいかけて、20数億円かけてやったんですけども、浦安は中央館を閉めていても、代わりとなる施設があるのでそこで業務を続けられたというところがありました。

とはいえ、つくば市の場合は、中央館が例えば半年閉めるとなった場合のその半年間の代わりとなる施設が用意できないので、そんなに大規模なところはできないかなと思います。

会長：もう廃校とか休校になった学校なんか使ってもできないのでしょうか。

事務局：立地的なところですね。

あと、これは令和5年にも着手したいと思いますが、視聴覚コーナーのAVブース、ビデオを見るブースがあるんですけども、あそこの利用が、オープンした30年前と比較しまして、非常に少ないという状況もありますので、ブースの部分はちょっと縮小しまして、閲覧席を20数席増やそうかということで、これは令和5年度中に、早速やっていきたいと思います。

それは工事が伴うものではないので、机を新しく買った物を搬入するというレベルですので、特別に休館をする必要はないかなと思ってますので、それは早急に行いたいと思います。

委員：ちょっと基本的なことを聞いていいですか。

どの程度っていうか建物自体も、壊すのか、作り直すっていうところまでの規模なのかを考えてらっしゃるのか。そこまで考えていいのか。

今の建物の外枠はそのままにして、中を変えるのか、そういう話は出てますか。

事務局：昨年いただいたご意見の中では、例えば、天井が高いので2階建てにな

るんじゃないのかなというようなご意見もありましたし、スペースを増やせるかどうかというご意見もありました。

委員：今のスペースが基本で、その中でやっていくのか。

事務局：そうですね、申し訳ないですけど、レイアウト変更とかにとどまると思っています。

委員：レイアウト変更みたいな感じですか。

事務局：そうですね。

委員：私前々からちょっといろいろとと思ってたことがあって、この図書館ってスペースの割には蔵書、つまり基本的に図書館は本が一番大事なのに、本が置ける場所がすごく少なくて、何かこう、天井が高い、真ん中の変なガラス張りのあその木とか、はっきり言ってしまうと、何かこう、すごいガラスの割には、暗いところがある。

基本、本が主役なのに、何かすごくそこを見失ってるっていうか、そこじゃないところにすごく、もともと建物に、手をかけちゃってると思うので。

もし、建物をいじれないんであっても、レイアウトをいじるんだったらまずその基本に戻って欲しいっていうか、本をもっと、置けるようにする。

あと、明るくする。隅っこのほうまで明るくする。やっぱり本が見えないと、タイトルが見えないと、なかなか本って手に取りにくいので。

見通せるっていうか、そこを一番目指した方がいいんじゃないかなと前々から思ってるんですけど。

すごく、いろいろ図書館のもともとの機能のために使えないスペースがすごく多いフロアだと思うんです。

会長：本当は公園に面した辺りがいい雰囲気なので、ここにこの会議室とか事務室があるよりは、こういうところで外の風景見ながら読書ができるとか、そういう一番いい場所を事務室と会議室がとってる感じなんでね。本当はこの中央公園のこの雰囲気を、そっくりいただきながら図書館の環境があつたらいいなとは思うよね。

確かに暗いですもんね。あとは確かに当初は凝って作ったんだろうけれど、中庭が丸くこうやってる分、スペースが狭くなってるわけで。

そんなに楽しめるような中庭でもないし、そこも考えたほうがいいかもしれないね。

委員：可能かどうか分からないんですけど、木の植わってるあのスペースって本当にデッドスペースだと思うんですね。だからあそこも図書館に関連して使えると一番いいんですけど。外に何か壁を作ってまた別の部屋とか、ちょっと不便かもしれませんが、なんだかそこをもったいないと思うんですよ。

事務局：図書館懇話会でも、委員から、やっぱり中庭を活用した方が良いという意見がありました。直接、図書館のスペースから外に出られるような、オープンスペースで、例えば外だったら本当に飲食自由にするとかですね、そういう形の、それが「ふれあいライブラリーパーク」の概念っていうかですね、それに通じるころがあったので。中庭の活用と確かに委員からご意見が出てきました。

委員：今レイアウトの変更っていう話が出てましたけれども、大きな外枠を変えるっていうのは、図書館も閉館しなきゃいけないから大変だと思うんですけども、レイアウトは工夫次第でどうにでもなると思っていて、例えば土浦の図書館なんか、入ってすぐ、今おすすめの本とかが並んでいて魅力的だなって思うんですね。

また、都内荒川区の図書館は絵本に関して、先進的な取り組みをされているところだと知りました。ゆいの森あらかわという図書館です。見学に行かれたことはありますか？

事務局：だいぶ前に、7～8年前なんですけど、当館職員が視察に行ってます。

委員：そうなんですか。何か絵本大賞に選ばれた絵本のブースもあったりして、配架の仕方がとってもすてきなんですよね。いろんな工夫がされていて、もう大体絵本の表向きを置くように、背じゃなくて置くように、開架スペースがそれだけ必要だと思うんですけども。

だからいろんな図書館があるんだなと思って、ぜひまたこれからもいろんなところ見に行っていて、レイアウトの工夫とか活かしていただけたらと思います。

会長：改修だから、いろいろ制限があつて難しいところもあるでしょうけどね。

本当は全く何もなくて新しく図書館を建てたいね。それはもう無理でしょうからね。

一同：どうなんですかね

委員：やっぱり駐車場のことがあるので。駐車場は絶対必要だから、ベストはやっぱり全然違う広いところで、

会長：市長さんは、新しいところに駐車場も一緒に用意して建てようという考えはもう全くないのでしょうか。

事務局：明確に確認はしておりません。

ただ、つくば市全体で考えると、先ほど申しあげましたように、4月から3つの小学校中学校の開校があります。来年の4月には2つ、令和8年度には1つ小学校ということで、これはもう待ったなしのところですので、図書館の建設は優先順位からすると、ちょっと後ろの方なのかなと思うんですが。

ただ我々が待っているだけでは、市長からの、はい、図書館建てるから頼むよという話は多分出てこないと思うので。我々現場の人間がこういろいろと積み上げていって皆さんからのご意見も集約しながらこう上げていかないと、具体的にこうやるのは、やはり我々担当しているものかなとは思いますが。

そういった意味でも皆さんからもご意見いただいた上で、整理しながら進めていきたいと思えます。

会長：一番願うのは、新たな土地に新たな建物を大胆に作っていただければ一番いいかと、それは思うよね。

事務局：計画から完成まで大体10年ぐらいかかるみたいです。

私が何人かお話を聞いた館長さんがいるんですけど、本当に建てること決まったときから10年かかりましたって。

会長：そうすればここも休館しないでやっていけるわけだからね。

本当は住民サービスの最たるものとしてそういう構想に立ってくれるとい  
いんだけどね。

委員：これに関連したお話ですけど、私のお友達が家をリフォームされたん  
です。お父様お母様からの家をリフォームされたんですけど、壁の色を変えた  
だけで全然明るさが違って、印象が違うんですね。

だからできないことはもうできないにしても、そのちょっとした壁の色で  
すとかレイアウトで全然広さ、印象、おしゃれな感じが全く変わりますから。

そのデザイナーの方の選定が結構大事かなって、やっぱり思うんですね。

お花模様のをちょっと上に施すだけでもおしゃれなヨーロッパ風にな  
ったり、或いは白いところにちょっとアートの絵を書くだけですごく可愛ら  
しくなったりするので、そういうことだけでも子供のスペースの明るさとか華  
やかさが変わってきますから。

無理にできないものはしょうがないけれども、そういったことの工夫とか、  
あと選定業者さんのセンスのいい、例えば筑波大の芸専の人とか、そういう人  
にちょっと何か募集するとか、手伝ってもらおうとか。

そういうことで市民も参加してっていうのも、もしかして一つの手かもしれ  
ないなっていうのは一つ思っています。

実は先月私、石岡中央図書館と、常総図書館の方からお招きされて、ボラン  
ティアの朗読の方のための朗読講師のお仕事で、そちらの図書館からご指名を  
受けて行ってきました。

そちらの図書館行ったら常総図書館は初めて行ったんですけどすごく綺麗  
だったんですね。

子供のコーナーでよかったなと思うのが2点あって、一つは、列車のような  
もののところに、見やすいように縦に本があって、子供たちがこういうふう  
に抜けるように置いてあって、それは紙芝居だったかな。列車の中も下からこ  
う子供たちが縦に抜ける、こうやって見られるようになったら、こう抜くんじやな

くて、こうやって抜くのがあってそれが列車の形になってたのがすごくかわいらしかったのが1点と。

メダルをつけて微笑んでいる子供たちの写真が二、三十枚あって、これ何の写真ですかって言ったら、図書館の読み聞かせに来てくれた人たちに、毎回スタンプを押していて、20個たまったらメダルと写真をこうやっていて、結構それが今人気なんですって言ってたんですね。

それ多分私、何年か前もこちらにご提案したかなと思うんですけど、そのスタンプ、みんなもスタンプ集めて、聞きに来てね、スタンプ集めてメダルもらおう、なんて言って、結構それが人気だっていうので、そういうのもいいかな、集客っていう意味では一つのちょっとポイントかなと思いました。

あとやっぱり全体的に色が白い。中が白くて、木も明るい色の木を使ったと思うんですけど非常に明るい図書館で、清潔感があっていいなっていうのと、あともう一つ、幼稚園教諭か保育出身の人がいるのかなと思うんだけど、壁面アートっていうか、そういう季節の折り紙みたいなちょっとしたかわいいものでウェルカムフロアみたいなのがすごくかわいらしくアートしてたので、そういうのもすごくいいなって思ったんですね。

それともう一つ、私、講師だったからこれをもらったんですけど。これは常総図書館で作ったバックで、職員さんがデザインして、Gパンの生地で作っていて、すごく丈夫で便利なんです。この常総図書館40周年のバックなんですけど、これ、市民の方が結構持って来ていて、これに借りた本を入れている様子がすごく良くて。

私もすごく便利なので、中央図書館にまでこれを持ってきているんですけど。なんかこういうので、図書館のキャラクターのぶんちゃんがいたらな、とかちょっと思ったりするんですけど。私の朗読の勉強会に参加してくれた方には全員これを無料でくださったんですけど、すごくこれが、よかった。

「暮らしに読書の喜びを」って「常総シティライブラリー40周年」って書いてあるんですけど、予算もありますけどちょっとした工夫で集客したりでき

たらいいかなって思うのと、中庭は実は、みんなそんなにいないスペースだ  
って思ってたんだって私知らなくて。

私は、中庭の横のところの椅子に座って本を読むのが結構好きだったので、  
だから何かなんかもうちよっという形で、中庭を残しながらも利用できるとい  
いかな。

自然の中にある図書館っていうのが私は好きなので。

それも無駄というよりは、何かいい感じの特徴の一つにできたらと思うの  
と、屋根が高いのはロフトか何かにすると、秘密基地みたいな感じだったり、  
安全な形でロフトとか作るとまたそこも、特長だったり人気コーナーだったり  
スペースになるかなって思うので、できないことはしょうがないから、何かち  
よっという工夫されたらどうかなってファンとしては思います。

できれば、図書館のキャラクターぶんちゃんのバックを作ってもらいたいん  
ですね。

事務局：ロフトの話が出ましたが、以前、今の中央図書館に、例えば2階を作る  
とかできないかなということで、ここの基礎の強度を調査したところ、基礎は  
そこまでの強度を持っていないということでした。

委員：そうなんですか。

事務局：私も素人考えで、天井は高いし柱に梁を渡せば建てられるんじゃないか  
なと思ったら、基礎自体が耐えられないという調査結果が出た、ということ  
を聞きました。

正式な調査書は見てないですけど、そういうことがありました。

あと、常総市の図書館は、もしかすると例の水害のときに床上数十センチく  
らい浸水しちゃったので、そのタイミングでリフォームしたのかなと思いま  
す。

委員：かなり明るくて綺麗だった。だから視察に行くんだったら、小さいん  
ですけど、とってもレイアウトもよかったの。

会長：西武の跡地の話も、やっぱり図書に耐えられないってことで駄目に

なったんでしたよね。

事務局：それもあります。ただ実は、4月に千葉県の富津市がイオンの3階に、図書館を作っていて、もうほぼほぼ本の搬入なんかは終わりましたが、知り合いの職員が富津市にいたので、図書館のこと教えて欲しいということで情報提供したことあったんですけど、すごくいい感じで仕上がっています。

会長：これすごい。分館じゃなくて、ちゃんとした本館を全部イオンへ？

事務局：実は富津市には図書館がなかったんです。

写真だけしかまだ見てないんですけど、非常にいい感じですよ。デパートだと、窓がないんですよ。

どうしても閉鎖的になるんですけど、照明とかで非常に工夫をされていて。あと書架の高さも140センチか150センチぐらいの背の低い書架なんですね。スチールで向こうが見渡せる、非常に開放感もある。

そんなに広い面積ではないんですけど、工夫次第で、西武のところももしかすると、うまくいったのかなっていうところはあるんですけど。

会長：土浦のアルカスなんか見てると、そんな頑丈に作ってる感じじゃないけどね。鉄骨やガラスの造りだけど、基礎とかも基準をクリアしているのじゃないかな。

事務局：もちろんそうだと思うんですけど、最初から図書館として設計していますからね。

会長：やっぱり楽しげには作られているね。ブリッジ風になって、そこで本なんか読んでいる。おんなじスペースじゃなくて個人席があったりして、ガラス張りの中で。

私、用があって月に1回位アルカスに行ってるんだけど、やっぱりみんな気分良さにやってるね。勉強している人も多いけれども、大体いつ行っても席が満杯だね。

事務局：高校が多いですからね。高校と連携して文化祭みたいなものを図書館でやったんですね。いろんな高校の生徒達が集まって。

会長：以前協議会で視察に行きましたね。アルカスにね。



あの時アルカスの館長、副館長に、随分良い図書館ができたけれども、更に願うとすればどういふことがありますかと聞いたら、カフェを作りたかったって言っていました。

あれは土浦の財源だけでやってやったんじゃないでしょうからね。

事務局：多分いろんな補助金とか交付金とかそういうものを活用しているのかなと思うんですね。

会長：これつくばで今度やるときには、つくばの財源でしかやれないんですよ。

事務局：その辺ちょっとまだ調べはついてないんですが、いろいろ探せば活用できるものがあるかなと思うんですね。

会長：そうですか。

事務局：あとは、直接市が建てて、市がずっと直営でやるっていうやり方ではなくて、例えば20年以上前ですかね、三重県の桑名市ではPFI事業といいまして、建物も、あと向こう30年間の運営も民間がやるということで、指定管理に似た形なんですけど、建物を建てるどころから民間がやっていたっていうところもあります。

よく児童クラブだと、公設公営とか公設民営とかありますけども、そういういろんな織り交ぜたやり方も、あるのかなと思うんですが、そこはちょっとまだ我々も研究を進めてないので。

会長：我々も、そんなにいっぱい図書館を見ているわけじゃないから、知恵が出てこない。委員さんは違うんでしょうけど。先進的な図書館を見ておく必要があるかな。一斉に見に行くって大変だから個別に見てくるってことだろうが、いつ頃までにそういう要望的な話は聞いてもらえるんでしょうね。

事務局：そうしましたらあまり時間的な余裕がないところではあるんですけど、まずはユーザー目線での、ご意見をたくさんいただくとありがたいかなと思います。

委員：以前に懇話会をやっていた頃だったか、例えばこの外でね、お茶を飲みながら或いは究極はビールを飲みながら本が読める図書館みたいな話も中から

出ている、この外でそんなふうにする場所を用意して、今レストランとかでも、テラス席って言って、ペットと食事できますよみたいなお店がとても増えてるんですけども、結局セットじゃないんですけども、そんなふうにして外で読書しながらちょっと風を感じながらね、過ごせる場所。

そうすると、親子で小さい子を連れてきた方なんかも、中よりも外の方がやっぱりお子さんの声とかね、そういったことを気にしないでね、過ごせるのかなっていうふうに思いますと、何かそういった工夫ができないかなって。

庇のようなものをやっぱり作って、かなり天候に左右されてしまうので。

何しろ紙ですから、本ですから、どうかなとは思いますがけれども。

外でも座って読書していてもいいっていうふうな、そういうスペースがね、何かできないかしらっていうふうには思うんですね。

なんかとてもいい場所にありますから。

もちろん本を無断で持ち出すとかねそういうことができないようにする、よくお店なんかでこう通るあれがありますよね、そんな工夫が必要だと思います。

土浦の場合にはすごくやっぱり座ってね、何かお話ししたり本が読めるお部屋とか、場所がたくさんあるなっていうのは、すごく印象に残っているんで、そこまで同じぐらいたくさんっていうことではなくて、ここの環境の中で、できるようなこう、でも過ごせる場所をふやすっていうことが、できたら嬉しいなと思います。

会長：ライブラリーパーク構想は、懇話会でも出てきましたもんね。だから、できるだけ中央公園を活かしながらってそれはもう考えてるわけですよね。ここ改修するに当たって。

だからこっち（西側）は向こう（中央公園側）に出入りしやすく作らないとね。

公園と、館内を行ったり来たりがしやすく。それは当然考えるんですが、もしここを改修するときはね。

事務局：懇話会の時も、1階の子供コーナーからその公園側に出られて、例えば、ウッドデッキがあって、庇・オーニングでもいいですし、そうすると今、西日対応でブラインドを閉めちゃっていますが、ブラインドを閉めなければ公園も見えるし、借景がですねここにこれだけあるので、こういうロケーションってなかなかないので、もったいないねっていうのはありました。

委員：せっかく公園がありますからね

事務局：この敷地がですね、この西側の植え込み部分までが図書館ですが、この前計ったら奥行き1.8メートルしかないです。

委員：いいね、いいね。見る分には何メートル向こうまでが自分のだと

委員：無いより良いですよ。

事務局：そうですね。

会長：公園も市のものでしょうから、県のものじゃないでしょ。

だから市の方でうまく話がつけば、向こうの方まで出っ張ったって、できないわけではないかもしれないね。

事務局：ただそこに道路が走っています。ここは、道路扱いです。このペデストリアンデッキがですね。

委員：すいませんいいですか。

会長：はい。

委員：本とかだけじゃなくて、視聴覚教材、教材って言っていいのかしら。視聴覚のものがありませんよね。音楽のCDとか、それから映画とか。

ああいうものは、とてもお値段が高いと思うので、あるものを利用して、例えばCDのコンサートにするとか、その映画を見られるような、視聴覚教材を見る鑑賞会みたいなのは施設内に、どうなのかなって思ったりしてるんですけど、どうなんでしょう。

事務局：視聴覚資料に限らずですね、すべての著作物には著作権があります。

例えば当館で貸出用に用意しているDVDを、アルスホールで子供たちを集めて、アニメのDVDを流して映画会やりましょうっていうのは、許可にならな

いので使えないんです。

上映の許可まで取った、いわゆる購入金額が少し高くなるんですけども、そういったものでないと上映はできない。

委員：せっかくあるのに、もっとう、一般的にこう見ていただけるような機会が増えると。

ただ先ほど、16歳から18歳の方たちが本をっていうのは少ないようなお話もあったので、ここへとにかく来てもらったりしたら、きっかけに使えないんだろうかと。

それからせっかくあるものなので、もっと広く、鑑賞できるような状態になるっていうのはどうなのかなって思いました。

それからもう一つなんですけど、ここの中央図書館の施設ではなくて、交流センターにも図書がありますよね。ただ各交流センターの図書って、図書室って言われる、その、中央図書館の分室のような交流センターの図書室がありますけど、そうじゃなくって、一般的な交流センターで図書が置いてあるのは、図書コーナーになっていて、それで、隅っこだったり、通路のところだったりして、本があるんだけど、本をゆっくり読めるっていうような感じのところじゃないと思うんですよね。

なので、管轄が違ったりするのかなとは思いますが、広い意味でいうと、そういうところの図書コーナーをもう少し充実させるような風を持っていけないものなのかなと思っているんですけど。

図書コーナーを図書室、という形にして、もっとみんなが図書に親しめるみたいな、そういうことっていうのは、できないのかなと思ってるんですけど。管轄違いなんですか。

事務局：おっしゃるとおり管轄が違うんですね。

交流センターにつきましては、市民部になります。交流センターになる前は、公民館と呼んでおりました。その当時は教育委員会の部局で管理していたんですけども、平成20年でしたか、教育委員会の業務が市長部局でも補助執行が

できる法律の改正がありまして、そのタイミングでつくば市も交流センターと名称を変えて、管轄も市民部にしたという経緯がありまして、図書室も教育委員会部局としては、管轄外になってしまいました。

スペースもそうなんですけど予算が十分ではなく、ただその中でも工夫して新しい本は入れるようにしているようです。

あと、少し話が飛躍してしまうかもしれないんですけど、4交流センター以外の図書室の充実というのがありますが、あと我々としては学校図書室ともっと連携を深めていきたいです。

ヤングアダルト世代もやっぱり、小学生のうちから、もう身近に本があり、なくてはならないものになるぐらいのですね、そういう意識付けというかですね、そういうのも、連携を深めて、やっていかなくちやいけないのかなってのは、常々課題として認識しております。

委員：ちょっと荒技かもしれないんですけど、ご存知だと思っんですけど、絵本作家の赤木かん子さんっていう方が、図書館改造っていうのをいろんな図書館とか学校でやってるんですよね。

あれがすごく、私面白いなって興味があって、つくばでそれを、赤木かんさんが来て改造しますとかいうと、話題にもなるし面白いかなと思うんですけど、そんなことっていうのは、ちょっと無謀なんですか。

事務局：たしか30年くらい前に来てもらったことがあります。

いろいろお話をしてもらいました。

会長：委員の皆さんもこれからできるだけいろんな図書館を体験して、何か要望をできることがあったら、これからもしていくという、その通りになるならいいはともかくとしてね、心がけていきましょう。

我々の頭の中にあんまり図書館のいろんなイメージがわからないので。

最後に視察ですね。研究学園小学校を希望者で見学にいきましょう。

3月27日午後2時コミュニティ棟前集合で。

あと、昨日、市の別な委員会に出てましたら、委員会のあり方を少し考えた

らいいだろうという意見が出てまして。

この図書館協議会も、図書館法に基づいて場を持っているわけでしょうけども、私もどのようにやるのがいいのか、他の市町村の協議会って出たことないので、ここしかわからないので。

皆さん委員として、こんなふうに行ったらいいとか、協議会出てもさっぱりやりがいがないよとか、生きがいがないというのであれば、こういうふうな会議を持ってくれたらいいなっていうのは、変えていきましょう。

今突然で申し訳ないんですが、せっかく集まるんだから。

ここの協議会にしてくれということがあれば、

委員：今ちょうどヤングアダルトの利用が少ないということで、この協議会に、例えばですけど筑波大生を1人2人来ていただいて、若い意見を取り入れるっていうのはどうでしょうか。

会長：委員にですか。

委員：委員じゃなくても、ゲストパーソンみたいな意見をいう人みたいな、若い人の斬新な意見を取り入れてはどうでしょうか。

会長：図書館情報大（現：筑波大学図書館情報メディア系）もありますしね。

館長さんそういう意見がありましたけど。

事務局：ちょっと検討させていただきます。

会長：今度やるけれども、もしよかったら、見に行きませんか、っていう程度の感じですかね。

事務局：毎週土曜日とかのお話会を各ボランティアさんにやっていたいでいるんですけども、そのうち筑波大学のストーリーテリング研究会の学生さんにも受け持っていていただいているので、まずそういうところですかね。

あとは懇話会の会長だった呑海先生とかにお願いして、そういった学生さんに声かけていただくとか。

筑波大とも直接、図書館同士の連携協定も結んでいて、繋がりありますので、お声掛けとかはできると思います。

会長：あとは、たまに呑海先生に来てもらって話を聞くなんてことも面白いと思う。

事務局：交渉はできるのでしていきます。

会長：あの、図書館懇話会のことは、懇話会の委員は少し聞いて知ってるけど、図書館協議会のメンバーは誰も委員だったわけじゃないから、改めて呑海先生に、どういう構想なのということを皆さんから聞いてみると良いと思う。協議会研修会みたいなものができますかね。

事務局：すいません。いろいろ確認してからのお返事でよろしいですか。

会長：はい。お願いします。

委員：はい。ちょっと二つほどありまして、一つは今、会長さんがおっしゃったような、アイデアというのは特には浮かばないんですね。いつもこちらに参加すると、前に課題になっていたり、委員から意見が出たことを本当に形にしてくださってる。

一生懸命皆さんで考えて形にして、ちゃんと前進をされてるっていうことに、次の回出たときに驚かされたり、感心をしているということで、それでまた、ここに来てお話を聞きたいなというのが強いんですけれども。

そういったような、委員が自由に意見を言えて、その中でやはり取り上げるべきところは取り上げて、形にして進めてくださってるっていう今の形は、私はかなりいいのかなっていうふうに思います。

それは図書館の皆さんが館長さんはじめ、前向きに本当に取り組んでらっしゃるっていうことだからいいんだと思うんですけれども、協議会自体を何か新しくっていうのは、ちょっと今正直浮かばないっていうのがあります。

あとごめんなさいちょっと話それてしまうんですけれども、このヨモッカとか、こういったものを、高校にちょっと掲示していただいたらどうかという意見が出ましたが、たまたまこの後ろのページに進学教室という広告が入っているんですね。

だから、高校生なんかだって意外と塾で、民間なんだけど掲示をしていただ

けるんだったら、塾に行ってる率っていうのは相当高いのかなと思うんです。

だから高校だけじゃなくて、そういった場所でもちょっと掲示なり何なりをお願いしてみるっていうのも一つかなというふうに思います。

会長：ほかにありますか。

今回は残り 30 分フリートークの時間を設けてみました。

その中で、協議会の持ち方について今までの方法をそのまま踏襲するということと、そのほか研修なんかも考えてみましようかという意見がありました。

視察も旅費とか出ませんけれども、できれば行ってみようかと。

とりあえず一番近い視察は、研究学園小学校ですが、しっかり見ていきましょう。時間ですので館長さん、最後に何かありますか。

事務局：長時間にわたりましてご審議ありがとうございました。最後にご提案なのですが、時期的なところもあって、今日ご欠席の委員さんがいらっしゃったりとか、なかなか全員そろって難しいというのは承知しているんですけども、例えばなんですけど、来年度の開催は 2 回予定しておりますので、年度初めに、2 回の日をちを決めてしまうというのはいかがでしょうか。

あまり先のことだとちょっと決められないっていうのもあるかもしれないですけども。そのほうが皆さんそれぞれの計画というかですね、我々も日ごちの調整をするのは、出遅れてしまっているところがあって本当に申し訳ないんですけども、そのような形で決めるっていうのはいかがかなと思ひまして、ご提案なんです。

会長：みなさん 1 年分のスケジュール。見通せますか。大丈夫ですか。

事務局：絶対駄目な時期とかですね、

委員：私は結構フリーなので、何とかなるかなと思うんですが、多分、曜日を変えて設定していただいた方が。

曜日が同じ曜日だとその曜日がちょっとっていう方が出てくるかもしれないので、違う曜日で設定されたら、何とか合わせようっていうふうになるかなって思います。



会長：1年先のスケジュールってなかなか微妙かもしれないけど。

やってみてそこに決めちゃうと、もう動きとれなくなっちゃうねえ。

近くに入って何か別のスケジュールとどうだろうな。

事務局：今、1か月ぐらい前には決めたいなというふうに思ってるんですけど、

もうちょっと早めに調整の方をしたほうが良いと思います。

会長：3か月ぐらい前なら何とかなるよ

事務局：2か月前ぐらいではどうでしょうか

委員：2か月前くらいかな

会長：1年前ではきっと難しいかもしれないな。

事務局：わかりやすく何月何日とか、決めちゃったほうがいいのかかとちょっと

思ったんですけど。

2か月ほど前から皆様のご予定を伺いながら調整していくということで。

あと、研究学園小学校図書室の見学ですが、27日の月曜日14時、可能だそう  
です。27日の14時に本庁舎のコミュニティ棟の入口で、お集まりいただき、  
できるだけ乗り合わせていくという形をお願いします。

会長：以上で図書館協議会を終わりにします。お疲れ様でした。

一同：お疲れ様でした。

以上

## 令和 4 年度事業経過報告（事業・業務予定表）

つくば市立中央図書館

月	業 務			
	管理係	サービス係	広 報	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> <li>・文書ファイリング（通年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度利用統計集計業務</li> <li>・選書、発注、受入れ（通年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出、相互貸借、インターネット予約による遠隔地貸出サービス（ぶつくびん）、図書返却事業（通年）</li> <li>・出前講座（通年）</li> <li>・館内見学、職場体験受入れ（通年）</li> <li>・不用図書の選定、梱包（通年）</li> <li>・パスファインダー作成配布（通年）</li> <li>・図書館カレンダー作成配布（通年）</li> <li>・【展示テーマ】 3～5月：つくば地政学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ掲載（随時）</li> <li>・「広報つくば」掲載（毎月） 図書館カレンダー おはなし会 おはなしぶんぶん（8月を除く）</li> <li>・「広報つくば」4月号掲載 自動車図書館巡回日程表（前期） <b>自動車図書館新規導入</b></li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞廃棄（廃棄年度3・4月分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校等新入生新規カード作成</li> <li>・インターンシップ受入決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」5月号掲載 図書館協議会市民委員募集</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・【展示テーマ】 6～8月：YA！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」6月号掲載 おはなしボランティア公演（人形劇）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞廃棄（廃棄年度5・6月分）</li> <li>・「本が泣いています」展示（27日～8月30日）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」7月号掲載 おはなしボランティア公演（パネルシアター）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> <li>・「つくば市の図書館概要」発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>広域利用開始（下妻市、土浦市）（2日～）</b></li> <li>・学校訪問ブックトーク希望校募集・準備</li> <li>・中学生職場体験受入れ（3校）</li> <li>・本のふくぶくろ実施（6・7日）</li> <li>・インターンシップ受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」8月号掲載</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> <li>・第1回図書館協議会（1日）</li> <li>・<b>認知症啓発活動（14日、エントランスホール）</b></li> <li>・茨城県立図書館出前講座 読み聞かせ研修講座「読み聞かせのための声と話し方」（17日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞廃棄（廃棄年度7・8月分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【展示テーマ】 9～11月：冒険</li> <li>・各ステーションへ自動車図書館後期日程通知</li> <li>・公共施設向け不要図書リサイクル事業（6日）</li> <li>・図書館システム更新に伴う休館（20日～10月3日）</li> <li>・中央図書館蔵書点検（27～30日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」9月号掲載 図書館雑誌スポンサー募集 図書館システム更新に伴う休館</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>電子図書館サービス開始（4日～）</b></li> <li>・<b>WEB利用パスワード発行の年齢制限撤廃（4日～）</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問ブックトーク（～12月）</li> <li>・<b>つくば市役所コミュニティ棟における予約本貸出開始（4日～）</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」10月号掲載 自動車図書館巡回日程表（後期）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞廃棄（廃棄年度9・10月分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度自動車図書館巡回コース及び日程検討</li> <li>・<b>オータムフェア自動車図書館出展（6日）</b></li> <li>・つくば科学フェスティバル出展（12日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」11月号掲載 ぬいぐるみたちのおとまり会 <b>つくば市電子図書館サービスの開始</b></li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こどもヨモッカ」第17号発行、小学校配布（1日）</li> <li>・次年度購入雑誌検討（～3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【展示テーマ】 12～3月：AI ↔ 電脳生活</li> <li>・次年度インターンシップ受入れ決定</li> <li>・ぬいぐるみたちのおとまり会（16・17日）</li> <li>・年末年始休館に伴う特別貸出広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」12月号掲載 年末年始の業務取扱い</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> <li>・<b>荷物自動搬送ロボット実証実験協力（24～28日、ペDESTリアンデッキ上で返却本を預かり図書館へ自動搬送）</b></li> <li>・次年度会計年度任用職員募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞廃棄（廃棄年度11・12月分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>荷物自動搬送ロボット実証実験協力（24～28日、ペDESTリアンデッキ上で返却本を預かり図書館へ自動搬送）</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」1月号掲載 特別館内整理に伴う休館</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> <li>・次年度会計年度任用職員選考</li> <li>・<b>遠隔ロボット（オリヒメ）実証実験協力（14～28日、遠隔操作による絵本読み聞かせ・駐車券無料化案内）</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌配架場所変更</li> <li>・「ヨモッカ」第18号発行、区会回覧（1日）</li> <li>・次年度雑誌スポンサー募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別整理期間（7～10日）</li> <li>・4交流センター図書室蔵書点検実施（7～10日）</li> <li>・公共施設向け不要図書リサイクル事業（9日）</li> <li>・<b>遠隔ロボット（オリヒメ）実証実験協力（14～28日、遠隔操作による絵本読み聞かせ・駐車券無料化案内）</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」2月号掲載 2023年度会計年度任用職員募集 2023年度雑誌スポンサー募集</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス協議会</li> <li>・利用者満足度調査実施</li> <li>・<b>市ホームページリニューアルに伴う図書館ホームページ変更（1日）</b></li> <li>・第2回図書館協議会（16日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞廃棄（廃棄年度1・2月分）</li> <li>・次年度資料費配分決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファーストブック講座募集・実施（19・25日）</li> <li>・小学校等新入生新規カード作成、取りまとめ通知</li> <li>・各ステーションへ令和5年度自動車図書館前期日程通知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報つくば」3月号掲載 <b>佐藤国男版画展</b> ファーストブック講座 2023年度図書館ボランティア募集</li> </ul>

## 令和4年度図書館情報システムの更新に伴うサービス変更について

令和4年（2022年）10月4日に図書館情報システムを更新したことに伴い、以下のとおりサービスを開始・変更いたしました。

### （1）つくば市電子図書館サービスの開始

電子図書館サービスは、インターネット上の電子図書館にアクセスすることにより、図書館に直接来館することなく、自宅や外出先などから、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができるサービスです。拡大・縮小したり、音声で読み上げを行うことができます。

#### ア 利用できる方

つくば市に在住・在勤・在学で利用カードをお持ちの方  
（広域利用の方は利用できません。）

#### イ 貸出点数及び期間

貸出点数： 2点まで

貸出期間： 14日間

貸出期間延長：1回まで14日間（予約がない場合のみ可）

予約点数： 2点まで

予約取置期間：7日間

### （2）市役所コミュニティ棟における予約本の受け取りを開始

インターネットからの予約申込みに限り、受取館を「市役所コミュニティ棟」に指定することにより、つくば市役所本庁舎のコミュニティ棟1階事務室で受け取ることができるようになりました。

受取可能日時は、中央図書館の開館日・開館時間中です。

### （3）パスワード発行の年齢制限を撤廃

0歳からインターネットサービス（蔵書検索・予約、利用状況参照、電子図書館など）が利用できるようになりました。

小学生以下のやパスワード未登録の方には、令和4年10月4日に仮パスワード（生年月日の数字8桁）を自動で発行しました。仮パスワードの有効期間内に本パスワードへの変更が必要です。仮パスワードでは電子図書館へのログインはできません。

(4) リマインドメールの送信

返却期限日の前日午前9時にリマインドメールが送信されるようになりました。

リマインドメールは、メールアドレスを登録すると、自動的に返却期限日を知らせるメールが送られてくるものです

(5) 予約可能冊数の変更

予約可能冊数が、窓口、館内検索機及びインターネット合わせて1人10冊までとなりました。これとは別に、リクエストと相互貸借のお申込みができます。

(6) 交流センター図書室のみ所蔵の資料をインターネットから予約可能に

交流センター図書室のみ所蔵している資料を他館・室で受け取る場合に、窓口だけではなくインターネットからも予約申込みできるようになりました。

(7) 予約連絡の順番を変更

上下巻ある本やシリーズものの本にまとめて予約が入った場合、巻の順番に関係なく用意できた順番に連絡するように変更しました。

(8) 予約取消の履歴の保存

取り消した予約情報が履歴として2か月間残るようになりました。

(9) 自動車図書館業務における機能拡充

これまで自動車図書館業務で使用する図書館情報システムで制限されていた、現地での返却処理及び資料・利用者の検索が可能になりました。(利用者が多いステーションは除く)

## 自動車図書館事業について

資料2

### ○令和4年度に追加したステーション

前期： 老人ホーム2か所（老人ホームいちょうの木、流星台ケアセンターそよ風）

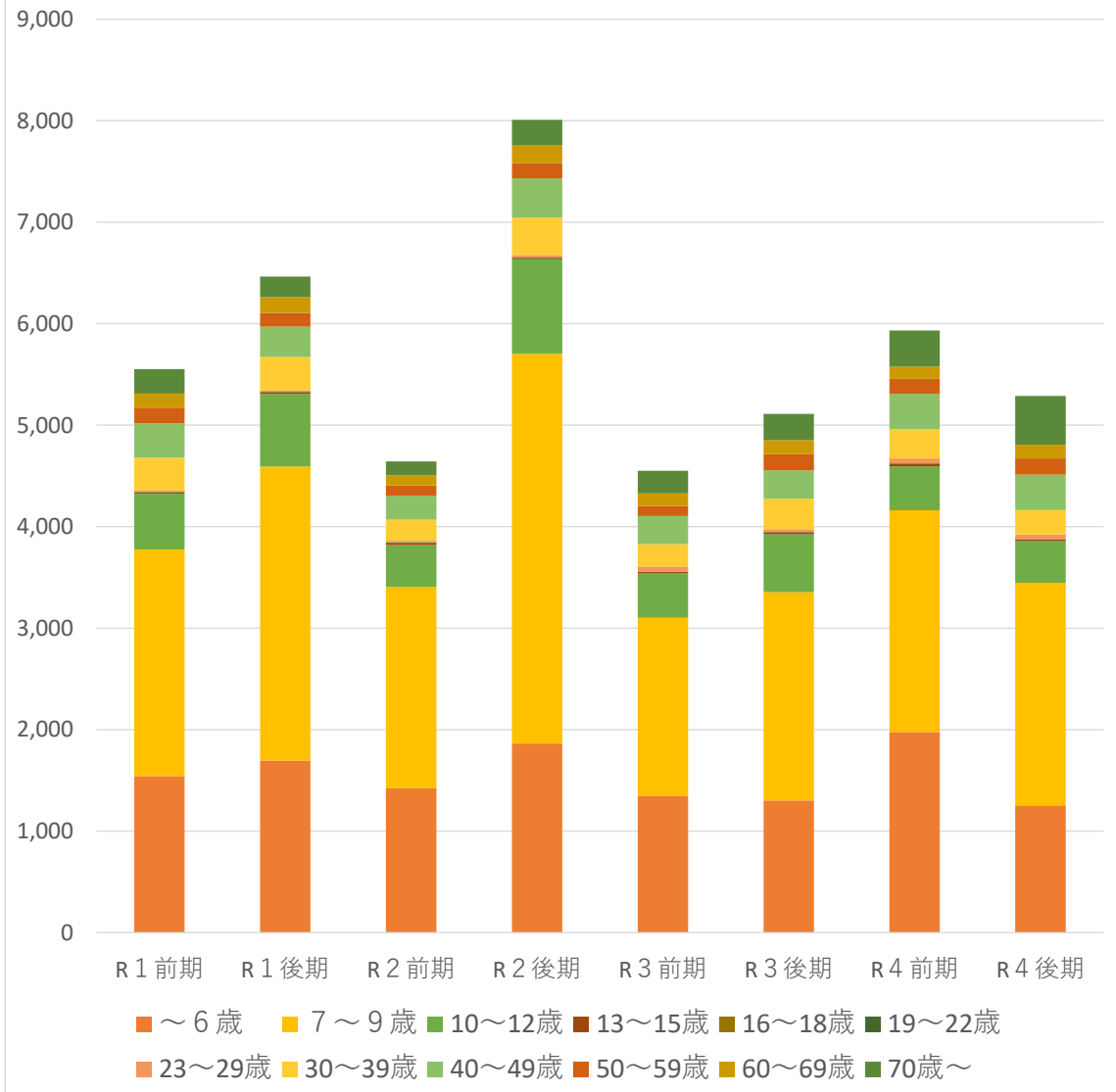
後期： 老人ホーム4か所（アイリスコート、トレランス田村、つくばの杜、らいふつくば花畑）

### ○自動車図書館年代別貸出人数

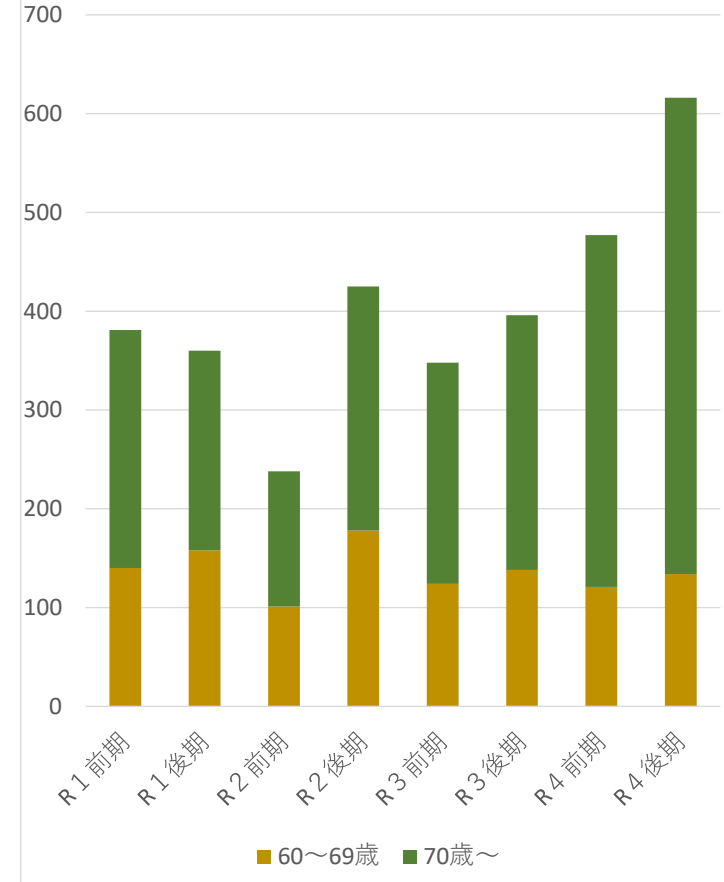
前期：4～9月、後期：10～3月

	～6歳	7～9歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	合計	ステーション数	備考
R1 前期	1,542	2,232	548	14	2	4	14	325	337	153	140	241	5,552	47	
R1 後期	1,694	2,898	715	13	2	5	17	327	300	134	158	202	6,465	47	
R2 前期	1,421	1,984	414	14	3	10	14	209	237	98	101	137	4,642	47	2020/4/4,4/5, 4/8～5/17運休
R2 後期	1,862	3,842	931	10	0	7	25	369	386	151	178	247	8,008	47	
R3 前期	1,345	1,757	442	11	1	2	48	222	277	98	124	224	4,551	48	2021/8/18～9/23運休
R3 後期	1,302	2,053	568	19	2	9	22	300	279	160	138	258	5,110	48	
R4 前期	1,976	2,185	433	25	1	4	47	290	347	148	121	356	5,933	50	
R4 後期	1,254	2,193	410	16	3	1	46	241	348	160	134	482	5,288	54	2023/2/28まで

自動車図書館貸出人数推移



自動車図書館貸出人数推移（高齢者）



## 令和4年度広域利用状況

資料3

広域利用サービス開始：令和4年（2022年）8月2日

### ○月別登録者数及び貸出状況

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
登録者数	下妻市	10	1	1	0	1	0	2	15
	土浦市	9	6	9	7	5	4	0	40
貸出人数		8	13	19	17	19	16	6	98
貸出冊数		22	41	70	51	59	72	22	337

### ○年代別登録者数

	6歳以下	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
登録者数	0	1	0	0	5	8	5	4	14	18	55

# 電子図書館利用状況

資料4-1

サービス開始：令和4年（2022年）10月4日

## ○月別貸出回数

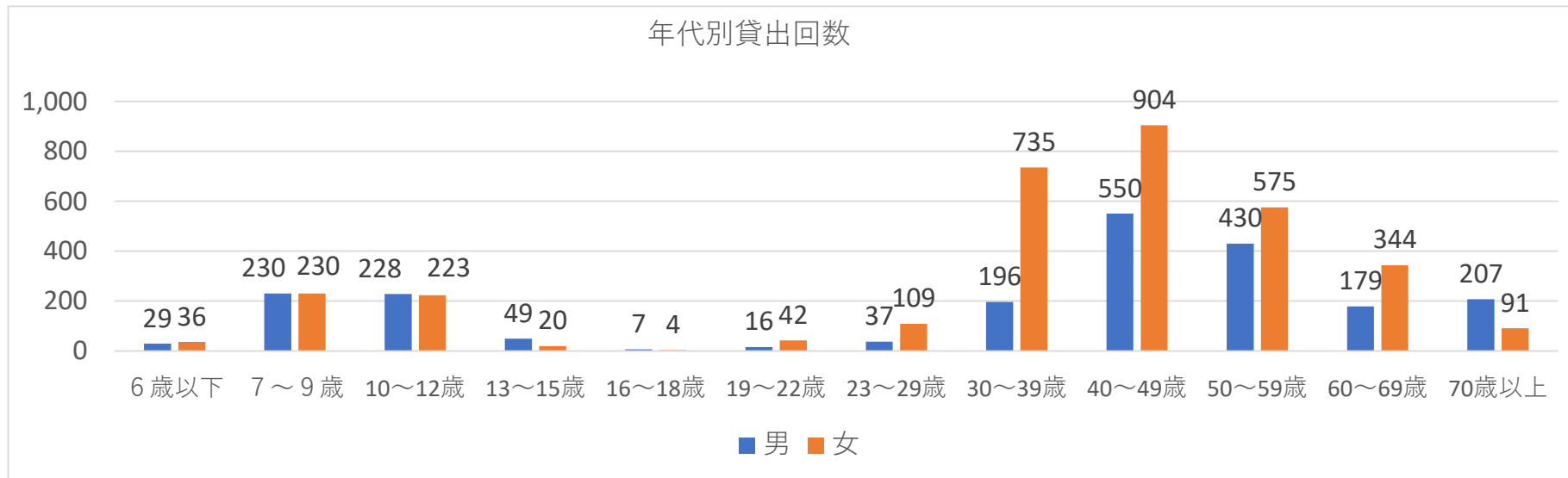
(令和5年2月末時点)

	10月	11月	12月	1月	2月	合計
貸出回数	1,284	960	900	1,008	1,319	5,471
ログイン回数	5,529	3,503	2,679	2,974	3,425	18,110

## ○年代別貸出回数

	6歳以下	7～9歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
男	29	230	228	49	7	16	37	196	550	430	179	207	2,158
女	36	230	223	20	4	42	109	735	904	575	344	91	3,313
合計	65	460	451	69	11	58	146	931	1,454	1,005	523	298	5,471

年代別貸出回数





# 茨城県内電子図書館、貸出冊数、貸出期間、予約可能冊数等一覧・貸出実績

資料4 - 2

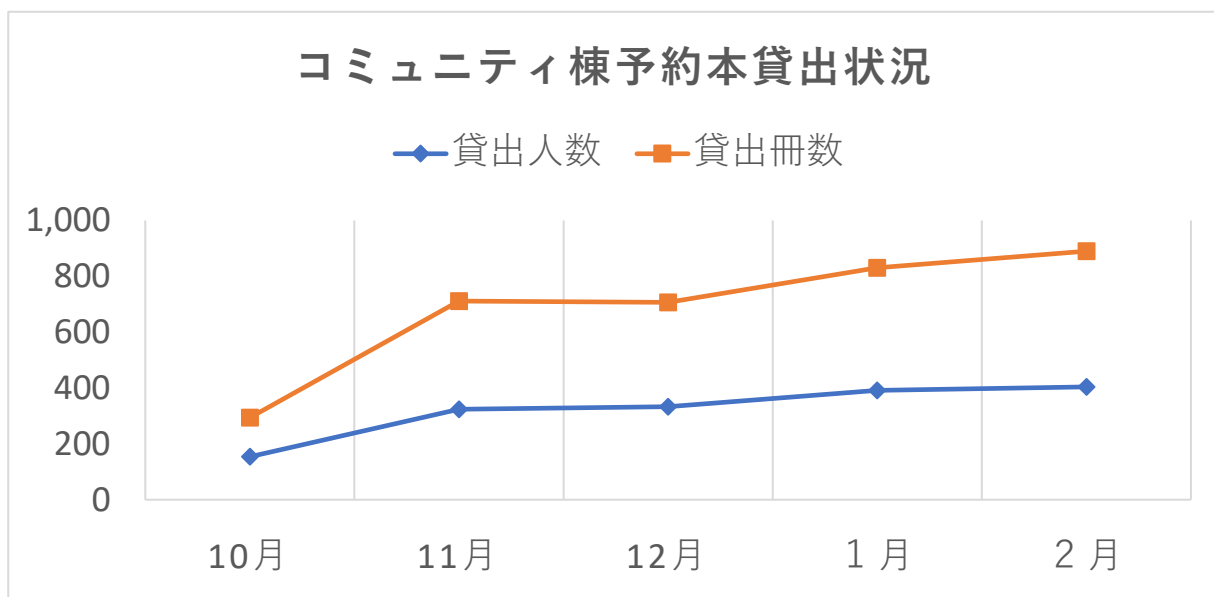
	導入年度	蔵書タイトル数 (2023.2.21HP)	貸出冊数	貸出期間	予約可能冊数	R5.1.1現在 常住人口	2022.10～ 2023.2貸出冊数	参考：県立図書館調 査による年間貸出冊 数実績(2020年度)
<b>つくば</b>	<b>R4.10</b>	<b>1,432</b>	<b>2</b>	<b>15日</b>	<b>2</b>	<b>253,490</b>	5,471	
水戸市	H28	8,867	3	2週間	3	269,203		10,534
日立市	R3	11,832	1	7日	1	168,409		
土浦市	H29	2,540	2	15日	2	141,986		491
龍ヶ崎 <sub>市</sub>	H27	19,201	8	14日	0	75,516		6,040
高萩市	R3	2,851	2	15日	1	26,608		
笠間市	R2	2,315	2	14日	2	71,901		1,706
取手市	R2	9,425	3	15日	3	103,720		2,915
鹿嶋市	H29	12,826	3	8日	1	65,738		2,088
守谷市	H28	8,172	3	15日	3	69,551		2,931
筑西市	H26	10,684	3	15日	3	98,967		576
稲敷市	R3	12,282	2	14日	2	37,453		
潮来市	H27	16,650	8	15日	3	26,841		2,103
桜川市	R3	14,887	3	14日	2	37,428		2,588

# つくば市役所コミュニティ棟予約本貸出状況

資料 5

サービス開始：令和4年（2022年）10月4日

	10月	11月	12月	1月	2月	合計
貸出人数	154	324	333	392	404	1,607
貸出冊数	294	711	707	830	890	3,432
1人当たり冊数	1.91	2.19	2.12	2.12	2.20	2.14



令和3年度予約実績(つくば市の図書館概要から引用)

中央	153,668
自動車	300
谷田部	4,391
筑波	1,818
小野川	2,803
荃崎	4,372
合計	167,352